

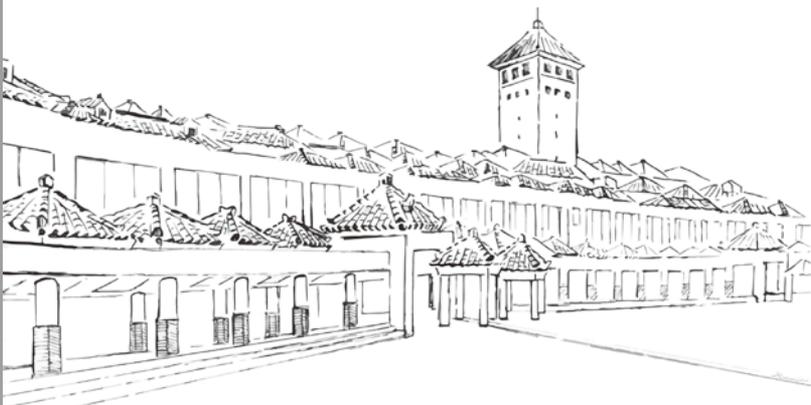
2024(令和6)年度

# 沖縄県平和祈念資料館年報

## 第25号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



# 沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこのころの原点であります。

“沖縄のこのころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：2024(令和6)年度 第34回児童・生徒の平和メッセージ

図画部門：小学校(低)の部

最優秀賞：「兄弟で平和をいのる」

かぞくでいじじに行きました。

そして兄弟で平和をいのっている場面です。

「せかい中が平和になりますように」

図画／那覇市立天久小学校3年 ちねん 知念 慶

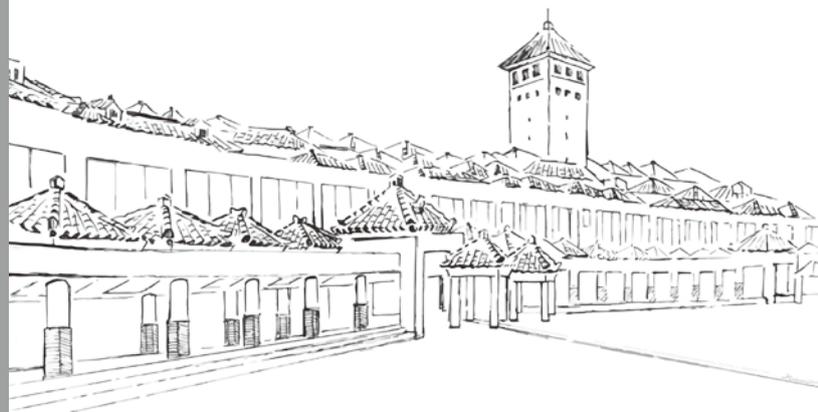
2024(令和6)年度

# 沖縄県平和祈念資料館年報

## 第25号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



# はじめに

沖縄県平和祈念資料館では、開館以来、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外に広く発信し、世界の恒久平和の実現に寄与するため、様々な取り組みを行ってまいりました。史上まれに見る苛烈を極めた沖縄戦から 80 年目の節目を迎え、戦争を知らない世代が増える中、沖縄の歴史的体験と平和への教訓を次の世代へ継承することが大きな課題となっております。

このため、令和6（2024）年度は、新たに「沖縄戦の語り継ぎ手養成講座」を開設し、沖縄本島と石垣島の2か所で実施、40名の修了者を認定しました。修了された方々は、今後学校や地域における平和学習の支援や、国内外からの観光客の方々に対し、沖縄戦の実相を語っていただき、一人ひとりの生命と平和を何よりも大切にする“沖縄のこころ”を発信し続けてほしいと願っております。

令和5年度に開始した JICA 草の根技術協力事業「地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり」では、カンボジア地雷対策センター（CMAC）が運営する平和博物館建設への支援として、企画展の立案や展示物作成に係る技術協力、平和講話の実践等に係る支援等を行い、その成果として、県内学校での平和講話や、当館での写真企画展開催等の実践に繋げることができました。CMAC への技術協力は令和6年度をもって終了しました。本取組は、沖縄県の平和発信のノウハウを活かし、カンボジアの平和博物館建設に向けた人材育成などの技術協力を通して、沖縄県とカンボジアとの国際協力・国際理解を促進し、アジア地域の平和のネットワーク構築に寄与するものであったと考えております。

「第34回児童・生徒の平和メッセージ事業」においては、県内86校から2,141点の作品が寄せられ、図画・作文・詩の3部門から213点の優れた作品が選ばれました。児童・生徒の作品では、「平和への願い」と合わせて、過去の過酷な状況を生き抜いて生命を繋ぎ現代に託してくれた「先人への感謝と畏敬の念」や、平和祈念を伝承するため、恒久平和のために自分自身にできることを続けていこうとする強い決意が表現されており、これらの作品は、県内外へ広く発信されています。

また、アジアの戦争経験国の若者と、沖縄、広島、長崎の若者が共に学び、共通理解を育むことで、アジア・太平洋地域の安定と平和の構築を目指す『「平和への思い」発信・交流・継承事業』を実施するとともに、沖縄戦と平和を学ぶための学習サイトを立ち上げ、学校現場で活用できる平和学習教材（児童生徒を対象とした沖縄戦学習動画・ワークシート・補足資料等）を作成し、WEB公開を行いました。

企画展では、「第32軍司令部壕模型展」を開催したほか、ギャラリー展においては、「迫りくる沖縄戦」を開催し、戦争体験者が描いた沖縄戦の絵等を展示し、戦争を二度と繰り返さないためにはどうしたらよいかを考える機会としました。子ども・プロセス企画展では、「ガマから学ぶ沖縄戦」、「チャレンジ！夏休み自由研究ー沖縄戦について調べてみよう!!ー」、「女性が見た沖縄戦」など、子どもたちが理解しやすく、平和学習に興味・関心を持ってもらえるような企画を開催しました。

八重山平和祈念館における企画展では、「戦世の沖縄～住民の戦争被害～」、「沖縄の行ける・学べる戦争遺跡」や「八重山人（やいまびとう）が語る戦」をテーマに、沖縄戦において戦禍を生き延びた住民視点からの展示や、実際に現地に足を運んで学ぶことができる戦争遺跡等を紹介する展示を行い、沖縄戦の歴史やそこに生きた人々の思いを自分事として捉え、学び直す機会としました。

当館及び八重山平和祈念館は、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“学びの場”として、今後とも多くの皆さまに利活用して頂くことを願っています。

活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただければと思います。

令和7年8月

沖縄県平和祈念資料館  
館長 大城 友恵

# 目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念  
はじめに

## I 概要

1 沿革	1
2 日誌(抄)令和6年度	6
3 施設	9
4 組織	12
5 令和6年度歳入歳出決算(本館及び分館)	17
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	18
7 施設の改修等の状況	20

## II 調査研究事業

1 第31回日本平和博物館会議	22
-----------------	----

## III 展示企画事業

1 常設展	23
2 企画展	25
(1) 企画展「第32軍司令部壕模型展」	25
(2) 子ども・プロセス企画展	26
(3) ギャラリー展「迫りくる戦場」	28

## IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	29
(1) 実物資料	29
(2) 図書資料	29
2 資料貸出実績	30
(1) 資料の貸出	30
(2) 証言映像の貸出	33
3 撮影・掲載等利用一覧	34

## V 教育普及事業

1 教育普及事業	39
(1) 第34回「児童・生徒の平和メッセージ展」	39
(2) 「こどもの日」ビデオ上映会	42
(3) 「慰霊の日」沖縄戦関連ビデオ上映会	42
(4) 夏休み子ども向け企画	42
2 教育機関等との連携	43
(1) 平和講話	43
(2) 離島・遠隔地講師派遣事業	43
(3) 児童・生徒の職場体験(インターンシップ)の受け入れ	43
(4) 沖縄少年院連携事業	44
(5) 大学連携事業	44
(6) 大人のための平和学習	44
3 講座・講習会・研修会	45
(1) 沖縄県平和祈念資料館利用案内説明会	45
(2) 県立学校初任者研修	45
(3) 養護教諭初任者研修	45
(4) 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修	46
(5) 幼稚園・幼保連携型認定こども園初任者研修	46
(6) 島尻教育事務所初任者研修	46
(7) 那覇教育事務所初任者研修	46
(8) 学校栄養職員初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修	47

(9) JICA 課題別研修	47
(10) JICA 日系社会研修	47
(11) JICA 国別研修	47
(12) 沖縄県平和祈念資料館講習会	48
<b>VI 広報活動・出版物等</b>	
刊行物	49
<b>VII 展示更新事業</b>	
1 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会	50
(1) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会名簿	50
(2) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会経過	50
<b>VIII その他の事業</b>	
1 沖縄戦学習動画制作及びWEB公開業務(沖縄平和啓発プロモーション事業)	52
2 「平和への思い」発信・交流・継承事業(沖縄平和啓発プロモーション事業)	53
3 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業(沖縄平和啓発プロモーション事業)	55
4 カンボジア地雷対策センター (CMAC) 博物館支援事業	56
<b>IX 沖縄県平和祈念資料館(本館)入館者状況</b>	
1 月別入館者数	58
2 年度別入館者数	59
3 月別県内・県外学校、その他団体見学者(小人)観覧状況	60
4 市町村別団体入館者数	61
5 都道府県別団体入館者数	62
6 県内小・中・高校の地区別入館状況	63
7 県外修学旅行団の地方別入館者状況	64
8 入館者数	65
9 案内対応一覧	66
<b>X 八重山平和祈念館(分館)</b>	
1 概要	67
2 施設	69
3 事業概要	71
(1) 展示活動	71
(2) 平和教育活動	73
(3) 調査研究活動	74
(4) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会 八重山平和祈念館部会	74
(5) 共催事業	74
4 月別入館者数	75
<b>XI 沖縄県平和祈念資料館友の会</b>	
1 活動紹介	76
2 申込方法	76
3 申込条件	76
4 講和・ガイド活動状況	77
5 活動内容	77
<b>XII 関係条例・規則・要綱</b>	
1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	80
2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	84
3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	107
4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項	108
5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項	122
6 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会設置要綱	127
<b>XIII 沖縄県立平和祈念資料館(旧館)年度別入館状況</b>	128

# I 概要

## 1 沿革

### [ 沖縄県立平和祈念資料館 ] (旧館)

1972(昭和47)年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974(昭和49)年に鉄筋コンクリート2階建て(延床面積1,003㎡)の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975(昭和50)年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000(平成12)年3月31日に閉館。

### [ 沖縄県平和祈念資料館 ] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000(平成12)年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

### [ 歴代館長 ]

外間 盛治	2000(平成12)年4月～2002(平成14)年3月
阿波根 昌安	2002(平成14)年4月～2003(平成15)年3月
島袋 記美子	2003(平成15)年4月～2005(平成17)年3月
川満 茂雄	2005(平成17)年4月～2007(平成19)年3月
宮城 智子	2007(平成19)年4月～2009(平成21)年3月
大川 芳子	2009(平成21)年4月～2011(平成23)年3月
呉屋 禮子	2011(平成23)年4月～2013(平成25)年3月
上與那原美和子	2013(平成25)年4月～2014(平成26)年3月
國仲 功	2014(平成26)年4月～2016(平成28)年3月
原田 直美	2016(平成28)年4月～2019(平成31)年3月
外間 裕朋	2019(平成31)年4月～2021(令和3)年3月
雉鼻 章郎	2021(令和3)年4月～2022(令和4)年3月
前川 早由利	2022(令和4)年4月～2025(令和7)年3月
大城 友恵	2025(令和7)年4月～

### [ 主な事項 ]

1993(平成5)年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体(商工美術(株)(株)沖縄ノムラ)と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994(平成6)年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995(平成7)年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞 team DREAM に決定
1996(平成8)年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)展示設計プロポーザル競技により(株)乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館(仮称)監修委員会開催
1997(平成9)年度	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館(仮称)・資料収集広報キャンペーンを開催(巡回展、講演会)

1999(平成11)年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館（仮称）建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会（最終）開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館（旧資料館）閉館
2000(平成12)年度	4月 1日	開館（一般公開始まる）
	5月28日	入館者 10 万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市（～ 27 日）
	7月 21 日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催（～ 23 日）
		アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
	3月30日	『資料館学習の手引き』発刊
2001(平成13)年度	4月25日	入館者 50 万人達成
2002(平成14)年度	10月18日	入館者 100 万人達成
2003(平成15)年度	12月11日	入館者 150 万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004(平成16)年度	7月24日	第 1 回ボランティア養成講座開始（～ 12 月 18 日）平成 18 年度まで
	1月29日	沖縄県平和祈念資料館友の会発足
2005(平成17)年度	4月 7日	入館者 200 万人達成
2006(平成18)年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月 1日	入館者 250 万人達成
2007(平成19)年度	6月21日	ミュージアムショップ開店（運営：沖縄県平和祈念財団）
	7月 6日	入館者 300 万人達成
2008(平成20)年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月 9日	入館者 350 万人達成
2009(平成21)年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業（～ 2012 年 3 月）
	11月18日	入館者 400 万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備（英文表記追加）
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え（～ 3 月 31 日）
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え（～ 3 月 19 日）
2010(平成22)年度	4月 1日	収蔵品等整理業務委託（～ H24 年 3 月 31 日）
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託（～ H24 年 3 月 31 日）
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
	2月 3日	入館者 450 万人達成
2011(平成23)年度	10月20日	人数カウンター設置工事開始（～ 10 月 30 日）
	3月 6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
	3月 7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催

2012(平成24)年度	5月17日	東アジア民主平和人権ネットワーク MOU (覚書) 締結 (1) 釜山民主抗争記念事業会、(2) 広島平和記念資料館、 (3) 済州4・3平和財団、(4) 韓国民民主化運動記念事業会、 (5) 二二八事件記念基金会、(6) ノ・グンリ平和財団、 (7) 沖縄県平和祈念資料館、(8) 国家人権博物館準備室、 (9) 5・18 記念財団 ※アルファベット順
	5月28日	入館者 500 万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」(～ H24 年 3 月 27 日)
	12月 1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 (～ 2015 年 3 月)
2013(平成25)年度	10月29日	入館者 550 万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ 駐日アメリカ合衆国大使来館
2014(平成26)年度	2月 7日	入館者 600 万人達成
2015(平成27)年度	10月10日	デービッド・イゲ ハワイ州知事来館
	10月16日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 J I C A 理事長賞受賞
	3月 1日	「沖縄のこころ」平和発信強化事業多言語タブレット等運用開始
2016(平成28)年度	6月15日	入館者 650 万人達成
	7月	沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」 事業 ※ JICA 草の根技術協力事業 (～ 2017 年 6 月)
2017(平成29)年度	4月16日	喫茶室開店 (運営：沖縄県平和祈念財団)
	4月19日	李俊揆 (イジュンギョ ) 駐日大韓民特命全権大使視察
	11月 9日	入館者 700 万人達成
	11月13日	ウィリアム・F・ハガティ 駐日アメリカ合衆国大使視察
2018(平成30)年度	6月22日	韓国済州島済州道立美術館のギム・シュンギ館長一行来館
	7月20日	ハリール・アルムーサウイー 駐日イラク大使視察
2019(令和元)年度	4月20日	入館者 750 万人達成
	12月28日	マハテール・ビン・モハマド首相 (マレーシア) 視察
2020(令和2)年度	10月17日	戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式
	12月10日	ミハイル Y. ガルージン 駐日ロシア連邦大使視察
	3月31日	ミュージアムショップ閉店
2021(令和3)年度	7月29日	キャロリン・グラスマン 広報・文化交流担当公使視察
	3月31日	喫茶室閉店
2022(令和4)年度	4月27日	ラーム・エマニュエル 駐日米国大使来館
	7月20日	入館者 800 万人達成
	9月23日	インガ M.W. ニーハマル 駐日ノルウェー大使来館
	10月22日	天皇・皇后陛下 下行幸啓
	12月 1日	館内工事のため休館 (～ 4 月 30 日まで)
2023(令和5)年度	5月 1日	館内工事終了につき開館
	6月18日	韓国済州道副知事来館
	6月23日	韓国済州4・3平和財団コ・フェボム理事長来館

8月27日 高円宮妃殿下来館  
 10月27日 在日フィリピン大使来館  
 11月 5日 カンボジアCMA Cヘン・ラタナ長官来館  
 12月 5日 ペドロ・オイアルサバル博士（バスク研究者）来館

2024(令和6)年度 6月13日 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会による検討開始  
 6月23日 キム・ジョンミン済州4・3平和財団理事長来館  
 7月16日 ウォン・スンソク5・18記念財団理事長来館  
 9月 9日 入館者850万人達成  
 11月15日 オ・ヨンフン済州特別自治道知事来館  
 1月16日 沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本構想策定  
 2月 9日 沖縄・平和と人権博物館ネットワーク加盟  
 (1) 沖縄愛楽園、(2) スチドゥタカラの家、(3) 佐喜眞美術館、  
 (4) 不屈館、(5) 対馬丸記念館、(6) ひめゆり平和祈念資料館、  
 (7) 沖縄県平和祈念資料館、(8) 南風原文化センター

### [主な企画展等、その他催し]

2000(平成12)年度 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展

2001(平成13)年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展（4回）、  
 沖縄県平和祈念資料館講習会（2回）

2002(平成14)年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け  
 企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会

2003(平成15)年度 企画展「銃後を護れー戦時下の暮らしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセー  
 ジ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会

2004(平成16)年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の  
 平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、  
 ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト

2005(平成17)年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッ  
 セージ展、子ども向け企画展（3回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティ  
 ア養成講座、人権ラブソングコンテスト

2006(平成18)年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日  
 ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（4回）、沖縄  
 県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト

2007(平成19)年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世（イクサユ）の真実を伝えるためにー」、  
 児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和  
 祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座（2回）

2008(平成20)年度 特別企画展「カンポーヌクエヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生  
 徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料  
 館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展

2009(平成21)年度 特別企画展「イクサユヌワラビ～戦時下の教育と子どもたち～」、児童・生徒  
 の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、  
 沖縄戦講座、「ひびけ!! 平和創造のうた」、新収蔵品展

- 2010(平成22)年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」(20回)、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「『NAHA マラソンの道』～走る道、逃げる道～」展、「子ども・未来・メッセージ展」(台湾・沖縄交流事業)
- 2011(平成23)年度 特別企画展『「アメリカ世(ユー)の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたウチナーンチュー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
- 2012(平成24)年度 特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』 児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展
- 2013(平成25)年度 特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
- 2014(平成26)年度 特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄県平和祈念資料館講習会 沖縄戦講座「日系二世ウチナーンチュウが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウムイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサズトーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
- 2015(平成27)年度 特別企画展『ウチナーンチュウが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展(5回)、沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会、企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展(平成25年度・26年度寄贈)」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
- 2016(平成28)年度 特別企画展『ウチナーンチュウが見た満洲～『旧満州国』・『偽満州国』～』、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、子ども・プロセス企画展(5回)、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2017(平成29)年度 特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やしが～』、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所、国外1カ所)、特別講座「戦世と沖縄文化ー文化財と芝居の視点からー」、企画展「新収蔵品展(平成27年度・28年度寄贈)」、新企画展「ギャラリー展」(5回)、子ども・プロセス企画展(5回) 沖縄県平和祈念資料館講習会、第24回日本平和博物館会議(当館開催)
- 2018(平成30)年度 特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所、国外1カ所)、特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」、新企画展「ギャラリー展」(4回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2019(令和元)年度 特別展「武田美通・鉄の造形30作品展 戦死者たちからのメッセージ」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(4回)、子ども・プロセス企画展(4回)

- 2020(令和2)年度 戦後75年事業「戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展」、特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内3カ所)、ギャラリー展(4回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2021(令和3)年度 特別展「戦時体制下の国民の生活」～制限下の庶民の暮らし～、企画展「新収蔵品展(令和元年度・2年度寄贈)」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内4カ所)、ギャラリー展(3回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2022(令和4)年度 特別企画展「アメリカ世の記憶～日本復帰50周年記念企画展～」、特別講座「島ぐるみ闘争から復帰まで」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(2回)、子ども・プロセス企画展(3回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2023(令和5)年度 特別企画展「沖縄島北部の戦争遺跡・跡地」、企画展「新収蔵品展(令和3年度・4年度寄贈)」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(2回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2024(令和6)年度 企画展「新収蔵品展(令和3年度・4年度寄贈)」(令和5年度から)、企画展「第32軍司令部壕模型展」、児童・生徒の平和メッセージ展(県内5カ所)、ギャラリー展(1回)、子ども・プロセス企画展(4回)、沖縄県平和祈念資料館講習会

## 2 日誌(抄) 令和6年度

- 4月1日 辞令交付式
- 4月3日 9時ごろ沖縄県内全域に津波警報発令(台湾東部地震)
- 4月5日 沖縄県平和祈念資料館利用案内説明会(学校向け)
- 5月5日 子どもの日(常設展示室高校生以下無料、親子ビデオ上映会)
- 5月8日 令和6年度沖縄県平和祈念資料館展示更新基本構想・基本計画策定業務に係る企画提案者選定委員会
- 5月17日 【分館】学校教員向け見学説明会
- 5月21日 令和6年度沖縄県平和祈念資料館展示更新基本構想・基本計画策定業務委託契約締結(株式会社 乃村工芸社)
- 5月24日 【分館】学校教員向け見学説明会
- 5月26日 大人のための平和学習(第1回)
- 5月28日 ギャラリー展「迫りくる戦場」(～3月10日)
- 6月1日 【分館】企画展「戦世の沖縄～住民の戦争被害～」(～6月30日)
- 6月6日 【財団】第1回子ども・プロセス企画展「ガマから学ぶ沖縄戦」(前期)(～7月15日)
- 6月7日 【分館】学校教員向け見学説明会
- 6月13日 第1回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会  
【分館】学校教員向け見学説明会
- 6月23日 慰霊の日(常設展示室無料、開館時間1時間延長、映画上映会実施)  
第34回児童・生徒の平和メッセージ展(～7月2日)
- 6月30日 大人のための平和学習(第2回)
- 7月9日 消防訓練(当館職員、財団職員、委託業者)  
常設展示室燻蒸作業(～11日)
- 7月10日 【石垣会場】第34回児童・生徒の平和メッセージ展(～7月20日)
- 7月19日 企画展「第32軍司令部壕模型展」(～8月9日)
- 7月20日 【財団】第2回子ども・プロセス企画展「チャレンジ!夏休み自由研究ー沖縄戦について調べてみよう!!」(～8月31日)  
【財団】夏休み子ども向け企画「夏休み自由研究相談室」(～8月31日)
- 7月23日 第1回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦前・戦中時代部会

- 7月24日 【分館】台風3号のため、八重山平和祈念館臨時休館
- 7月27日 【宮古会場】第34回児童・生徒の平和メッセージ展（～8月6日）  
大人のための平和学習（第3回）
- 7月28日 【財団】夏休み子ども向け企画「夏休み子ども教室」
- 8月1日 【分館】企画展「行ける・学べる沖縄の戦争遺跡」（～9月1日）
- 8月2日 第1回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦後時代部会
- 8月7日 第1回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会平和の発信・学習部会
- 8月10日 夏休み子ども向け企画「平和アニメ上映会」
- 8月11日 夏休み子ども向け企画「親子で学ぶ沖縄戦」
- 8月12日 夏休み子ども向け企画「平和アニメ上映会」、「親子平和フィールドワーク」
- 8月13日 第1回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会八重山平和祈念館部会
- 8月17日 第34回児童・生徒の平和メッセージ展（～8月31日）
- 8月20日 第2回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦前・戦中時代部会
- 8月24日 第34回児童・生徒の平和メッセージ展表彰式
- 8月25日 大人のための平和学習（第4回）
- 8月28日 第2回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦後時代部会
- 9月5日 第2回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会
- 9月6日 【名護会場】第34回児童・生徒の平和メッセージ展（～9月16日）
- 9月7日 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業による講座開始  
【財団】第1回子ども・プロセス企画展「ガマから学ぶ沖縄戦」（後期）（～10月6日）
- 9月9日 沖縄県平和祈念資料館展示更新に係る県外類似施設調査（～9月11日）  
(1) 立命館大学国際平和ミュージアム（京都市）  
(2) 広島平和記念資料館（広島市）  
(3) 長崎原爆資料館（長崎市）
- 9月22日 大人のための平和学習（第5回）
- 9月25日 【那覇会場】第34回児童・生徒の平和メッセージ展（～10月7日）
- 10月17日 【財団】第3回子ども・プロセス企画展「女性が見た沖縄戦」（～2月2日）
- 10月18日 第2回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会平和の発信・学習部会
- 10月21日 第3回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦前・戦中時代部会
- 10月22日 第3回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦後時代部会
- 10月23日 第2回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会八重山平和祈念館部会
- 10月27日 大人のための平和学習（第6回）
- 10月30日 第1回沖縄県平和祈念資料館運営協議会
- 10月31日 【分館】台風21号のため、八重山平和祈念館臨時休館
- 11月1日 琉球歴史文化の日（常設展示室無料）
- 11月6日 東日本大震災・原子力災害ふくしま語り部との交流会
- 11月7日 第31回日本平和博物館会議（オンライン参加）  
離島・遠隔地講師派遣（恩納小学校）
- 11月10日 【分館】第18回平和コンサート（主催：八重山戦争マラリア遺族会）
- 11月14日 第3回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会平和の発信・学習部会
- 11月18日 平和への思い開会式・共同学習（平和祈念資料館他～11月23日）
- 11月23日 平和への思いシンポジウム・閉会式（自治会館ホール）
- 11月24日 大人のための平和学習（第7回）
- 12月2日 第4回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦前・戦中時代部会
- 12月3日 第3回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会
- 12月14日 沖縄戦の語り継ぎ手養成講座閉講式（修了生40名）
- 12月15日 「カンボジアCMAC博物館支援事業」専門家派遣（～12月22日）
- 12月22日 大人のための平和学習（第8回）
- 12月29日 ～1月3日（休館日）
- 1月13日 「カンボジアCMAC博物館支援事業」本邦研修（～2月7日）
- 1月17日 第4回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦後時代部会  
第3回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会八重山平和祈念館部会

- 1月21日 第4回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会平和の発信・学習部会
- 1月26日 大人のための平和学習（第9回）
- 1月27日 第5回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦前・戦中時代部会
- 1月28日 第4回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会
- 2月 5日 写真企画展「カンボジア王国の内戦の近現代史とCMA Cの活動（～3月31日）
- 2月 9日 沖縄・平和と人権博物館ネットワーク加盟
- 2月12日 第5回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦後時代部会
- 2月13日 **【財団】** 第4回子ども・プロセス企画展「摩文仁が語る沖縄戦」（～5月18日）
- 第5回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会平和の発信・学習部会
- 2月18日 平和祈念資料館運営協議会八重山平和祈念館部会
- 第4回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会八重山平和祈念館部会
- 2月22日 **【分館】** 企画展「八重山人（やいまびとう）が語る戦」（～3月23日）
- 2月24日 大人のための平和学習（第10回）
- 2月25日 第6回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会平和の発信・学習部会
- 2月26日 第6回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦前・戦中時代部会
- 3月11日 沖縄県平和祈念資料館講習会
- 3月21日 第2回平和祈念資料館運営協議会
- 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会戦前・戦中時代部会、戦後時代部会合同会議（臨時）
- 3月24日 第5回沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会八重山平和祈念館部会



沖縄県平和祈念資料館と平和の火

### 3 施設

#### (1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

#### (2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円(県債6,510、施設整備基金139、一般642)

工事費 4,900百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

エ 主な施設

常設展示室(1～5室) 1,360平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

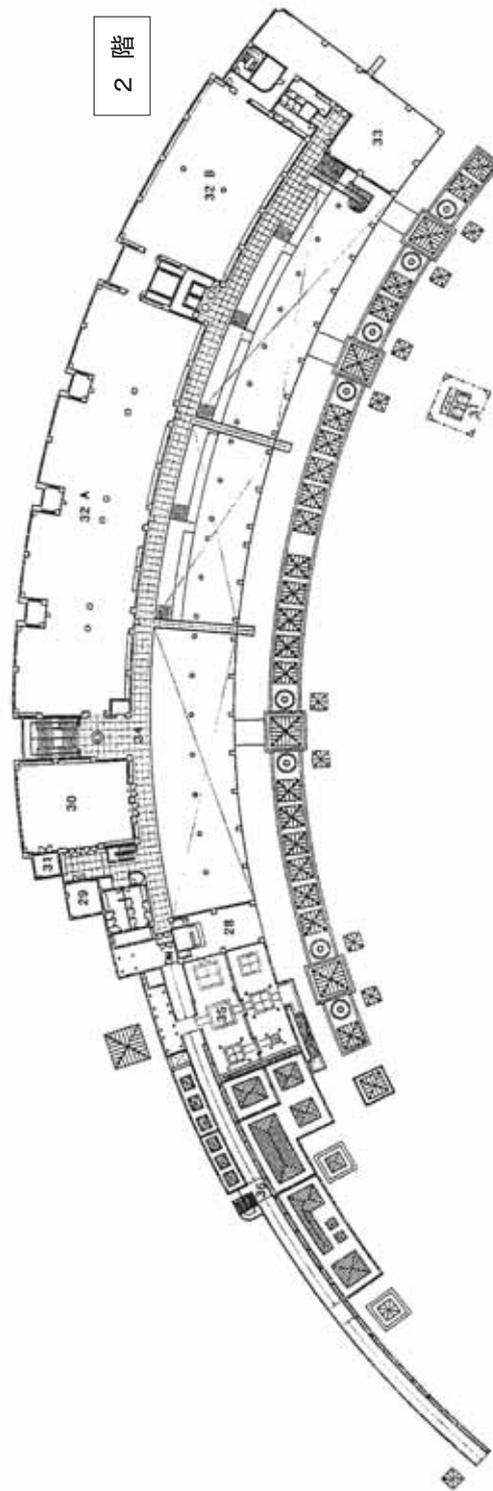
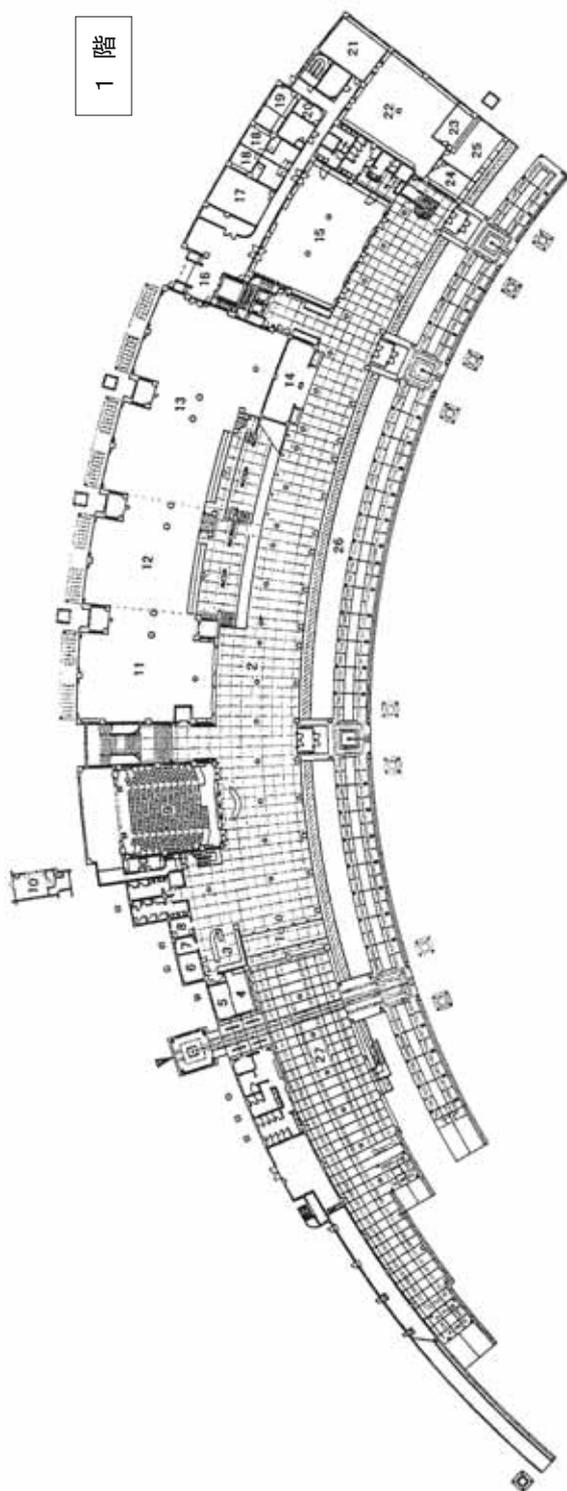
海と礎の回廊 256 "

会議室 200 "

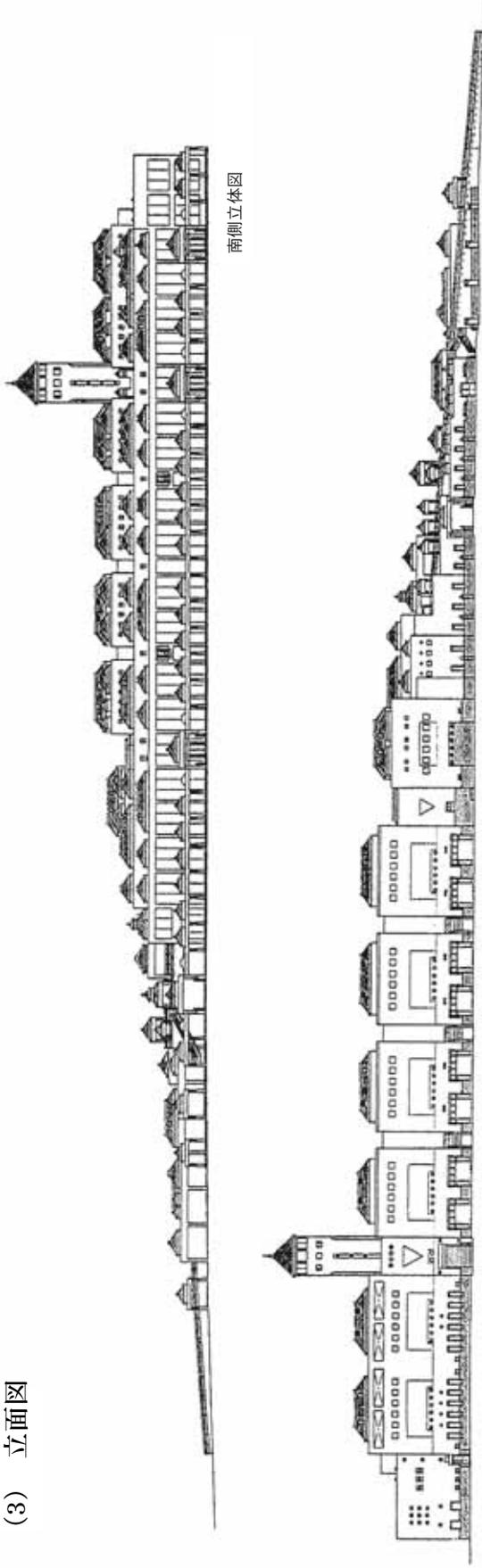
一般収蔵庫 1,201(1F、2F) "

特別収蔵庫 281(1F、2F) "

- 1 エントランス
  - 2 ホール(1510㎡)
  - 3 (旧ミュージアムショップ)(28㎡)
  - 4 事務スペース・倉庫
  - 5 ボランティア室
  - 6 授乳・救護室
  - 7 自販機室
  - 8 ロッカー・自販機室
  - 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
  - 10 楽屋・調整室
  - 11 子供展示室(285㎡)
  - 12 プロセス展示室(233㎡)
  - 13 情報ライブラリー(472㎡)
  - 14 アルコーブ
  - 15 企画展示室(255㎡)
  - 16 荷解き室
  - 17 情報処理室(49㎡)
  - 18 職員休憩室
  - 19 守衛室
  - 20 給湯室
  - 21 事務会議室(52㎡)
  - 22 事務学芸員室(158㎡)
  - 23 小会議室
  - 24 館長室
  - 25 応接室
  - 26 中庭
  - 27 ピロティー
- 
- 28 喫茶室(86㎡)
  - 29 事務スペース・倉庫
  - 30 会議研修室(200㎡・100席)
  - 31 調整室
  - 32 A常設展示室 1~4(957㎡)
  - 32 B常設展示室 5(403㎡)
  - 33 海と礎の回廊(256㎡)
  - 34 ギャラリー(373㎡)
  - 35 テラス
  - 36 外部スロープ
  - 37 展望室



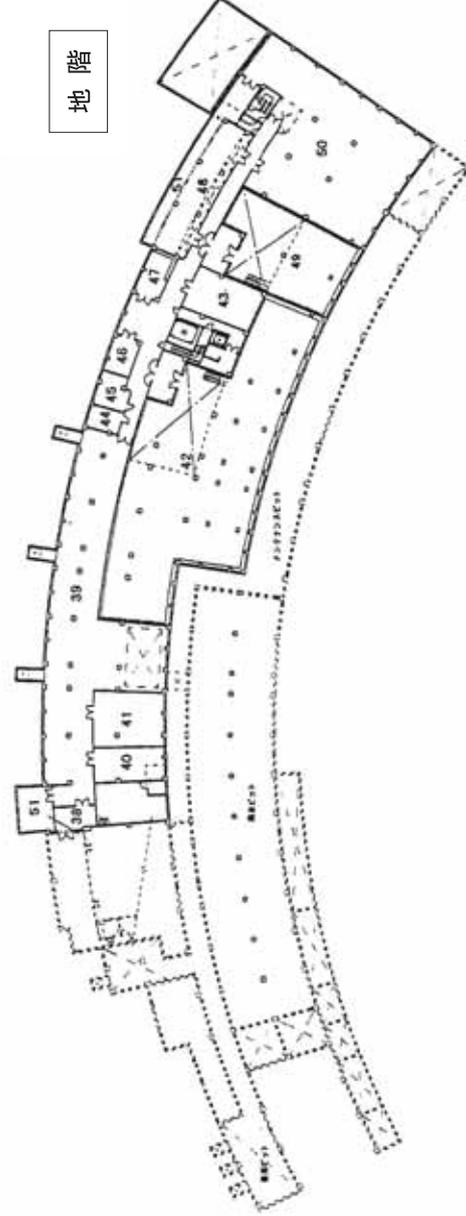
(3) 立面図



南側立面図

北側立面図

(4) 平面図

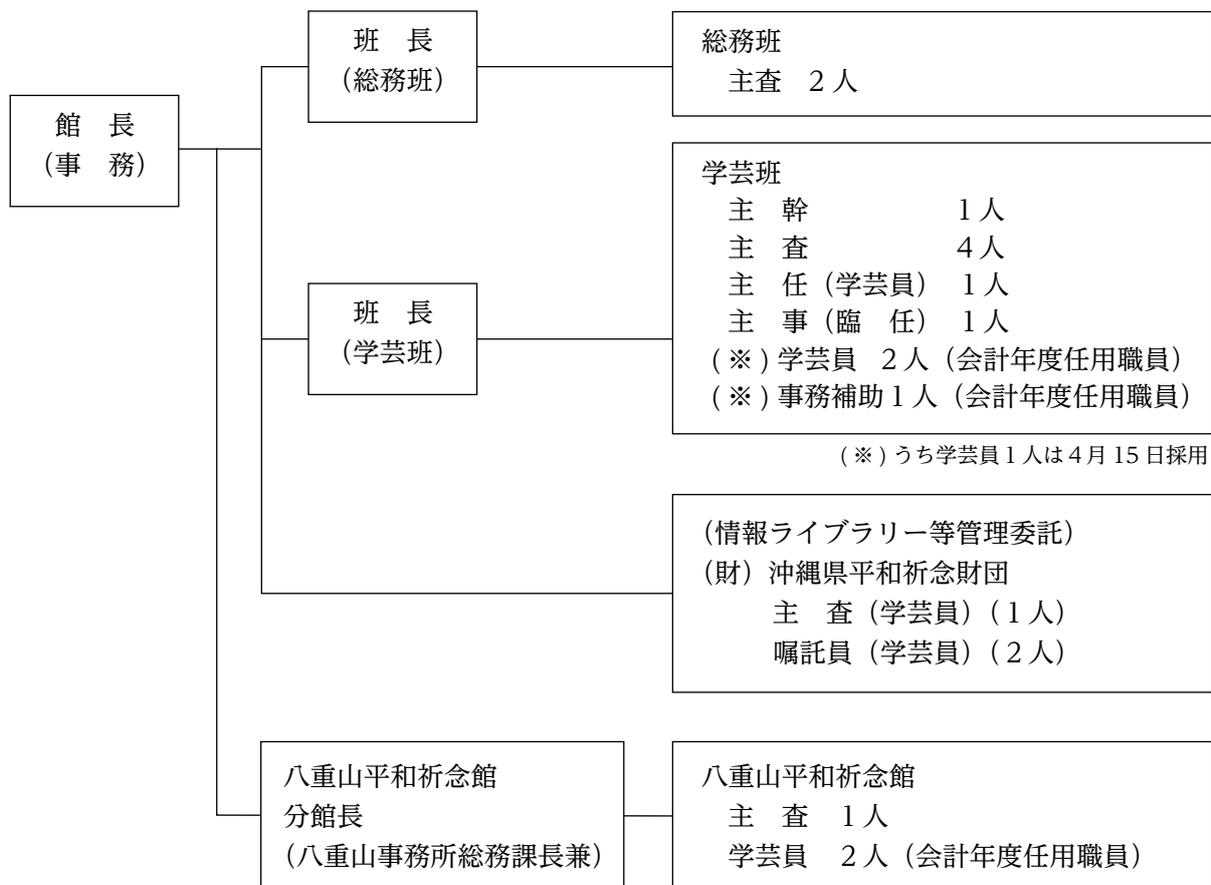


- 38 消防ポンプ室
- 39 機械室 (426㎡)
- 40 発電室
- 41 電気室
- 42 一般収蔵庫 (1F=658㎡、2F=543㎡)
- 43 仮置き場倉庫 (60㎡)
- 44 メンテナンス室
- 45 ボンベ室
- 46 くん蒸室
- 47 写真撮影室 (25㎡)
- 48 資料調査研究室 (95㎡)
- 49 特別収蔵庫 (1F=186㎡、2F=95㎡)
- 50 機械室 (415㎡)
- 51 ドライエリア

地下

## 4 組織

### (1) 機構（令和6年4月1日現在）



\* その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付 (3人) 警備 (2人) 清掃 (2人) 機械設備管理 (1人)

### (2) 職員構成（令和6年4月1日現在）

職名	氏名	担当業務
館長	前川 早百合	資料館業務の総理に関すること

総務班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長	平田 淳 (出納員)	<p>総務班業務の総括に関する事項                      出納員に関する事項                      平和祈念資料館中長期計画の進捗に関する事項                      予算、決算、監査の総括に関すること                      人事、組織・定数に関すること                      財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等）                      消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項                      労働・安全衛生に関する事項                      議会関係に関する事項                      委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項                      運営協議会に関する事項（公募に関する事項）                      土日祝日勤務割り振りに関する事項                      その他総務班に関する事項                      その他特に上司の命ずる事項</p>
主査	志良堂 史	<p>予算執行（役務費、使用料・賃借料、食糧費、委託料（新業務 OA 等））に関すること（正）                      旅費に関する事項（正）                      会計年度任用職員の雇用手続き及び賃金支払に関する事項（正）                      諸手当の認定、給与支払い事務に関する事項（正）                      服務、出勤簿及び休暇台帳の整理、社会保険料・労働保険料に関すること                      職員の福利厚生、健康・安全管理（健康診断・人間ドック）、共済組合・公務災害に関すること                      運営協議会等に関する事項（開催の庶務的事項）                      郵便切手の受払いに関する事項（正）                      システムの更新に関する事項（正）                      ホームページの更新（総務班関連）に関すること（正）                      文書の收受、発送、保管に関する事項（正）                      公印に関する事項（保管を除く）（正）                      拾得物に関する事項                      その他庶務会計に関する事項（共通）                      その他特に上司の命ずる事項</p>
主査	安里 綾香	<p>予算執行（需要費（食糧費除く）、委託料（晋業務 OA 等除く）、備品購入費、工事請負費）に関する事項（正）                      個別施設計画に関する事項（R8 改修工事サービス）（正）                      公共施設マネジメント推進事業に関する事項（R6 監視カメラ設備更新含む）（正）                      展示更新事業と R8 改修工事に係る連携に関する事項（正）                      音響・映像機器（音声ガイダンス含む）の管理に関する事項（正）                      公有財産・備品等の事務に関すること（正）                      情報システム等機器のリース・運用に関する事項（副）                      その他庶務・会計に関する事項（共通）                      旅費に関する事項（副）                      文書の收受、発送、保管に関すること（副）                      公印に関する事項（保管を除く）（副）                      団体入館及び会議室予約に関する事項（サインージへの入力業務含む）（副）                      電子申請予約への対応及び混雑予想の HP 掲載に関する事項（副）                      ホームページの更新（総務班関連）に関する事項（副）                      その他特に上司の命ずる事項</p>

# 学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長	中山 晋	学芸班業務の総括に関する事項 展示リニューアルの総括に関する事項（主） 監修委員会（部会）の総括に関する事項（主） 運営協議会に関する事項 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 予算・決算・議会対応の総括に関する事項 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主幹	比嘉 栄司	展示リニューアルに関する事項（主） 監修委員会（部会）の運営に関する事項（主） 平和博物館の先進地視察・調査に関する事項（主） 展示リニューアルに係る予算に関する事項（副） その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主査	嶺井 京子	展示リニューアルに関する事項（主） 監修委員会（部会）の運営に関する事項（主） 平和博物館の先進地視察・調査に関する事項（副） 展示リニューアルに係る予算に関する事項（主） その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主査	浦添 充志	展示リニューアルに関する事項（共） 児童・生徒の平和メッセージ事業に関する事項 教育庁、県庁、JICA 等研修の講師に関する事項 要人・議員団・その他公的研修等案内（共） 八重山平和資料館との連携に関する事項 少年院連携事業に関する事項 資料館講習会に関する事項 情報化推進に関する事項 質問照会の回答及び割り振りに関する事項 子どもプラザ展示室・情報ライブラリーの管理運営に関する事項 「年報」「資料館だより」の編集・発行に関する事項 大人のための平和学習に関する事項 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項
主査	棚原 和宏	展示リニューアルに関する事項（共） 「平和の思い」発信・交流・継承事業 語り継ぎ養成に関する事項 韓国済州（済州4.3平和財団含む）との交流に関する事項（主） 要人・議員団・その他公的研修等案内（共） 広報（ホームページの管理含む）に関する業務 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項 友の会活動の支援・推進に関する事項 キャリア教育（職場体験・インターンシップ）に関する事項 常設展示室（第1・2室）の管理運営に関する事項 サイネージ、常設展示室タブレットの管理に関する事項 平和講話に関する事項（共） 英語に関する業務（共） 質問照会の回答に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項 その他上司の命ずる事項

主 査	呉屋 広徳	<p>展示リニューアルに関する事項（共）</p> <p>「戦後の証言映像収録・公開事業」に関する事項</p> <p>収蔵資料・証言映像の貸出に関する事項</p> <p>県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項</p> <p>韓国済州（済州4.3平和財団含む）との交流に関する事項（副）</p> <p>JICA、国外関係機関等との連携に関する事項（カンボジア地雷対策センター博物館支援を含む）（副）</p> <p>要人・議員団・その他公的研修等案内（共）</p> <p>夏休み親子平和学習に関する事項</p> <p>こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項</p> <p>大学との連携模索に関する事項</p> <p>千羽鶴の受理に関する事項</p> <p>離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項</p> <p>常設展示室（第3・4室）の管理に関する事項</p> <p>平和講話に関する事項（共）</p> <p>英語に関する業務（共）</p> <p>質問照会の回答に関する事項（共）</p> <p>その他学芸業務に関する事項</p> <p>その他上司の命ずる事項</p>
主任 (学芸員)	仲程 勝哉	<p>展示リニューアルに関する事項（主）</p> <p>寄贈資料の受理、整理保存に関する事項</p> <p>展示物等の撮影許可・著作権申請等及びマニュアル作成に関する事項</p> <p>要人・議員団・その他公的研修等案内（共）</p> <p>学芸員実習生の受け入れ等に関する事項</p> <p>収蔵資料の管理に関する事項</p> <p>JICA、国外関係機関等との連携に関する事項（カンボジア地雷対策センター博物館支援を含む）（主）</p> <p>博物館会議関連に関する事項（日本平和博物館会議、沖縄県博物館協会、沖縄県地域史協議会等）</p> <p>収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項</p> <p>収蔵品展に関する事項（※令和7年度実施予定（隔年実施））</p> <p>平和講話に関する事項（共）</p> <p>質問照会の回答に関する事項（共）</p> <p>その他学芸業務に関する事項</p> <p>その他上司の命ずる事項</p>
主 事 (臨時的任用職員)	川満 彰	<p>展示リニューアルに関する事項（主）</p> <p>学芸班業務に関する指導・助言に関する事項</p> <p>その他学芸業務に関する事項</p> <p>その他上司の命ずる事項</p>
学芸員 (会計年度任用職員)	大城 航 玉城 優子 (4/15 から任用)	<p>展示リニューアルに関する事項（共）</p> <p>質問照会の回答に関する事項</p> <p>資料・収蔵品の登録・整理・管理に関する事項</p> <p>ホームページの更新に関する事項</p> <p>館内事業案内掲示など広報等に関する事項</p> <p>沖縄戦、平和教育に関わる記事の整理・保存等に関する事項</p> <p>電話・来客対応等</p> <p>その他学芸業務に関する事項</p> <p>その他上司の命ずる事項</p>
事務補助 (会計年度任用職員)	糸満 祐香	<p>電話・来客対応等</p> <p>展示活動、資料発送等に関わる事項</p> <p>沖縄戦、平和教育に関わる記事の整理・保存等に関する事項</p> <p>その他学芸業務に関する事項</p> <p>その他上司の命ずる事項</p>

## 委 託 (沖縄県平和祈念財団)

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 子ども・プロセス企画展の開催 施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言 展示リニューアルに関する事項 (共) その他上司の命ずる事項 (共)
嘱 託 員	神尾 史扇 仲地 華	情報ライブラリーの管理運営に関する事項 子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項 その他上司の命ずる事項 (共)

## 八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	比嘉 丞	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること
主 査	上原 峻斗	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 施設・設備、財産の使用・貸出等の手続きに関する事項 企画展に関する事項 (企画立案、資料収集、広報、展示等) 運営協議会・八重山部会に関する事項 教員向け説明会に関する事項 要人 (大臣、国会議員等) の来館時対応に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項 その他上司の命ずる事項 (共)
会計年度 任用職員	綿貫 円 鈴木 理紗	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項 観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項 その他上司の命ずる事項 (共)

## 5 令和6年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

科 目	常設展示室	ホール、会議室等使用料	自動販売機（財団・友の会・母子寡婦）	自動販売機（公募）	自販機電気料金、雇用保険料	合計
資料館観覧料	47,904,140	0	0	0	0	47,904,140
本館	47,556,010					47,556,010
分館	348,130					348,130
資料館使用料	0	1,105,470	0	0	0	1,105,470
本館		1,103,970				1,103,970
分館		1,500				1,500
建物使用料	0	0	44,340	0	0	44,340
本館			44,340			44,340
分館						0
建物貸付料(本館)					0	0
寄 附 金						0
雑 入	0	0	0	0	220,363	220,363
本館					172,462	172,462
分館					47,901	47,901
合 計	47,904,140	1,105,470	44,340	0	220,363	49,274,313
本館	47,556,010	1,103,970	44,340	0	172,462	48,876,782
分館	348,130	1,500	0	0	47,901	397,531

歳 出

単位：円

科 目	平和祈念資料館管理運営事業	平和祈念資料館展示活動事業	「平和への思い」発信・交流・継承事業	沖縄平和啓発プロモーション事業	平和祈念資料館展示更新事業	合 計
報 酬	186,000	10,394,207	0	0	0	10,580,207
本館	186,000	6,113,697				6,299,697
分館		4,280,510				4,280,510
職員手当	0	3,142,403	0	0	0	3,142,403
本館		1,643,123				1,643,123
分館		1,499,280				1,499,280
報 償 費	8,400					8,400
旅 費	332,072	471,916	4,620	52,979	812,339	1,673,926
本館	254,812	404,306	4,620	52,979	812,339	1,529,056
分館	77,260	67,610				144,870
需 用 費	36,319,455	710,029	0	0	0	37,029,484
本館	34,588,763	653,495				35,242,258
分館	1,730,692	56,534				1,787,226
役 務 費	1,292,138	40,000	0	0	0	1,332,138
本館	1,171,322	40,000				1,211,322
分館	120,816					120,816
委 託 料	68,414,818	15,153,180	25,547,044	17,202,079	0	126,317,121
本館	66,628,924	15,153,180	25,547,044	17,202,079		124,531,227
分館	1,785,894					1,785,894
使用料及び賃借料	4,367,682	0	0	0	0	4,367,682
本館	4,358,682					4,358,682
分館	9,000					9,000
工事請負費	0					0
備品購入費	122,100	0	0	0	0	122,100
本館	122,100					122,100
分館						0
負担金補助及び交付金（本館）	10,000					10,000
合 計	111,052,665	29,911,735	25,551,664	17,255,058		184,583,461
本館	107,329,003	24,007,801	25,551,664	17,255,058	812,339	174,955,865
分館	3,723,662	5,903,934	0	0	0	9,627,596

## 6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

### (1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

(任期：令和6年10月30日～令和8年10月29日)

区分	役職名	氏名	現職名
教育関係者	会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
学識経験者	副会長	里井 洋一	沖縄県立博物館・美術館館長
学識経験者	委員	下地 芳郎	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー会長
	委員	前泊 克美	ひめゆり平和祈念資料館学芸員
	委員	田里 一寿	宜野座村教育委員会主幹
	委員	平敷 兼哉	宜野湾市立博物館館長
教育関係者	委員	平良 正栄	鏡水自治会長
	委員	大仲 るみ子	多文化ネットワーク f u ふ！沖縄設立代表者
	委員	大城 敏子	南風原町女性の翼の会会長
行政経験者	委員	大城 貴代子	公益財団法人おきなわ女性財団理事長
	委員	松川 満	公益財団法人沖縄県平和祈念財団事務局長
公募	委員	和田 香	自営業（元公立小学校教諭）

### (2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
学識関係者	部会長	里井 洋一	沖縄県立博物館・美術館館長
	委員	平敷 兼哉	宜野湾市立博物館館長
教育関係者	委員	田里 一寿	宜野座村教育委員会主幹

### (3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

#### ①第1回運営協議会

期日：令和6年10月30日（水）14:00～16:00

場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：(1) 委嘱状交付

(2) 役員等の選出

(3) 議題

① 平和祈念資料館及び八重山平和祈念館におけるリニューアルについて

② 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業について

③ 沖縄戦学習動画制作・ウェブ公開業務について

④ カンボジア地雷対策センター（CMA C）博物館支援事業について



辞令交付の様子



第1回運営協議会の様子

## ②第2回運営協議会

期日：令和7年3月21日（金）10:00～12:00

場所：平和祈念資料館 2階大会議室

内容：(1) 議 題

- ① 令和7年度職員配置定数及び新規事業について
- ② 令和7年度歳入歳出の当初予算（案）について
- ③ 年度別入館者数について（本館・分館）
- ④ 平和祈念資料館及び八重山平和祈念館のリニューアルについて
- ⑤ 令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画案（本館・分館）

(2) 報 告

- ① 令和6年度八重山平和祈念館部会について



第2回運営協議会の様子1



第2回運営協議会の様子2

## (4) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会八重山平和祈念館部会活動経過

八重山平和祈念館部会

期日：令和7年2月18日（火）12:40～13:50

場所：八重山平和祈念館

内容：(1) 議 題

- ① 常設展示に係る意見交換

(2) 報 告

- ① 令和6年度事業経過報告（展示活動・平和教育活動）について



八重山平和祈念館部会の様子



常設展示に係る意見交換の様子

## 7 施設の改修等の状況

これまでの改修等の状況

年 度	事業内容等	事業費（千円）
2009（平成 21）年度	屋根瓦修繕工事	19,453
〃	非常用バッテリー等修繕	5,565
〃	特別収蔵庫空調機	2,048
〃	その他修繕	694
2010（平成 22）年度	外壁等改修工事	38,870
〃	その他修繕	1,341
2011（平成 23）年度	空調機室外機 9 台	546
〃	その他修繕	2,072
2012（平成 24）年度	全自動循環及び全自動活性炭ろ過装置ろ材取替	1,995
〃	その他修繕	1,860
2013（平成 25）年度	一般収蔵庫の恒温恒湿空調機修繕	4,935
〃	電話交換機修繕	945
〃	その他修繕	1,898
2014（平成 26）年度	各展示室、事務学芸員室、大会議室 LED 化工事	13,824
〃	ブラインチラー等更新工事	35,316
〃	業務用エアコン更新工事	18,954
〃	その他修繕	1,710
2015（平成 27）年度	映像機器修繕	924
〃	自動制御設備不具合修繕	864
〃	石材修繕	1,782
〃	展示室スクリーン・プロジェクター修繕	1,696
〃	その他修繕	1,163
2016（平成 28）年度	浄化槽修繕	904
〃	中央監視修繕	2,376
〃	その他修繕	3,035
2017（平成 29）年度	給水管修繕	994
〃	屋上排気口、天井ダクト修繕	1,815
〃	突風被害緊急対応	1,553
〃	二次冷水管保温材修繕（地下機械室）	756
〃	汚水処理施設微細目スクリーン修繕	756
〃	その他修繕	1,691
2018（平成 30）年度	排煙ダクト修繕	1,782
〃	突風被害箇所及び関連場所補修工事	15,358
〃	非常用発電機装置整備修繕	2,484
〃	中水用圧力タンクポンプユニット取替修繕	2,754
〃	直流電源装置用蓄電池更新取替	4,860
〃	天井補修 2 箇所（台風被害）	676
〃	送風機異音修繕（空調）	929
〃	水中ポンプ取替	1,603
〃	その他修繕	3,597
2019（令和元）年度	1 階ガラス壁及び屋根瓦補修工事	101,183
〃	発電機起動用蓄電池修繕	957
〃	消防設備修繕	671
〃	1F 多目的ホール前トイレ排気ファン交換修繕	583
〃	2F 東側トイレ排気ファン交換修繕	583
〃	その他修繕	1,620
2020（令和 2）年度	各トイレ排気ファン交換修繕	1,375
〃	地下オイルタンク埋設配管改修工事	2,200

年 度	事業内容等	事業費（千円）
〃	中央監視装置リモートコントローラ3系統修繕	2,497
〃	自動制御設備機器電磁流量計修繕	1,760
〃	高圧引込埋設配管漏水修繕工事	2,035
〃	1階大ホール部分NO1系統AHU-3送風機修繕	528
〃	エレベーター1・2号機各種部品取替修繕	827
〃	東側事務所窓9箇所台風対策雨戸設置	1,210
〃	消防設備修繕	2,497
〃	電話機器一式修繕工事	2,491
〃	防災設備更新工事	12,595
〃	その他修繕	1,695
2021（令和3）年度	差圧発信器修繕	1,278
〃	リモートコントローラ4系統修繕	3,630
〃	照明制御盤更新工事	5,170
〃	消防設備修繕	1,278
〃	上水加圧給水ポンプ更新工事	3,190
〃	直流電源装置更新工事	5,148
〃	空調機予防保全工事	2,496
〃	消防設備修繕	770
〃	海と礎の回廊窓フィルム取替修繕	661
〃	その他修繕	3,007
2022（令和4）年度	デジタルサイネージ修繕	1,804
〃	誘導灯及び誘導標識修繕	979
〃	キュービクル内換気扇取替	737
〃	常設展示室タブレット端末バッテリー交換	524
〃	消火器取替及び誘導灯更新	550
〃	排煙設備及び防排煙制御設備修繕工事	2,860
〃	貯留槽及び機械室界壁修繕工事	4,598
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（建築）	57,345
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（空調）	109,428
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（衛生）	17,600
〃	令和4年度平和祈念資料館改修工事（電気）	69,212
〃	その他修繕	2,835
2023（令和5）年度	令和5年度平和祈念資料館改修工事（建築）	104,751
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事（空調）	167,541
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事（衛生）	26,510
〃	令和5年度平和祈念資料館改修工事（電気）	108,229
〃	消防設備修繕	521
〃	防煙防火ダンパー及び温度ヒューズ更新工事	3,158
〃	空調機器修繕工事（台風被害）	2,009
〃	排煙窓等修繕工事	7,095
〃	浄化槽調整槽エア配管取替	984
〃	計装盤避雷器設置	878
〃	その他修繕	3,819
2024（令和6）年度	空調機（大会議室、警備室等）ガス漏れ修繕	550
〃	一般収蔵庫空調機 熱交換器交換（ガス漏れ）	519
〃	除湿器（地下空調機械室、一般収蔵庫、特別収蔵庫）修繕	528
〃	上水加圧ポンプ用アキュムレータ取替	539
〃	ブラインチラーサーミスタ交換整備	567
〃	ブラインチラーガス漏れ修繕	2,239
〃	防火シャッター開閉器交換	638
〃	その他修繕	2,951
※50万円以上の修繕を記載し、それ以下の修繕は「その他修繕」としてまとめた。		事業費合計
		1,072,811

## Ⅱ 調査研究事業

### 1 第31回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、平成5年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

令和6年度は、川崎市平和館が事務局を担当した。11月7日（木）に同館会議室での対面参加とオンライン参加のハイブリッド形式で討議になった。

- (1) 期日：令和6年11月7日（木）15:00～17:00
- (2) 場所：オンライン討議（於：Zoom ミーティング）
- (3) 参加博物館（10館）
  - ① 埼玉県平和資料館【埼玉県】
  - ② 川崎市平和館【神奈川県】
  - ③ 立命館大学国際平和ミュージアム【京都府】
  - ④ ピースおおさか【大阪府】
  - ⑤ 広島平和記念資料館【広島県】
  - ⑥ 長崎原爆資料館【長崎県】
  - ⑦ 沖縄県平和祈念資料館【沖縄県】
  - ⑧ 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすぶらざ）【神奈川県】
  - ⑨ ひめゆり平和祈念資料館【沖縄県】
  - ⑩ 対馬丸記念館【沖縄県】
- (4) 次第
  - ① 事務局館挨拶 川崎市平和館 北村 憲司
  - ② 会議日程説明
  - ③ 出席館紹介
  - ④ 議長選出
  - ⑤ 議事  
協議題1「戦後80年の取り組みについて」  
聴取事項について報告  
次回開催館の紹介（立命館大学国際平和ミュージアム）

## Ⅲ 展示企画事業

### 1 常設展

#### (1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

#### 〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおして平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

#### 第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

#### 第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヶ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

#### 第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

#### 第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

#### ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

#### 第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。



第1展示室



第2展示室



第3展示室

## 【未来を展望するゾーン】

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象にしている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

### 「ぬちどう宝・せかいの子どもたち」コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校の様子、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

### 「いま、世界で何が…」コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

### 「わらびなー(庭)」コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまーる」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

## (2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2階の殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスクへ)を刷新した。(平成22年度)
- ②常設展示室第1室、第5室の年表パネルを刷新した。(平成22年度)
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成22年度)
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成26年度)
- ⑤常設展示室第2室の大型スクリーンを刷新した。(平成26年度)
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)を進めた。(平成27年度)
- ⑦常設展示室音声ガイダンス機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。(平成27年度)
- ⑧デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)
- ⑨常設展示室第4室 住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター4台設置(平成30年度)



第4展示室



第5展示室

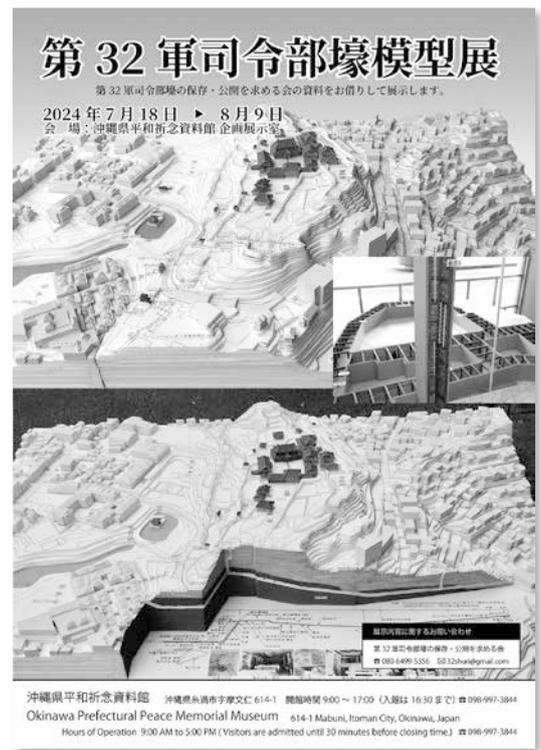


情報ライブラリー

## 2 企画展

### (1) 企画展「第32軍司令部壕模型展」

- ①期間：令和6年7月18日～8月9日
- ②場所：沖縄県平和祈念資料館 1階企画展示室
- ③内容：第32軍司令部壕の保存・公開を求める会の模型とパネルを借用して展示した。



展示の様子1



展示の様子2



展示の様子3



展示の様子4

## (2) 子ども・プロセス企画展

### 第1回「ガマから学ぶ沖縄戦」

住民の避難場所や日本軍の陣地壕として利用されたガマでは、集団死や住民迫害などにより、多くの人びとが犠牲になりました。その一方で、ガマに避難したことでたくさんの命が救われた場所でもありました。証言や沖縄戦の絵を通して、生死を分けた重要な場所であるガマに関心を持ち、沖縄戦の実相についてより深く考える機会としました。

[期間] 令和6年6月6日(木)～7月15日(月)  
9月7日(土)～10月6日(日)



展示の様子



ポスター

### 第2回「チャレンジ！夏休み自由研究 -沖縄戦について調べてみよう!! -」

夏休みの機会に、子どもたちに沖縄戦に関心を持ってもらう企画として、夏休みの自由研究についてのヒントなどを紹介する展示を行いました。情報ライブラリー内に、自由研究学習コーナーを設置し、子どもたちが学習に集中して取り組めるようにしました。また、子どもたちへの助言・指導のため、会期中に自由研究相談室や子ども教室を開催しました。

[期間] 令和6年7月20日(土)～8月31日(土)



展示の様子



ポスター

### 第3回「女性が見た沖縄戦」

沖縄戦の最大の特徴は、軍人よりも一般住民の犠牲がはるかに多かったことです。「女性」が体験した沖縄戦の実相について知ること、戦争は人びとの人間性を失わせ、尊い命や人権をふみにじるといふ実態を学び、そして戦争がおこると一般住民が悲惨な被害を受けるという歴史的教訓について学習する機会としました。

[期間] 令和6年10月17日(木)～令和7年2月2日(日)



展示の様子



ポスター

### 第4回「摩文仁が語る沖縄戦」

摩文仁地域の沖縄戦末期の状況を中心に、戦前から戦後までを様々な面から展示しました。地域住民や避難してきた人びとの証言、また戦争遺跡など地図や写真を用いて分かりやすく紹介しました。摩文仁地域の沖縄戦を掘り下げることで、平和祈念公園内で子どもたちが平和学習をする際の参考となるような展示にしました。

[期間] 令和7年2月13日(木)～5月18日(日)



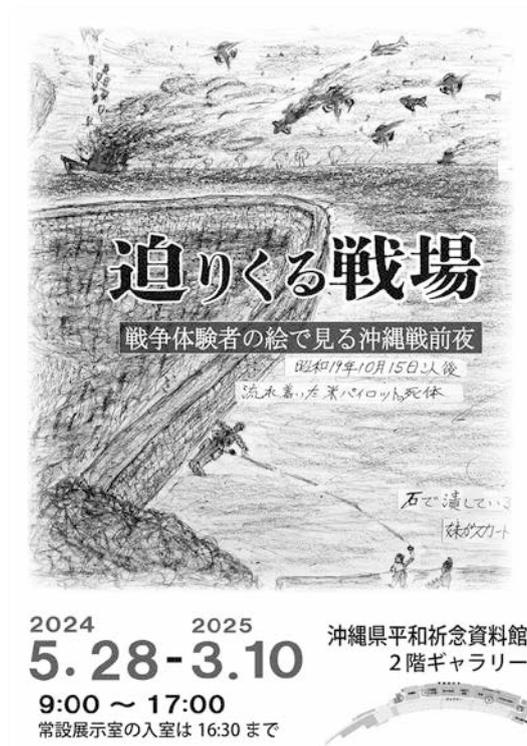
展示の様子



ポスター

### (3) ギャラリー展「迫りくる戦場」

- ①期間：令和6年5月28日～令和7年3月10日
- ②会場：沖縄県平和祈念資料館 2階ギャラリー
- ③内容：当館所蔵の沖縄戦体験者が描いた「沖縄戦の絵」と年表を用い、戦争が近づいてくる社会の様子を分かりやすく展示し、戦争を二度と起こさないためには、どうしたらいいのか、現状と比較しながら考えるきっかけとした。



展示の様子 1



展示の様子 2



展示の様子 3



展示の様子 4

## IV 資料収集・活用事業

### 1 新収蔵品目録

#### (1) 実物資料

令和6年度は、個人より4件(54点)の寄贈の申し出があり、収蔵資料として受け入れた。

寄贈日	資料名	数量	寄贈者
令和6年6月7日	市街地図「旧パラオ コロール市街」	1	田中順一
令和6年6月10日	朝日新聞社『アサヒグラフ臨時増刊 文展號 昭和十四年』昭和14年	1	有馬 義晴
	朝日新聞社『紀元二千六百年 奉祝美術展集 第二輯』昭和15年	1	
	朝日新聞社『大東亞戦争美術展集』昭和17年	1	
令和6年9月17日	絵葉書	13	Patrick D Cichon
	軍事郵便	12	
	写真	20	
	證書書類	2	
	色眼鏡	1	
令和6年10月25日	子ども用寝巻き	1	宮城 晴美
	スパイ防止マーク	1	

計 54 点

#### (2) 図書資料

令和6年度は、個人及び諸機関より書籍213点、購入図書21点を受け入れた。

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
1	令和7年3月31日	最前線兵士が見た「中国戦線・沖縄戦の実相」：加害兵士にさせられた下級兵士	近藤一・宮城道良著	1
2	令和7年3月31日	沖縄戦と基地—沖縄平和ネットワークの軌跡—	沖縄平和ネットワーク会報部会 [編]	1
3	令和7年3月31日	小さな生き証人 歴史と共に	新垣ミツエ	1
4	令和7年3月31日	わたしたちの戦争体験 6 沖縄	田代脩 [監修] / 日本児童文芸家協会 [編]	1
5	令和7年3月31日	沖縄決戦 高級参謀の手記	八原博道	1
6	令和7年3月31日	鉄の暴風 現地人による沖縄戦記	沖縄タイムス社 [編]	1
7	令和7年3月31日	わたしの戦後秘話—迷羊よいずこへ—	比嘉善雄	1
8	令和7年3月31日	竹富町史資料集① 鉄田義司日記—舟浮要塞重砲兵連隊の軌跡—	竹富町史編集室 [編]	1
9	令和7年3月31日	琉球の文化 第五号	大城精徳 [編]	1
10	令和7年3月31日	私の沖縄ノート—戦前・戦中・戦後	照屋佳男	1
11	令和7年3月31日	軍事史学 第五十九巻第四号	軍事史学会 [編]	1
12	令和7年3月31日	船舶団長的那覇帰還行	伊藤秀美	1
13	令和7年3月31日	沖縄戦の真実	長周新聞社 [編]	1
14	令和7年3月31日	なごらん (五十周年記念誌)	なごらん同窓会 [編]	1

番号	受入月日	書籍名	著者	数量
15	令和7年3月31日	第二次大戦時沖縄朝鮮人強制連行虐殺真相調査団報告書（復刻版）	第二次大戦時沖縄朝鮮人強制連行虐殺真相調査団〔編〕	1
16	令和7年3月31日	戦争賛美に異議あり！—沖縄における慰霊塔碑文調査報告—	靖国神社国営化反対沖縄キリスト者連絡会〔編〕	1
17	令和7年3月31日	いくさゆにいちてい	Oshiro Junko	1
18	令和7年3月31日	戦没者の慰霊と遺骨収集—ソロモン・沖縄を再び訪れて—	所 功	1
19	令和7年3月31日	沖縄女性史研究 第2号 沖縄戦を生きぬいて	沖縄県女性史研究会〔編〕	1
20	令和7年3月31日	一九五八年 沖縄の戦跡	琉球政府社会局〔編〕	1
21	令和7年3月31日	琉球要覧 1955年	琉球政府主席官房情報課〔編〕	1

## 2 資料貸出実績

### (1) 資料の貸出

令和6年度は、県内外あわせて計71件、669点の貸出を行った。

【県内 55件 423点】

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	浦添市立神森小学校	平和学習キットA・B	2	4/26～5/9
2	那覇市立与儀小学校	平和学習キットA・B	2	5/10～5/24
3	県立名護特別支援学校	沖縄戦実物資料（7点）	7	5/11～6/10
4	県立与勝高等学校	沖縄戦実物資料（3点） 平和学習キットB	4	5/21～6/3
5	県立沖縄工業高等学校	平和学習キットA・B	2	5/24～6/7 6/21～7/5
6	那覇市立天久小学校	沖縄戦実物資料（3点） 平和学習キットA	4	5/25～6/8
7	県立球陽高等学校	平和学習キットA	1	5/27～6/9
8	県立南風原高等学校	沖縄戦実物資料（4点） 沖縄戦の写真パネル（2点） 児童生徒平和メッセージ作品（1点）	7	5/27～6/21
9	西原町立坂田小学校	沖縄戦の写真パネル（19点）	19	5/28～6/28
10	県立那覇西高等学校	沖縄戦実物資料（2点）	2	5/29～6/26
11	県立大平特別支援学校	児童生徒平和メッセージ作品（9点） 沖縄戦の絵パネル（11点）	20	5/29～6/28
12	浦添市立浦西中学校	沖縄戦実物資料（8点）	8	5/30～6/26
13	県立那覇特別支援学校	児童生徒平和メッセージ作品（5点） 沖縄戦の絵パネル（6点）	11	5/30～6/28
14	県立南部商業高等学校	沖縄戦実物資料（11点）	11	5/31～6/28
15	那覇市立城東小学校	沖縄戦実物資料（4点）	4	5/31～6/28
16	糸満市立糸満南小学校	沖縄戦の絵パネル（12点）	12	5/31～6/25

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
17	那覇市立城北中学校	沖縄戦実物資料 (5点)	5	6/1 ~ 6/29 6/18 ~ 6/29
18	那覇市立小禄南小学校	沖縄戦実物資料 (4点)	4	6/1 ~ 6/30
19	県立美咲特別支援学校	平和学習キットA・D 世界人権宣言パネル (5点)	7	"6/1 ~ 6/14 6/14 ~ 6/29"
20	浦添市立浦添小学校	平和学習キットA・D	2	6/1 ~ 6/14
21	県立浦添高等学校	沖縄戦実物資料 (10点) 平和学習キットB	11	"6/1 ~ 6/29 6/18 ~ 6/29"
22	県立浦添商業高等学校	平和学習キットC	1	6/1 ~ 6/8
23	那覇市立城東小学校	平和学習キットA・B 平和のウムイ地域版 (那覇南部地区)	3	6/2 ~ 6/16
24	西原町立西原東中学校	平和学習キットA・B	2	6/3 ~ 6/17
25	県立那覇商業高等学校	沖縄戦実物資料 (4点)	4	6/3 ~ 6/24
26	県立南部農林高等学校	沖縄戦実物資料 (3点)	3	6/3 ~ 6/30
27	久米島町立球美中学校	平和のウムイ地域版 (宮古地区)	1	6/3 ~ 6/17
28	糸満市立真壁小学校	沖縄戦の写真パネル (16点) 平和学習キットA・B 平和のウムイ地域版 (那覇南部地区)	19	6/3 ~ 7/3 6/20 ~ 7/3
29	県立那覇国際高校	児童生徒平和メッセージ作品 (6点) 沖縄戦の絵パネル (14点)	20	6/6 ~ 7/5
30	那覇市立真嘉比小学校	沖縄戦の写真パネル (17点)	17	6/6 ~ 7/1
31	県立美来工科高等学校	沖縄戦実物資料 (5点) 沖縄戦の絵パネル (12点) 平和のウムイ地域版 (中部地区)	18	6/7 ~ 6/21
32	浦添市立港川小学校	沖縄戦実物資料 (4点) 平和学習キットC	5	6/8 ~ 6/22
33	県立名護特別支援学校	平和学習キットC	1	6/8 ~ 6/22
34	県立北山高等学校	沖縄戦実物資料 (5点) 平和学習キットB	6	6/9 ~ 6/22
35	県立西原高等学校	沖縄戦の絵パネル (8点) 児童生徒平和メッセージ作品 (5点) 沖縄戦の絵パネル (2点)	15	6/10 ~ 6/30
36	那覇市立松城中学校	沖縄戦実物資料 (7点) 沖縄戦の写真パネル (17点)	24	6/10 ~ 6/24
37	西原町立西原小学校	平和学習キットA・B	2	6/11 ~ 7/4
38	県立那覇高等学校	沖縄戦実物資料 (5点)	5	6/12 ~ 7/10
39	宗教法人本願寺沖縄別院	沖縄戦の写真パネル (14点)	14	6/12 ~ 7/4
40	糸満市立中央図書館	沖縄戦実物資料 (7点) 沖縄戦の写真パネル (2点) 沖縄戦の絵パネル (18点) 平和学習キットA・B	29	6/12 ~ 7/3
41	久米島教育委員会	平和のウムイ地域版 (久米島地区)	1	6/13 ~ 6/26
42	豊見城市役所	沖縄戦実物資料 (5点) 児童生徒平和メッセージ作品 (9点)	14	6/14 ~ 6/25

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
43	浦添市立前田小学校	平和学習キットC・D	2	6/15～6/28
44	沖縄高等特別支援学校	平和学習キットA	1	6/16～6/28
45	浦添市立当山小学校	沖縄戦実物資料(5点) 平和学習キットA・D	7	6/16～7/2
46	今帰仁村立今帰仁中学校	沖縄戦実物資料(3点) 沖縄戦の写真パネル(2点) 沖縄戦の絵パネル(4点) 児童生徒平和メッセージ作品(2点)	11	6/16～6/30
47	豊見城市立豊見城小学校	平和学習キットB	1	6/17～6/28
48	沖縄インターナショナルフリースクール	沖縄戦の写真パネル(1点)	1	6/19～6/26
49	県立普天間高等学校	平和学習キットA・B	2	6/27～7/11
50	嘉手納町役場	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	8/5～8/16
51	南風原町立南風原小学校	平和学習キットB・C	2	9/7～9/21
52	石垣市立新川小学校	沖縄戦実物資料(3点)	3	11/18～12/18
53	名護市立大宮中学校	沖縄戦実物資料(6点)	6	12/14～12/26
54	宗教法人本願寺沖縄別院	沖縄戦の写真パネル(16点)	16	3/7～3/31
55	生活協同組合コープおきなわ	沖縄戦実物資料(2点)	2	3/28～4/1

【県外 16件 242点】

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	(京都府) 城陽市役所	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	6/17～7/19
2	(神奈川県) 川崎市平和館	沖縄戦の絵パネル(20点) 平和学習キットA・B	22	7/13～9/1
3	(東京都) 港区役所	沖縄戦実物資料(10点) 沖縄戦の写真パネル(10点)	20	7/20～8/20
4	(埼玉県) 入間市役所	沖縄戦実物資料(13点) 沖縄戦の写真パネル(20点) 平和のウムイ地域版(中部地区) 平和のウムイ地域版(宮古地区)	35	7/26～8/23
5	(埼玉県) 朝霞市役所	沖縄戦の絵パネル(20点)	20	7/29～8/28
6	(神奈川県) 厚木市役所	平和のウムイ地域版(那覇南部地区)	1	7/30～8/10
7	(奈良県) ピースメッセージ展実行委員会	児童生徒平和メッセージ作品(4点)	4	8/2～8/31
8	(静岡県) 函南町役場	沖縄戦の写真パネル(20点)	20	8/2～8/19
9	(愛知県) 長久手市役所	沖縄戦の写真パネル(17点)	17	8/5～8/19
10	(滋賀県) ひこねピースフェスタ実行委員会	沖縄戦の絵パネル(10点) 平和学習キットB・C	12	8/5～8/15
11	(京都府) 精華町平和祭典実行委員会	沖縄戦の写真パネル(15点)	15	8/5～9/10

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
12	(京都府) 福知山市役所	沖縄戦の写真パネル (17 点) 平和学習キットD	18	8/6 ~ 8/20
13	(千葉県) 匝瑳市役所	平和学習キットC	1	9/5 ~ 9/17
14	(兵庫県) 播磨町役場	平和学習キットA	1	9/18 ~ 10/4
15	(埼玉県) 越谷市役所	沖縄戦の写真パネル (14 点) 児童生徒平和メッセージ作品 (1 点)	15	11/5 ~ 11/22
16	(千葉県) 東海大学付属 市原望洋高校	沖縄戦の絵パネル (20 点) 平和学習キットB	21	2/20 ~ 3/1

当館では、以下の資料を貸出しています。

沖縄戦写真パネル (201 点)、沖縄戦実物資料 (20 種類)、子や孫につなぐ平和のウミ地域版セット、児童・生徒平和メッセージ展入選作品パネル (図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式、沖縄戦絵パネル (52 点)、平和学習キット (4 種類)

## (2) 証言映像の貸出

令和6年度の貸出実績 5 件 (10 本) [県内 3 件 6 本、県外 2 件 4 本]

県内外の方々により深く沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に、戦争体験証言ビデオ (DVD・Blu-ray) の貸し出しを行っている。県内外の団体や学校が、沖縄戦を取り上げた展示や授業等の資料として活用した。近年は当資料館 HP から WEB 公開されている証言映像を視聴する利用者も増えている。

当館では、以下の戦争体験証言ビデオ (DVD・Blu-ray) を貸出している。

- ①戦争体験証言ビデオ・DVD(全 28 巻)・・・1 巻に 1 ~ 3 名収録 [全 79 名]
- ②DVD『やーさん ひーさん しからーさん～集団疎開学童の証言～』【通常版・ダイジェスト版】
- ③DVD『そしてぼくらは生き残った』・・・米軍撮影の記録映像。捕虜住民の収容所での生活。
- ④DVD『強制集団死 (集団自決) に係わる証言映像』
- ⑤DVD『平和のウミイ』(全 36 巻)・・・1 巻に 10 名収録 [全 300 名]
- ⑥DVD『戦争体験者証言多言語吹き替え映像』・・・1 枚に 1 名収録
- ⑦DVD『日系二世が見た戦中・戦後』(全 4 巻)1 巻に 4 ~ 6 名収録 [全 19 名]【日本語版・英語版】
- ⑧Blu-ray『住民の見た沖縄戦証言』(2 枚 1 組セット [全 70 名])
- ⑨戦後の戦争体験者証言映像収録「戦世からのあゆみ」(日本語版 DVD 6 枚に 30 名収録)
- ⑩戦後の証言映像「世替わりを生きて」(DVD 1 枚に 1 名収録)《20 名分》



### 3 撮影・掲載等利用一覧

令和7年3月31日現在

番号	申請者名(敬称等略)	資料名	点数	区分	許可日
1	山口放送株式会社 報道部 長尾 聡	米軍記録写真 [0009.0058.0083.0153.0197.0205.0206.0208~0216]	16	放映	4月10日
2	(公財)大野城まどか ぴあ男女平等推進センター 所長 池邊 幸子	第23回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校低学年の部 最優秀「へいわってすてきだね」安里 有生	1	利用	4月16日
3	滋賀県守山市人権政策課 課長 大隅 信江	・沖縄戦写真(戦闘状況) 21件 [18,52,58,64,78,83,85,113,114,124,132,226,230,253,267,267B,269,270,543,545,771] ・沖縄戦写真(収容状況) 10件 [197,200,206,295,297,302,203,353,654,712]	31	複製利用	4月22日
4	沖縄テレビ放送 報道制作局 局長 大瀨 直樹	常設展示室(第3展示室)	1	放映	4月23日
5	川崎市平和館 館長 北村憲司	令和4年度特別企画展「アメリカ世の記憶」 図録掲載画像 「全軍労スト弾圧の様子」「沖縄祖国復帰協議会ポスター」「コザ騒動で炎上する車両」	3	複製利用	5月7日
6	株式会社 悠工房 代表取締役 清水 柁善	沖縄戦写真(パネル番:B-011-1/写真番号:267)	1	複製利用	5月17日
7	株式会社 RBC ビジョン 代表取締役社長 砂川 恵一郎	常設展示室(第1展示室~第3展示室) ※大人のための平和学習(5月26日) 実施状況の取材	1	放映	5月23日
8	真嘉比小学校 校長 片平 雅明	沖縄県平和祈念資料館展示むすびの言葉	1	複製利用	5月27日
9	千葉県匝瑳市役所総務課 課長 山崎 利男	「児童・生徒の平和メッセージ」作品18点	18	利用	5月31日
10	琉球放送(株) 狩俣 倫太郎	「児童・生徒の平和メッセージ」作品6点 ・小学校低学年の部 最優秀 兼原小学校 仲松咲輝 ・小学校高学年の部 最優秀 天久小学校 知念由依 ・中学校の部 最優秀 開邦中学校 島袋莉安 ・高等学校の部 最優秀 開邦高等学校 宮城心輝	4	放映	6月5日
11	新・みちの会 江本なつみ	第33回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「今、平和は問いかける」	1	利用	6月6日
12	山城 知佳子	『We Drank Our Tears』(実物資料)	1	撮影	6月12日
13	奈良県宇陀市立 榛原東小学校 校長 梅田 良佳	「沖縄戦の戦闘経緯」 (資料番号:総-61-00)	1	複製利用	6月12日
14	沖縄県平和祈念資料館 友の会 会長 久保田 暁	沖縄戦米軍記録写真 [0085.0236.0240.0241.0243.0244.0246.0247.0249.0281.0284.0291.0292]	13	掲載	6月19日
15	西原町長 崎原 盛秀 (総務部企画財政課)	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」仲間 友佑	1	掲載利用	6月19日

番号	申請者名 (敬称等略)	資料名	点数	区分	許可日
16	株式会社絵本ナビ 金柿 秀幸	第23回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校低学年の部 最優秀「へい わってすてきだね」安里 有生	1	放映	6月19日
17	琉球新報社 普久原 均	「紙芝居 玉砕軍神部隊」「軍事絵葉書01」 「教練教科書」「教科書 カズノホン」	4	掲載	6月19日
18	琉球放送(株) 狩俣 倫太郎	「児童・生徒の平和メッセージ」作品2点 ・小学校低学年の部 優秀 天久小学校 知念慶 ・小学校低学年の部 優秀 天久小学校 知念芽生	2	放映	6月19日
19	山口放送株式会社 報道部 佐々木 聰	沖縄戦記録写真 16点 [0009,0058,0083, 0153,0197,0205,0206,0208 ~ 0216]	16	放映	6月23日
20	比嘉 照子	田本成子寄贈資料7件 【手織(斜文織り)の青年学校の教練服、杯、 お守りが入った財布、木製の名札、保険 料領収帳、戦争死亡傷害保険証券、支那 事変行賞 賜金國庫債券】	7	撮影	6月23日
21	西楽寺 住職 西楽 恵邃	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これか ら」仲間 友佑	1	掲載	7月2日
22	多摩住民自治研究所 理事長 荒井 文昭	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これか ら」仲間 友佑	1	掲載	7月2日
23	株式会社 東洋企画印刷 大城 孝	沖縄戦米軍記録写真 [0230,0233]・「沖縄 戦の戦闘経緯」(資料番号:総-61-00)	3	掲載	7月2日
24	平和へのメッセージ 2024実行委員会(桶川市) 川島 明	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これか ら」仲間 友佑	1	利用	7月3日
25	西日本新聞社 田川 大介	沖縄戦米軍記録写真 0560	1	掲載	7月3日
26	宮古テレビ株式会社 上地克幸	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「世界に ハートとアートを。」立津史音	1	放映	7月4日
27	株式会社宮古新報 代表取締役 洩鎌 敏一	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「世界に ハートとアートを。」立津史音	1	掲載	7月4日
28	宮古毎日新聞社 代表取締役社 山内 忠	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「世界に ハートとアートを。」立津史音	1	掲載	7月4日
29	日本友和会 理事長 野副達司	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これか ら」仲間 友佑	1	掲載	7月7日
30	岡山市立蛸明小学校 校長 信江 啓子	第32回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞 徳元 穂菜「こわいをして、へいわがわかった」	1	掲載	7月9日
31	三田市立けやき台中学校 校長 古井 善喜	第32回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校高学年の部 最優秀賞「おば あちゃんの名前」大和 碧	1	掲載 利用	7月11日
32	沖縄県立博物館・美術館 館長 里井 洋一	戦世からのあゆみ—戦争体験者戦中・戦 後の証言映像「芭蕉布とともに歩んだ私 の人生」平良敏子さん ※令和6年度特別展「芭蕉布展」での展 示および図録掲載	1	複製 掲載 利用	7月17日

番号	申請者名(敬称等略)	資料名	点数	区分	許可日
33	真田 かずこ	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」仲間 友佑	1	掲載	7月26日
34	山形放送(株) 板垣 正義	第23回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校低学年の部 最優秀「へいわってすてきだね」安里 有生	1	放映利用	7月29日
35	千葉の干潟を守る会 田久保 晴孝	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」仲間 友佑	1	掲載	7月31日
36	播磨町役場 住民協働部 協働推進課 玉川 滋一	第33回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校高学年の部 優秀賞「平和はあたりまえ？」比嘉愛梨 第32回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校高学年の部 優秀賞「平和の泉」松村有佐子 第30回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学校高学年の部 優秀賞「平和のありがたみ」仲田 文香 詩部門 小学校高学年の部 優秀賞「戦争はしない」山城 皇大	4	利用	7月31日
37	沖縄県教職員組合 中央執行委員長 木本邦広	第33回「児童・生徒の平和メッセージ」 図画部門 小学校低学年の部 優秀賞「平和のポケット」徳元 穂菜	1	複製 掲載 利用	8月5日
38	大阪府 富田林市 市長 吉村 善美	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」 仲間 友佑	1	掲載	8月7日
39	愛知県東海市立 上野中 学校 校長 林 智子	常設展示室(第1展示室、第3展示室(ガマ)、第4展示室)	3	掲載	8月13日
40	読売新聞西部本社 那覇 支局 櫻木 剛志	沖縄戦の絵 187-1 宮良幸宏「疎開船への 攻撃(台湾疎開途上 尖閣諸島近海での空襲)」	1	掲載	8月13日
41	『流れる雲よ』名古屋公 演実行委員会 平川 涼介	平和祈念資料館外観	1	掲載	9月12日
42	ひがしひろしま合唱 まつり実行委員会 森木 昭博	第33回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 優秀賞高等学校の部「みるく世が やゆら」知念捷	1	掲載 利用	9月17日
43	合唱団ひぐらし 宮部 好広	第33回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 優秀賞高等学校の部「みるく世が やゆら」知念捷	1	掲載 利用	9月25日
44	創価大学沖縄平和研究会 清水 大祐	「沖縄戦の戦闘経緯」 (資料番号:総-61-00)	1	掲載	9月25日
45	国頭村教育委員会 教育長 宮城 尚志	常設展示室(第1展示室～第5展示室)	1	撮影 掲載	9月28日
46	生活協同組合コープお きなわ 代表理事理事長 古堅 忠司	「アジア・太平洋戦争の動き」	1	掲載	10月1日
47	鹿児島県鹿屋市立花岡 中学校 校長 川畑 勇司	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」 仲間 友佑	1	利用	10月3日
48	奈良市立鼓阪小学校 校長 吉本 祐介	第32回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 小学生低学年の部 最優秀賞「こ わいをして、へいわがわかった」徳元穂菜	1	利用	10月14日

番号	申請者名 (敬称等略)	資料名	点数	区分	許可日
49	青年劇場 有志の朗読の会 松田光寿	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」仲間 友佑	1	利用	10月17日
50	親子読書地域文庫全国 連絡会 代表 三木 三江子	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」仲間 友佑	1	利用	10月25日
51	有限会社 アイディー・ ブランド 代表取締役 喜納 利充	常設展示室(第1展示室～第5展示室)および1階子ども・プロセス展示室	1	撮影 掲載	10月31日
52	沖縄県高教組 外間 ひろみ	『平和祈念資料館 総合案内』掲載の写真 p72「集団死をはかった時の傷跡が残る」・ p111「スクラップ(屑鉄拾い)」	2	掲載	11月8日
53	株式会社マガジンハウス 鉄尾 周一	平和祈念資料館外観、常設展示室(第2 展示室及び第4展示室)	3	掲載	11月27日
54	琉球新報社 社長 普久原 均	米軍記録写真 [0019,0055,0084,0295, 0299,0300,0351,0383,1114] 実物資料 [ANP0120331-02G-04] ※個人情報(本籍地)はマスキング 寄贈写真 [SYZ000026764]	11	掲載 利用	11月27日
55	オフィス・ゆう 吉田 忠正	米軍記録写真 [024、227、307]	3	掲載	12月2日
56	小郡市役所 人権・ 同和教育課 有馬 義明	第34回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「これから」仲間 友佑 仲間 友佑さん 肖像写真	2	掲載	12月5日
57	(株) VSQ 常務取締役 清水 徹	戦世からのあゆみ一戦争体験者戦中・戦 後の証言映像「芭蕉布とともに歩んだ私の 人生」平良敏子さん	1	複製 放映	12月26日
58	株式会社ハースト・ デジタル・ジャパン エル・デコ編集部 坂田 綾子	平和祈念資料館外観、常設展示室(第4 展示室)、海と礎の回廊、平和祈念ホール	4	掲載 放映	12月28日
59	株式会社 エフエム福岡 代表取締役社長 中麿 英喜	戦世からのあゆみ一戦争体験者戦中・戦 後の証言映像「芭蕉布とともに歩んだ私の 人生」平良敏子さん	1	複製 放映	12月28日
60	沖縄タイムス社 代表取締役社長 武富 和彦	常設展示室(第1展示室、第5展示室)	5	掲載	1月23日
61	沖縄県教育委員会 教育長 半嶺 満	・写真資料(「降伏式鹿山兵曹長の訓示」「鹿 山兵曹長の号令、武装解除する兵」「鹿山兵 曹長の武装解除、左から三人目は私、儀間 真栄」「藁葺きの集落のようす」)・鹿山文書・ 展示むすびのことば・常設展示室(第3展 示室(ガマ)、第4展示室(観覧状況)・平和祈 念資料館外観・防衛隊召集の通知 昭和20 年3月10日・戦世の記憶スクリーンショッ ト・千人針・沖縄戦の絵(金城智恵子「無 題」、大城安信「伊江島 集団自決の直前」、大 城政英「スパイ容疑をかけられた私」)・スパ イ防止マーク・大湿帯御真影奉護壕模型	17	複製 掲載 放映 利用	2月14日

番号	申請者名 (敬称等略)	資料名	点数	区分	許可日
62	NHK 沖縄放送局 赤岩 勇二	第 32 軍司令部壕 (那覇市首里) の遺物 ・SYZ000018288 (小銃) 1 点 ・SYZ000018339 (鶴嘴) 1 点 ・SYZ000018342 (受話器) 1 点 ・SYZ000018346 (コード・マイク付き) 1 点 ・SYZ000020994 (九三式火焰発射器) 1 点 ・SYZ000020899 (飲み物瓶) 7 点 ・SYZ000021174 (陶磁器破片) 5 点	17	撮影 放映	2 月 14 日
63	堺市立平和と人権資料館 館長 阪井 義三	・「沖縄戦の戦闘経緯」(資料番号: 総 -61-00) ・「日本軍機の攻撃に激しい対空砲火で応 戦する米軍 4 月 16 日」(米軍記録写 真:0132)	2	複製 利用	2 月 14 日
64	糸満市企画部政策推進課 金城 壮	SYZ000027753(三十年式銃剣)	1	撮影 掲載 放映 利用	2 月 27 日
65	筑前町立大刀洗平和記念館 館長 稲葉 佳奈	・米軍記録写真 [0019,0022,0032,0132,0371]	5	複製 利用	2 月 27 日
66	東京書籍株式会社 代表取締役社長 渡辺 能理夫	・米軍記録写真 [0224, 0227] ・SYZ000017506 (九七式手榴弾 (弾体))	3	掲載 利用	2 月 27 日
67	“東京混声合唱と共につ くるコンサート in ヒロ シマ” 実行委員会 実行委員長 内田 陽一郎	第 33 回「児童・生徒の平和メッセージ」 詩部門 優秀賞高等学校の部「みるく世が やゆら」知念捷	1	掲載 利用	2 月 27 日
68	徳島県中学校人権教育 研究会 濱田 理絵	・米軍記録写真 0613 ・展示むすびのことば	2	掲載	2 月 27 日
69	株式会社桂樹社グループ 広山 大介	・平和祈念資料館外観 (西から) ・常設展示室 (第 3 展示室)	2	掲載	2 月 27 日
70	小郡市役所 人権・同和 教育課 課長 有馬 義明	「沖縄戦の戦闘経緯」 (資料番号: 総 -61-00)	1	掲載	3 月 6 日
71	株式会社 東洋企画印刷 大城 孝	・「沖縄戦の戦闘経緯」(資料番号: 総 -61- 00)・「総合案内」p84「第 3 展示室 (ガン)」 ・米軍記録写真 [0230,0233,0289,0613]	6	掲載	3 月 6 日
72	泉病院友の会・平和の 委員会 野原 義照	・米軍記録写真……43 件 ・沖縄戦の絵……19 点	62	複製 利用	3 月 11 日
73	宮城テレビ 代表取締役社長 玉井 忠幸	常設展示室 (第 1 展示室～第 5 展示室)	1	撮影 放映	3 月 12 日
74	ナック・ビジュアル 池田 智	常設展示室 (第 1 展示室～第 5 展示室)	1	複製 利用	3 月 17 日

# V 教育普及事業

## 1 教育普及事業

### (1) 第34回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえない文化遺産を失った。戦後79年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



ポスター

①応募総数 2,141 点

(図画 1,032 点 作文 221 点 詩 888 点)

②令和6年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者  
沖縄県立宮古高等学校3年 仲間 友佑「これから」

③展示会

- ・糸満市（沖縄県平和祈念資料館） 期間：6月23日（日）～ 7月2日（火）  
8月17日（土）～ 8月31日（土）
- ・石垣市（八重山平和祈念館） 期間：7月10日（水）～ 7月20日（土）
- ・宮古島市（宮古島市未来創造センター） 期間：7月27日（土）～ 8月6日（火）
- ・名護市（名護市立中央図書館） 期間：9月6日（金）～ 9月16日（月）
- ・那覇市（沖縄県立図書館） 期間：9月25日（水）～ 10月7日（月）

④表彰式

- ・令和6年8月24日（土）14:00～16:00  
平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

⑤入賞作品数（213点）

【小学校低学年の部】38作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	6	11	20作品
作文	1	3	2	2	8作品
詩	1	3	3	3	10作品

【小学校高学年の部】44作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	10	20作品
作文	1	1	1	2	5作品
詩	1	2	7	9	19作品

【中学校の部】 51 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	7	8	18 作品
作 文	1	2	7	6	16 作品
詩	1	2	7	7	17 作品

【高等学校の部】 49 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	7	10	20 作品
作 文	1	3	5	9	18 作品
詩	1	2	3	5	11 作品

【特別支援（学校及び学級）の部】 31 作品

	最優秀	優 秀	優 良	佳 作	合 計
図 画	1	2	5	7	15 作品
作 文	0	1	0	6	7 作品
詩	1	1	2	5	9 作品

⑥展示会の様子（沖縄県平和祈念資料館）



展示会開会式（6月23日）



記念撮影（作品の朗読者）（6月23日）



観覧の様子（6月23日）



観覧の様子（表彰式8月24日）



観覧の様子（表彰式8月24日）

⑦表彰式の様子



記念撮影  
(図画部門)



作品紹介 (図画)



記念撮影  
(作文部門)



朗読 (作文)



記念撮影  
(詩部門)



朗読 (詩)



賞状授与の様子



## (2) 「こどもの日」ビデオ上映会

[期日] 令和6年5月5日(日)

[場所] 平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

[内容] こどもの日は、子どもを対象に無料入館を実施するとともに、沖縄戦に関するアニメの上映会を実施した。



## (3) 「慰霊の日」沖縄戦関連ビデオ上映会

[期日] 令和6年6月23日(日)

[内容] 当館設立理念の普及啓発を図る目的で、慰霊の日は、開館時間を1時間延長するとともに、沖縄戦関連ビデオの上映会を実施している。



## (4) 夏休み子ども向け企画

### ① 夏休み自由研究相談室

[期間] 令和6年7月20日(土)～8月31日(土) 10:00～17:00

[場所] 平和祈念資料館 1階情報ライブラリー

[内容] 沖縄戦に関する自由研究の進め方や疑問点などの相談に対応する。

[相談者数] 47名

### ② 夏休み子ども教室

[期日] 令和6年7月28日(日) 13:00～16:00

[場所] 平和祈念資料館 1階情報ライブラリー

[内容] 研究シートを使って沖縄戦について学習し、それをまとめて自由研究ノートなどを作る。

[参加者数] 3名



自由研究学習コーナー



夏休み子ども教室

## 2 教育機関等との連携

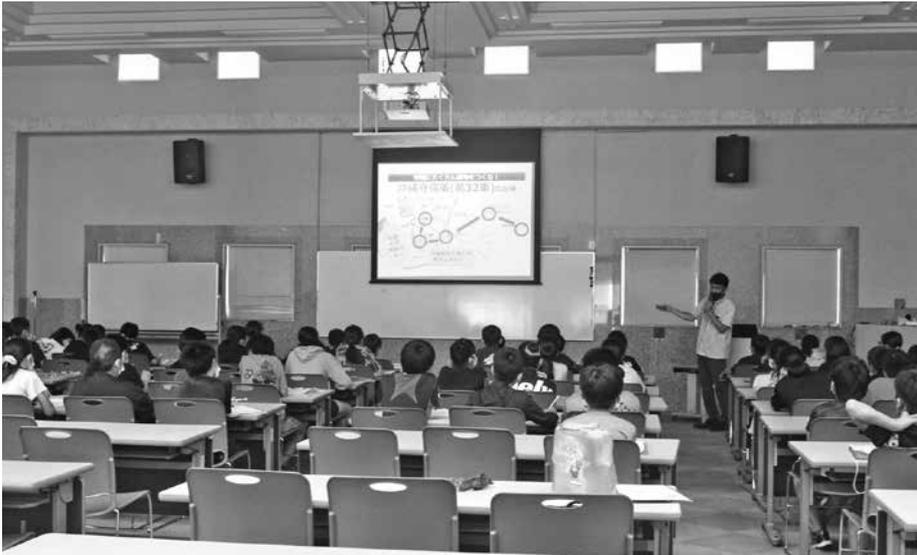
### (1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話がある。

児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、特徴、常設展示室の紹介など、60分程度で要点をおさえて説明するとともに平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっている。

[平和講話実施状況] 総計 101 校 (106 回) [9,824 人]

- ・小学校 80 校 (80 回) [6,658 人]
- ・中学校 9 校 (9 回) [1,230 人]
- ・高等学校 8 校 (13 回) [1,684 人]
- ・特別支援学校 4 校 (4 回) [252 人]



平和講話の様子 (大会議室)

### (2) 離島・遠隔地講師派遣事業

[期間] 通年

[実施] 令和6年11月7日(木)

恩納村立恩納小学校児童43名(6年生対象)

[場所] 恩納村立恩納小学校

[講師] 呉屋 広徳 (沖縄県平和祈念資料館 学芸班 主査)

[内容] 所在地が離島又は遠隔地にある沖縄県内の学校(※)が、当館の展示室見学に係る事前学習又は事後学習として平和講話を依頼する場合、申請理由を検討し当館が当該学校へ講師を派遣する。

#### 【※対象について】

- ① 沖縄県内の学校教育法における小学校、中学校及び高等学校で、所在地が小中学校は国頭地区・恩納村、高等学校・特別支援学校は北部地区にあって、当館での平和講話の受講が困難なもの。
- ② いじめや疾病等の理由で、学校教育法に定める学校に通うことができない児童生徒の教育支援を行っている、いわゆるフリースクールで、所在地が沖縄県内の離島または遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

### (3) 児童・生徒の職場体験(インターンシップ)の受け入れ

児童・生徒の望ましい職業観・勤労観を育むため、当資料館では、学校からの要望に応じて、毎年、職場体験及びインターンシップの生徒・学生を受け入れています。令和6年度の実績はありません。

#### (4) 沖縄少年院連携事業

[期日] ①令和6年7月17日(水) 10:00～15:30 1名

②令和6年11月28日(木) 10:00～15:30 4名

[内容] 沖縄少年院の院生を対象に平和講話や常設展示室の案内、摩文仁の戦跡フィールドワークを実施する。

[実施回数・人数] 計2回 計5名

#### (5) 大学連携事業

県内大学のゼミ等と連携した取組を通して、沖縄戦の実相と教訓の継承を担う人材の育成を図る。学芸員養成課程を受講する学生が常設展示室の見学を通して沖縄戦及び平和の大切さについて学習する。

[参加者] 沖縄大学 学生18人 教員1名

[日 時] 令和6年6月20日(木) 9:40～11:40

[内 容] 平和講話受講 常設展示室見学

#### (6) 大人のための平和学習 ～1から学ぶ沖縄戦～

[期 日] 令和6年5月26日、6月30日、7月28日、8月25日、9月22日、10月27日、11月24日、12月22日、令和7年1月26日、2月23日【10回実施】

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室・常設展示室

[内 容] 大人を対象に、平和講話（沖縄戦の経緯と特徴、沖縄戦の記憶の継承）及び常設展示室見学を行う。大人世代が「沖縄戦を1から学ぶ」ことを通して、家庭で子や孫と一緒に沖縄戦や平和について話し合う契機とし、世代間における沖縄戦の実相と教訓の継承に繋げることを目的とする。

[参加者] 合計135名



沖縄戦に関する平和講話



実物資料を手にする受講者



常設展示室における解説

### 3 講座・講習会・研修会

#### (1) 沖縄県平和祈念資料館利用案内説明会

沖縄戦の実相と歴史的教訓を後世へ正し伝え、平和発信に関する当館の取り組みを広く県内小中高等学校及び特別支援学校等の教育現場に周知し、平和学習における連携を深め、児童・生徒に平和を大切にする「沖縄のこころ」を育むことを目的として、毎年、年度当初に説明会を開催している。

[期 日] 令和6年4月5日(金) 14:00～15:30

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室

[参加者] 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等

当日参加者 16人(9校) 資料提供のみ 23校

※令和6年度より説明会に参加できない教職員対象に資料提供のみの取り組みを行った。

[内 容] (1) 沖縄県平和祈念資料館について(設立理念、資料館の概要等について)

(2) 2022(令和5)年度事業紹介(児童・生徒の平和メッセージ展等)

(3) 教育機関との連携事業

① 県内学校向け平和講話

② 平和学習キット、証言映像貸出等

③ 離島・遠隔地講師派遣事業

(4) 質疑応答

(5) 学芸員による常設展示室案内(※令和6年度から開始)



貸出資料の展示



資料の説明



学芸員による展示室案内

#### (2) 県立学校初任者研修

県立高等学校及び県立特別支援学校において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[期 日] 令和6年5月9日(木) 14:00～15:00

[場 所] 平和祈念資料館 1階平和祈念ホール及び常設展示室、平和祈念公園

[受講者] 県立学校初任者 91名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

#### (3) 養護教諭初任者研修

本年度新採用された養護教諭初任者を対象とする研修会において講義を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[期 日] 令和6年5月14日(火) 11:00～12:00

[場 所] 県立総合教育センター 第3研修室(本館3階)

[受講者] 養護教諭初任者 16名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンライン研修

#### (4) 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修

教員の中堅教諭を対象とする島尻教育事務所主催の研修会における研修動画を作成した。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[配信日] 令和6年5月20日(月)～6月7日(金)

[場 所] 各学校

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校、養護教諭、学校栄養職員、幼稚園・認定こども園の中堅教諭等

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンデマンド配信

#### (5) 幼稚園・幼保連携型認定こども園初任者研修

幼稚園及び幼保連携型認定こども園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[期 日] 令和6年6月5日(水) 10:50～12:00

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 多目的研修等

[受講者] 幼稚園・認定こども園初任者 76名

[内 容] 講義「学校教育における平和教育の意義と必要性について」

#### (6) 島尻教育事務所初任者研修

教員の初任者を対象とする島尻教育事務所主催の研修会において講義及び常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[期 日] 令和6年6月6日(木) 14:00～16:45

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室及び常設展示室

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校 93名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[見 学] 常設展示室案内：本館学芸班職員3名

#### (7) 那覇教育事務所初任者研修

教員の初任者を対象とする那覇教育事務所主催の研修会における研修動画を作成した。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資することをねらいとしている。

[配信日] 令和6年7月25日(木)～8月23日(金)

[場 所] 各学校

[受講者] 那覇教育事務所管内 小・中学校 26名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

[方 法] オンデマンド配信

## (8) 学校栄養職員初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修

本年度新採用された学校栄養職員初任者及び中堅者を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、関わり方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。また、児童・生徒が身近に感じる学校給食との関連性から平和を意識させる工夫・改善や、学校教諭との連携を密にしながら平和教育に取り組む姿勢を学ぶことをねらいとしている。

[期 日] 令和6年8月21日(水) 10:45 ~ 12:00

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 第1研修室(本館3階)

[受講者] 学校栄養職員初任者及び中堅者 9名

[内 容] 講義「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

## (9) JICA 課題別研修「基礎教育における格差対策のための教育行政強化コース」

[対象国：インドネシア他16ヶ国]

本研修は、基礎教育行政を担当する開発途上国中央省庁等の行政官を対象とし、教育格差是正にかかる日本や沖縄の経験を学ぶことで、それぞれの国の教育格差に関する課題を明らかにするとともに、実現性・実効性の高い改善策を検討していくことを目的として実施するものである。

[期 日] 令和6年7月1日(月) 14:00 ~ 15:00

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室(※講義後、常設展示室見学)

[受講者] 16名(インドネシア他14ヶ国)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウイングス

[内 容] 講義「沖縄戦についての講話及び沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

## (10) JICA 日系社会研修「沖縄ルーツの再認識を通して学ぶソフトパワー活用と地域活性化」

沖縄にルーツのある日系人や沖縄県人会等地域社会のリーダーを対象に、沖縄の歴史・文化・戦後復興の歩みを学び、ルーツである沖縄を再認識すると共に、薄れつつある沖縄アイデンティティを強化し、研修員所属日系地域のコミュニティの活性化と発展に寄与する若きリーダーを育成することをねらいとしている。

[期 日] 令和6年10月17日(木) 14:00 ~ 15:00

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室(※講義後、常設展示室見学)

[受講者] 沖縄にルーツのある県系人 5名(ブラジル、ペルー)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウイングス

[内 容] 講義「沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

## (11) JICA 国別研修 コロンビア「和解と平和に向けた教育強化研修」

本研修は、前身である「平和教育における現職教員研修制度強化」を通して沖縄及び日本の平和教育の意義・実践方法を教授し、コロンビアの平和教育の改善、質の向上を図ってきたが、基礎的な知見の習得だけに留まらず開発効果を上げるために、紛争被害の影響を大きく受け、和平協定の一環である地域重点開発計画対象自治体向けに、現職教員を対象とした研修計画やアクションプランの策定と継続的な実践能力の強化を図ることで、平和教育のさらなる普及・拡大を目指している。

[期 日] 令和7年1月30日(木) 10:00 ~ 11:00

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室(※講義後、常設展示室見学)

[受講者] 10名(コロンビア国)

[機 関] 特定非営利活動法人 レキオウイングス

[内 容] 講義「沖縄県平和祈念資料館の平和事業の取り組み」

## (12) 沖縄県平和祈念資料館講習会

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催している。

[期 日] 令和7年3月11日(火) 13:30～15:45 (15:45～16:45 希望者のみ、展示室見学)

[場 所] 平和祈念資料館 2階大会議室、常設展示室

[受講者] 県内観光業、旅行業および案内ガイド等関係機関 28名

[内 容] ・平和祈念資料館の概要について

- ・講話：「沖縄戦の特徴」（講師：平和祈念資料館学芸班学芸員 仲程 勝哉）
- ・平和祈念資料館展示の内容について
- ・館内案内及びポイント解説（希望者のみ）



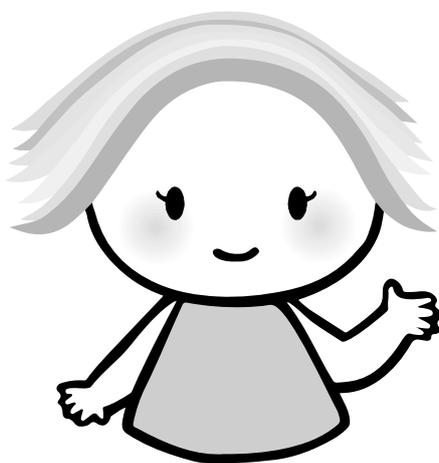
平和講話の様子



実物資料を手にする受講者



館内を案内する職員



アカナちゃん

## VI 広報活動・出版物等

- 『沖縄県平和祈念資料館 年報 第24号』  
2023（令和5）年度、当館事業の実績報告書に関わる行政資料  
入館者の概要、事業内容や活動報告等 A4版128頁、500部  
※博物館、図書館等の施設へ配布。
- 『資料館だより』 第47号、第48号  
資料館の活動報告や事業計画等について掲載。年間2回発行（11月、3月）  
A4版8頁、2,500部  
※学校団体、公立図書館、博物館施設等へ配布。
- 『第34回児童・生徒の平和メッセージ』  
展示会告知ポスター A2 サイズ 650枚 チラシ A4サイズ 3,000枚  
次年度作品募集ポスター A3サイズ 4,300枚 報告書：A4版100頁、900部  
※県内学校、市町村教育委員会等へ配布。
- 『令和6年度「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業報告書』  
A4版85頁、850部（日本語版700部・英語版150部）  
※参加者（各国・地域）が在籍する大学、国公立図書館、博物館、県内大学、高等学校等へ配布。
- 『令和6年度 沖縄戦の語り継ぎ手養成事業報告書』  
A4版35頁、600部  
※県内の公立図書館、平和関連施設、平和ボランティア団体等へ配布。



## Ⅶ 展示更新事業

### 1 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会

#### (1) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会委員名簿

任期：令和6年6月10日～令和7年3月31日

部会等	氏名	組織・役職名	備考
会長	吉浜 忍	新沖縄県史編集委員会 会長 南風原町文化財保護委員会 委員長	令和6年 8月23日逝去
	仲地 博	元沖縄大学 学長 琉球大学・沖縄大学 名誉教授	令和6年 11月28日就任
①戦前・戦中時代	林 博史	関東学院大学 名誉教授	
	瀬戸 隆博	恩納村史編さん係 会計年度任用職員	
	古賀 徳子	ひめゆり平和祈念資料館 学芸課長	
②戦後時代	宮城 晴美	新沖縄県史編集委員会 副会長	副会長
	謝花 直美	琉球大学人文社会学部 准教授 ジャーナリスト	
	鳥山 淳	琉球大学島嶼地域科学研究所 教授	
③平和の発信・学習	里井 洋一	県立博物館・美術館 館長 琉球大学 名誉教授	
	新城 俊昭	沖縄大学 客員教授 沖縄歴史教育研究会 顧問	
	今 理織	NHK チーフ・ディレクター	
	山城 彰子	大学非常勤講師 北中城村教育委員会生涯学習課 会計年度任用職員	
④八重山平和祈念館	石堂 徳一	八重山台湾親善交流協会 会長 会長 石垣市文化協会 副会長	
	宮良 純一郎	八重山戦争マラリアを語り継ぐ会 事務局長 子どもと教科書を考える八重山地区住民の会 会長	
	山口 剛史	琉球大学教育学部 教授	

#### (2) 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会経過

##### ①第1回監修委員会

[期日] 令和6年6月13日(木) 14:00～16:00

[場所] 平和祈念資料館 2階大会議室、常設展示室

[内容] ・会長等の選任について

- ・今後の委員会の進め方について
- ・展示更新に向けた考え方(案)について
- ・令和6年度事業計画(案)について
- ・館内視察

##### ②第2回監修委員会

[期日] 令和6年9月5日(木) 14:00～16:00

[場所] 平和祈念資料館 2階大会議室

[内容] ・各部会における検討状況報告

- ・各部会におけるリニューアルの検討事項

③第3回監修委員会

[期日] 令和6年12月3日(火) 10:00～12:00

[場所] 平和祈念資料館 2階大会議室

[内容] ・会長の選任について

・沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本構想について

④第4回監修委員会

[期日] 令和7年1月28日(火) 14:00～16:00

[場所] 平和祈念資料館 2階大会議室

[内容] ・沖縄県平和祈念資料館及び八重山平和祈念館展示更新基本計画(素案)について

・今後の検討課題について



監修委員会の様子

附記

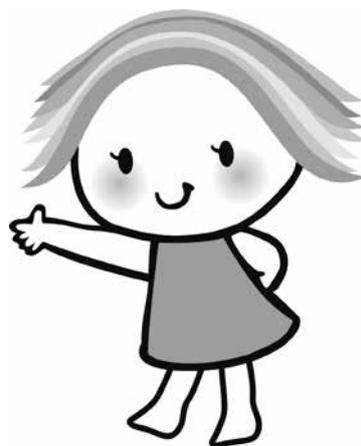
①「戦前・戦中時代」部会 : 6回開催

②「戦後時代」部会 : 5回開催

③「平和の発信・学習」部会 : 6回開催

④「八重山平和祈念館」部会 : 5回開催

⑤「戦前・戦中時代」部会、「戦後時代」部会合同会議 : 1回開催



アカナちゃん

## Ⅷ その他の事業

### 1 沖縄平和啓発プロモーション事業（沖縄戦学習動画制作及びWEB公開業務）

#### (1) 実施目的

鉄の暴風と表現される激しい戦闘に巻き込まれ、県民の四人に一人が犠牲になった沖縄戦から79年。戦争体験者の高齢化に伴い、語り部の体験を聞く貴重な機会も減少している。学校現場における平和学習においては戦争体験者語り部の確保が難しく、適切な平和学習教材も不足しているため平和学習の取組に課題を抱えている。

沖縄戦の実相を次代に継承し、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に発信するためにも若い世代の平和学習の充実が喫緊の課題である。

学校現場等における平和学習の充実のために、児童生徒の発達段階に応じた沖縄戦学習動画作成及びWEB公開事業を行うこととする。

#### (2) 実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 株式会社okicom

#### (3) 事業期間

令和6年9月13日～ 令和7年3月31日

#### (4) 事業内容

当館学芸班が沖縄県内の学校を対象に実施している平和講話の内容をもとにして児童生徒対象の沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ沖縄戦の記憶」を制作し、WEB公開を行う。

#### (5) 事業詳細

当館では、これまで多くの沖縄戦体験者の証言を証言映像として記録し、館内及びWebサイト等を通じて公開している。1000人余りの証言映像を保有する一方で、若い世代向けの平和学習教材が不足している課題があった。学校現場等から沖縄戦の概要について学ぶ貸出資料のご要望を多くいただき、令和6年度は、新たな取り組みとして、児童生徒を対象とした沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ、沖縄戦の記憶」制作及びWEB公開事業に取り組んだ。

学習動画は小学校高学年対象と中高校生対象の発達段階に応じた2本を作成した。動画の構成は

- ①「琉球～沖縄」
  - ②「戦争に進む日本」
  - ③「迫る沖縄戦」
  - ④「沖縄戦」
  - ⑤「住民被害」
  - ⑥「沖縄戦から何を学ぶか」
- の6つからなり、それぞれにチャプターを付けて利用者の用途に応じた場面から視聴できる仕様となっている。また、動画視聴後に授業で活用できる学習シートや補足資料等を作成した。さらに、ゲストに県出身のアーティスト「Rude-α」とHYの仲宗根泉さんを起用し、若い世代に向けた平和へのメッセージも発信している。2025年は戦後80年の節目を迎え、平和学習へのニーズはさらに高くなることが予想される。沖縄戦学習動画「礎が紡ぐ、沖縄戦の記憶」はDVDの貸し出し及び当館HPから視聴することができる。



## 2 沖縄平和啓発プロモーション事業(令和6年度「平和への思い(ウムイ)発信・交流・継承事業」)

### (1) 実施目的

沖縄と同様に、悲惨な戦争体験などを有し、体験の継承と平和構築に取り組むアジア諸国と日本の学生が共に学びつつ相互理解を深め、平和について考える機会を提供し、各国・地域の平和教育・平和活動に資するとともに、本事業で培った絆により平和構築のためのネットワーク形成と広く平和のために活動する人材を育成し、事業の成果を平和教育等に継続的に活用する目的で実施しました。

2019(令和元)年から事業が始まり、2022(令和4)年度は、海外の参加者はオンラインで、広島、長崎、沖縄の参加者は対面で参加するという、ハイブリッド形式で事業を実施しました。2024(令和6年)年度は、昨年同様に完全対面実施となり全員沖縄に参集し、共同学習を行いました。

### (2) 実施主体

- ・主催 沖縄県(主管 沖縄県平和祈念資料館)
- ・受託事業者 特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター(OPAC)

### (3) 事業期間

- ・令和6年9月～令和7年3月14日(金)
- ・共同学習：令和6年11月18日(月)～11月24日(日)(会場：平和祈念資料館ほか)

### (4) 参加者

	参加国・地域	学習テーマ	参加者数	
			学生	指導者・通訳
1	カンボジア	カンボジア大虐殺 (ポル・ポト政権下の大虐殺)	5名	2名
2	韓国	濟州島4.3事件	5名	1名
3	台湾	2.28事件	5名	1名
4	ベトナム	ベトナム戦争	5名	1名
5	日本(沖縄県)	沖縄戦	5名	1名
6	日本(広島県)	広島県における原爆投下	5名	1名
7	日本(長崎県)	長崎県における原爆投下	5名	1名

注) 学生は、大学生・大学院生である。通訳は指導者が務めた。

### (5) 事業成果

コロナ禍も落ち着きを取り戻し参加者全員が沖縄に集い開催することが出来ました。共同学習では、各国・地域から学習テーマの発表及び質疑応答を通して、アジア諸国の学生が戦争等の実相や悲惨な経験を通して得た教訓を学びました。

共同学習日程では、初日に「チームビルディング・ワークショップ」を行い参加者同士の緊張をほぐし親睦を深めました。また、県平和祈念資料館、平和の礎、首里城跡、第32軍司令部壕跡及び沖縄市コザ街歩きフィールドワークでは、沖縄戦と戦後復興の歩みを体感しました。佐喜眞美術館では、芸術を通じた平和の発信について学びました。また、アーティストのアルカシルカ YU さんとのトークセッションでは、音楽に平和を取り入れることの難しさや、音楽で共感を得る際に心がけていることなどについて意見交換を交わしました。また、沖縄の基地問題と安全保障に関する講義として、沖縄国際大学の野添文彬氏による「沖縄の基地問題と安全保障」という講義を行いました。過去の事業参加者とのオンライン交流会を行い、OB・OGから今年度の参加者に期待することなどについて意見交換をしました。最終日には、成果報告会を実施し、各国・地域の学習テーマの発表、「揺さぶれ無関心」というテーマでパネルディスカッションを行いました。



1 チームビルディング



2 首里城



3 第32軍壕



4 佐喜眞美術館



5 アスカシルカ YU さんセッション



6 OB・OG オンライン交流会



7 シンポジウム 全員集合

### 3 平和啓発プロモーション事業(沖縄戦の語り継ぎ手養成事業)

#### (1) 実施目的

戦後 79 年が経過し、戦争体験者の高齢化に伴い、これまで第一線で平和講話（学習）を担ってきた貴重な人材が減少しており、体験談を直に聞く機会がなくなる日が近づいています。また、現在活動中のボランティア団体等による平和講話の担い手も高齢化に伴い、後継者の育成が急務となっています。このため県が複数年に渡り、毎年一定の平和講話（学習）を実践できる人材を育成するための養成講座を実施しています。

#### (2) 実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター（OPAC）

#### (3) 事業期間

- ・令和 6 年 9 月 7 日（土）～ 12 月 14 日（土）
- ・会場：平和祈念資料館・沖縄県教職員組合八汐荘・PC ワールドほか

#### (4) 事業スケジュール

月	日	回	内 容	時間
9 月	7	1	オリエンテーション 開会式	1.5
	7	2	講座：琉球王朝時代から戦前の沖縄	2
	14	3	講座：沖縄本島及び離島における沖縄戦	3
	21	4	講座：沖縄県の戦後復興 ～戦後から現在～	3
10 月	5	5	講座：八重山戦争マラリア	3
	19	6	戦跡及び関連施設フィールドワーク：（沖縄本島南部・石垣島本島）	6
11 月	2	7	戦跡及び関連施設フィールドワーク：（沖縄本島中部・西表島）	6
	9	8	講座・実習：戦争体験者の語り継ぎ手	3
	16	9	講座・実習：戦争体験者の語り継ぎ手	3
	30	10	講座・実習：平和講話・ガイド語り継ぎ	4
12 月	7	11	講座・実習：平和学習ファシリテート	3
	14	12	講座・実習：受講生による平和ガイドプラン	3
	14	13	閉会式・修了証書授与	1

注)  の部分は、沖縄本島会場と石垣会場をオンラインでつないで実施。

#### (5) 事業成果

「沖縄戦の語り継ぎ手」を 40 名（沖縄本島会場 30 名、石垣会場 10 名）が修了しました。



## 4 カンボジア地雷対策センター(CMAC)博物館支援事業

### (1) 事業概要

カンボジア地雷対策センター（CMAC）は長年にわたり過去の戦争や紛争により埋設された地雷や不発弾の除去活動を行い、地域住民に安全な土地を取り戻している。CMACは令和8年に新博物館の開館を計画しており、博物館運営や展示等に関わる人材育成が急務となっている。そこで、過去にカンボジアのトゥール・スレン虐殺博物館で職員の人材育成を経験した沖縄県がCMACにノウハウを伝える事業を実施することとなった。本事業は、JICA 草の根技術協力事業（地域活性型）の一環で、沖縄県（主管：知事公室 平和・地域外交推進課）が提案団体、特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター（OPAC）を指定団体として実施、県平和祈念資料館は協力機関として本邦研修の受け入れ等を行う。なお、本事業への協力は令和5年度から開始しているが、令和6年度の本邦研修をもって終了した。

### (2) 第3回専門家派遣 令和6年12月15日～22日

#### ①派遣員 園原 謙（専門家／沖縄県文化協会事務局長）

阿波連貴夫（提案団体担当／知事公室 平和・地域外交推進課 平和推進班 主幹）

新屋敷 悠（提案団体担当／知事公室 平和・地域外交推進課 平和推進班 主任）

中山 晋（沖縄県平和祈念資料館 学芸班長）

仲泊 和枝（プロジェクトマネージャー／沖縄平和協力センター（OPAC） 理事長）

#### ②同行者 吉野千賀子（JICA 沖縄）、大嶺雅俊（琉球新報記者）

#### ③旅程 12月15日 那覇→韓国（インチョン）→カンボジア（プノンペン）

12月16日 カンボジア（プノンペン）

12月17日 カンボジア（プノンペン→シェムリアップ）

12月18・19日 カンボジア（シェムリアップ）

12月20日 カンボジア（シェムリアップ→プノンペン）

12月21日 カンボジア（プノンペン）→

12月22日 →韓国（インチョン）→那覇

#### ④概要

CMACがJICAの無償援助を受けて建設を進めているテコ平和博物館（Techo Peace Museum。以下、TPM）の日本館について、展示準備の進捗状況確認及びアドバイスをを行うとともに、本邦研修の打ち合わせを行った。併せて、トゥール・スレン虐殺博物館、キリングフィールド、国立博物館等の施設を視察した。



CMAC でのミーティング



TPM カンボジア館

### (3) 第2回本邦研修 令和7年1月13日～2月7日

#### ①研修員 (CMAC 職員 4名)

Mr. Ung Raksmei ウン ラックスメイ (総務課副課長 / 編集、広報、情報管理担当)

Mr. Kun Phally クン パーリ (調査・資料部長 / 歴史研究、調査、資料収集・保管担当)

Mr. Say Seiha サイ セイハー (建築家 / クリエイティブデザイン担当)

Mr. Suon Saroth スオン サロット (在庫管理担当)

#### ②指導者

園原 謙 (沖縄県文化協会事務局長)

仲程勝哉 (沖縄県平和祈念資料館 学芸班 学芸員)

呉屋広徳 (同上 主査)

研修監理員: Mr. Kry Menang (日本語⇄クメール語)

プロジェクトマネージャー: 仲泊和枝 (沖縄平和協力センター (OPAC) 理事長)

#### ③概要

当館の展示や、平和の礎のほか、県内外の博物館の視察や、座学を通して博物館の基礎的な知識や沖縄県の平和行政について学んだ。同時に、現在 CMAC で準備を進めている TPM 日本館の展示について現段階の計画を確認し、展示リストの検討等を行った。また、平和講話に使用するプレゼンテーション資料を作成し、知念小学校と糸満高校で平和講話の実践を行った。さらに、企画展の立案や展示物作成を行い、成果として写真企画展を開催した。最終日にはカンボジアに戻った後のアクションプランについてそれぞれの研修生が発表を行った。

#### ④写真企画展「カンボジア王国の内戦の近現代史と CMAC の活動」

期日: 令和7年2月5日～3月31日

場所: 平和祈念資料館 1階企画展示室

概要: 研修生が作成したパネルの他、映像を使用して、カンボジアの過去の争いの歴史、そして地雷等の撤去を通して、安全・安心な生活ができる国土の回復に尽力してきたCMACの平和創造の活動について紹介する写真企画展を開催した。



糸満高校での平和講話



写真企画展作業状況

# Ⅹ 沖縄県平和祈念資料館入館者状況

## 1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1			団体入館者数 ※1			入館者総数 ※1			開館 日数	一日平均 入館者数※1	入館者 総数※2
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人	小人	合計			
令和6年4月	5,892 (169)	751 (14)	6,643 (183)	1,858 (214)	10,340 (1665)	12,198 (1879)	7,750 (383)	11,091 (1679)	18,841 (2062)	30	628	24,628
令和6年5月	5,829 (273)	659 (18)	6,488 (291)	3,403 (460)	27,583 (4451)	30,986 (4911)	9,232 (733)	28,242 (4469)	37,474 (5202)	31	1,209	41,885
令和6年6月	8,381 (2716)	2,112 (1181)	10,493 (3897)	3,219 (584)	23,586 (5519)	26,805 (6103)	11,600 (3300)	25,698 (6700)	37,298 (10000)	30	1,243	48,183
令和6年7月	6,096 (199)	1,706 (28)	7,802 (227)	710 (280)	2,680 (1305)	3,390 (1585)	6,806 (479)	4,386 (1333)	11,192 (1812)	28	400	17,177
令和6年8月	8,528 (201)	3,887 (36)	12,415 (237)	525 (174)	669 (198)	1,194 (372)	9,053 (375)	4,556 (234)	13,609 (609)	31	439	18,972
令和6年9月	5,558 (193)	1,390 (18)	6,948 (211)	857 (146)	6,769 (1127)	7,626 (1273)	6,415 (339)	8,159 (1145)	14,574 (1484)	30	486	20,391
令和6年10月	6,464 (160)	815 (11)	7,279 (171)	3,188 (122)	33,052 (653)	36,240 (775)	9,652 (282)	33,867 (664)	43,519 (946)	31	1,404	47,941
令和6年11月	7,418 (709)	1,096 (244)	8,514 (953)	3,690 (226)	36,454 (496)	40,144 (722)	11,108 (935)	37,550 (740)	48,658 (1675)	30	1,622	52,770
令和6年12月	5,429 (173)	837 (28)	6,266 (201)	2,506 (459)	23,000 (1073)	25,506 (1532)	7,935 (632)	23,837 (1101)	31,772 (1733)	28	1,135	34,956
令和7年1月	5,932 (159)	806 (11)	6,738 (170)	1,734 (173)	10,219 (896)	11,953 (1069)	7,666 (332)	11,025 (907)	18,691 (1239)	28	668	23,129
令和7年2月	7,183 (249)	1,375 (10)	8,558 (259)	1,787 (63)	9,880 (375)	11,667 (438)	8,970 (312)	11,255 (385)	20,225 (697)	28	722	25,089
令和7年3月	7,935 (257)	2,572 (28)	10,507 (285)	2,096 (123)	4,895 (56)	6,991 (179)	10,031 (380)	7,467 (84)	17,498 (464)	31	564	24,151
合計	80,645 (5458)	18,006 (1627)	98,651 (7085)	25,573 (3024)	189,127 (17814)	214,700 (20838)	106,218 (8482)	207,133 (19441)	313,351 (27923)	356	880	379,272

( )は内数で無料入場者数

※1は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

## 2 年度別入館者数

年度別	有料観覧											平均		
	観覧券種別						出身別			計	※無料 観覧者		観覧者 総数	開館 日数
	大人個人(%)		小人個人(%)		小人団体(%)		県内	県外	外国					
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	県内	県外	外国					
平成12年度	161,361(38)	71,140(17)	24,658(6)	163,644(39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552		
平成13年度	111,197(37)	62,902(21)	18,195(6)	107,802(36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074		
平成14年度	97,221(29)	40,624(12)	17,362(5)	184,047(54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206		
平成15年度	101,015(27)	37,618(10)	17,236(5)	214,535(58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284		
平成16年度	91,980(26)	33,004(9)	16,329(5)	215,603(60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263		
平成17年度	96,355(25)	35,303(9)	18,972(5)	230,791(61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325		
平成18年度	107,813(26)	33,767(8)	21,342(5)	253,821(61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253		
平成19年度	107,767(26)	35,679(9)	20,563(5)	245,093(60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228		
平成20年度	96,789(24)	32,933(8)	18,998(5)	252,573(63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207		
平成21年度	86,412(23)	34,241(9)	16,252(4)	237,756(64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135		
平成22年度	81,124(22)	31,767(9)	15,092(4)	234,255(65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,103		
平成23年度	69,648(19)	28,662(8)	11,586(3)	249,400(70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	352	1,044		
平成24年度	70,341(21)	29,600(9)	10,469(3)	227,827(67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	359	1,046		
平成25年度	74,165(22)	26,641(8)	11,004(3)	232,295(68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046		
平成26年度	70,529(21)	27,000(8)	10,276(3)	223,917(68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026		
平成27年度	78,673(23)	29,449(9)	12,481(4)	218,478(64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037		
平成28年度	75,390(22)	27,261(8)	12,454(4)	226,001(66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046		
平成29年度	77,008(24)	26,842(8)	13,428(4)	209,461(64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002		
平成30年度	73,156(23)	26,482(8)	13,434(4)	204,277(64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999		
令和元年度	75,543(25)	23,743(8)	11,951(4)	194,972(64)	5,424	286,333	14,452	306,209	33,422	339,631	352	965		
令和2年度	21,096(52)	1,838(5)	4,053(10)	13,485(33)	3,542	34,994	1,936	40,472	7,104	47,576	278	171		
令和3年度	20,046(36)	2,780(5)	4,168(8)	28,436(51)	1,732	52,002	1,696	55,430	11,337	66,767	237	282		
令和4年度	38,961(28)	7,931(6)	8,801(6)	81,988(60)	4,163	130,429	3,089	137,681	22,115	159,796	243	658		
令和5年度	64,921(26)	19,606(8)	13,435(5)	153,717(61)	5,930	231,837	13,912	251,679	27,519	279,198	324	862		
令和6年度	75,187(26)	22,549(8)	16,379(6)	171,313(60)	6,148	260,401	18,879	285,428	27,923	313,351	356	880		
累計								7,907,465	784,129	8,691,594	8,298	1,047		

参考: 慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数	年度	入館者数
平成12年度	4,966	平成23年度	3,665	令和4年度	2,697
平成13年度	3,157	平成24年度	3,240	令和5年度	2,959
平成14年度	4,750	平成25年度	3,797	令和6年度	3,578
平成15年度	4,259	平成26年度	3,239	合計	88,540
平成16年度	4,849	平成27年度	4,007		
平成17年度	3,815	平成28年度	3,701		
平成18年度	2,813	平成29年度	3,619		
平成19年度	3,785	平成30年度	3,333		
平成20年度	4,257	令和元年度	2,888		
平成21年度	4,649	令和2年度	1,038		
平成22年度	5,479	令和3年度	0		

### 3 月別県内・県外学校、その他団体見学者(小人)観覧状況

月	児童・生徒・学生												県内・県外総計					その他 団体見学者 (小人)	合計
	県内						県外						県内・県外総計						
	小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計		小学校	中学校	高等学校	大学	計		
4月	13 (13)	2 (1)	4 (1)	0 (0)	19 (15)	0	0 (0)	58 (0)	13 (1)	0 (0)	71 (1)	0	13 (13)	17 (2)	60 (1)	0 (0)	90 (16)	1 (0)	
人数	1,183 (1183)	322 (195)	408 (281)	0 (0)	1,913 (1659)	0	6,801 (0)	1,592 (6)	1,183 (1183)	0 (0)	8,393 (6)	0	1,183 (1183)	2,000 (287)	7,123 (195)	0 (0)	10,306 (1665)	14 (0)	
5月	41 (41)	7 (7)	2 (1)	0 (0)	50 (49)	0	2 (0)	160 (4)	43 (4)	0 (0)	190 (4)	0	43 (41)	30 (5)	167 (7)	0 (0)	240 (53)	2 (0)	
人数	3,574 (3574)	764 (60)	85 (60)	0 (0)	4,423 (4398)	0	19,609 (53)	3,416 (53)	3,661 (3574)	0 (0)	23,112 (53)	0	3,661 (3574)	3,501 (113)	20,373 (764)	0 (0)	27,535 (4451)	48 (0)	
6月	43 (43)	10 (10)	9 (9)	0 (0)	62 (62)	0	5 (0)	80 (1)	48 (1)	0 (0)	128 (2)	0	48 (43)	52 (10)	90 (11)	0 (0)	190 (64)	25 (13)	
人数	3,495 (3495)	993 (993)	814 (814)	0 (0)	5,302 (5302)	0	174 (128)	6,483 (22)	3,669 (3495)	0 (0)	17,843 (150)	0	3,669 (3495)	7,297 (836)	12,179 (1121)	0 (0)	23,145 (5452)	441 (67)	
7月	8 (8)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	13 (13)	0	0 (0)	3 (0)	9 (0)	0 (0)	12 (0)	0	8 (8)	3 (5)	3 (0)	0 (0)	25 (13)	5 (0)	
人数	466 (466)	0 (0)	839 (839)	0 (0)	1,305 (1305)	0	261 (0)	923 (0)	466 (466)	0 (0)	1,184 (0)	0	466 (466)	1,762 (839)	261 (0)	0 (0)	2,489 (1305)	159 (0)	
8月	0 (0)	3 (3)	0 (0)	1 (0)	4 (3)	0	0 (0)	1 (0)	3 (0)	0 (0)	4 (2)	0	0 (0)	4 (0)	4 (3)	0 (0)	8 (3)	14 (2)	
人数	0 (0)	187 (187)	0 (0)	22 (0)	209 (187)	0	0 (0)	17 (0)	0 (0)	95 (0)	112 (30)	0	0 (0)	0 (0)	204 (187)	0 (0)	321 (653)	348 (11)	
9月	9 (9)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0	0 (0)	3 (0)	26 (0)	2 (0)	31 (0)	0	9 (9)	6 (0)	6 (3)	2 (0)	43 (12)	3 (0)	
人数	462 (459)	668 (668)	0 (0)	0 (0)	1,130 (1127)	0	296 (0)	5,140 (0)	462 (459)	42 (0)	5,478 (0)	0	462 (459)	964 (668)	964 (0)	42 (0)	6,608 (1127)	161 (0)	
10月	11 (11)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0	2 (0)	14 (0)	168 (2)	0 (0)	184 (2)	0	13 (11)	15 (3)	15 (1)	0 (0)	197 (15)	1 (0)	
人数	227 (227)	76 (76)	320 (320)	0 (0)	623 (623)	0	71 (0)	1,400 (30)	30,928 (105)	0 (0)	32,399 (30)	0	298 (227)	31,248 (350)	1,476 (76)	0 (0)	33,022 (653)	29 (0)	
11月	10 (10)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	12 (12)	0	0 (0)	14 (4)	189 (4)	0 (0)	203 (4)	0	10 (10)	16 (4)	16 (2)	0 (0)	215 (16)	2 (1)	
人数	342 (342)	48 (48)	0 (0)	0 (0)	390 (390)	0	1,714 (105)	34,274 (105)	342 (342)	0 (0)	35,988 (105)	0	342 (342)	34,274 (105)	1,762 (48)	0 (0)	36,378 (495)	22 (1)	
12月	17 (17)	3 (3)	3 (3)	1 (0)	24 (23)	0	0 (0)	28 (3)	126 (0)	1 (0)	155 (3)	0	17 (17)	31 (6)	31 (3)	2 (0)	179 (26)	2 (0)	
人数	621 (621)	40 (40)	345 (345)	22 (0)	1,028 (1006)	0	2,510 (67)	19,392 (0)	621 (621)	29 (0)	21,931 (67)	0	621 (621)	19,737 (412)	2,550 (40)	51 (0)	22,959 (1073)	37 (0)	
1月	10 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0	1 (0)	4 (0)	52 (0)	1 (0)	58 (0)	0	11 (10)	5 (0)	5 (1)	1 (0)	69 (11)	4 (0)	
人数	721 (721)	175 (175)	0 (0)	0 (0)	896 (896)	0	400 (0)	8,718 (0)	769 (721)	81 (0)	9,247 (0)	0	769 (721)	575 (175)	575 (0)	81 (0)	10,143 (896)	76 (0)	
2月	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (0)	4 (3)	0	1 (0)	11 (0)	46 (0)	4 (0)	62 (0)	0	2 (1)	12 (1)	12 (1)	5 (0)	66 (3)	2 (0)	
人数	47 (47)	310 (310)	18 (18)	7 (0)	382 (375)	0	28 (0)	1,412 (0)	7,841 (0)	127 (0)	9,408 (0)	0	75 (47)	7,859 (18)	1,722 (310)	134 (0)	9,790 (375)	74 (0)	
3月	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0	0 (0)	2 (0)	35 (0)	2 (0)	39 (0)	0	1 (1)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	40 (1)	7 (0)	
人数	56 (56)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	56 (56)	0	320 (0)	4,135 (0)	56 (56)	76 (0)	4,531 (0)	0	56 (56)	4,135 (0)	320 (0)	76 (0)	4,587 (56)	238 (0)	
人数	164 (164)	33 (32)	25 (21)	3 (0)	225 (217)	0	378 (1)	735 (15)	175 (164)	13 (0)	1,137 (16)	0	175 (164)	760 (36)	411 (33)	16 (0)	1,362 (233)	68 (16)	
合計	11,194 (11191)	3,583 (3456)	2,829 (2677)	51 (0)	17,657 (17324)	0	45,926 (128)	122,842 (283)	11,602 (11191)	450 (0)	169,626 (411)	0	11,602 (11191)	125,671 (2960)	49,509 (3584)	501 (0)	187,283 (17735)	1,647 (79)	

( )は内数で無料入館者数

#### 4 市町村別団体入館者数

市町村名		小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校総数	人数	その他の団体		総計	
		学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1	那覇市	28	2,541	7	909	7	423	1	7	43	3,880	47	1,595	90	5,475
2	うるま市	7	552	3	465	3	704	0	0	13	1,721	6	285	19	2,006
3	宜野湾市	8	846	2	496	0	0	0	0	10	1,342	6	203	16	1,545
4	宮古島市	12	556	1	38	0	0	0	0	13	594	3	114	16	708
5	石垣市	14	421	0	0	0	0	0	0	14	421	1	69	15	490
6	浦添市	10	1,113	1	205	0	0	0	0	11	1,318	11	401	22	1,719
7	名護市	11	649	5	68	1	17	0	0	17	734	3	185	20	919
8	糸満市	7	502	3	163	2	258	0	0	12	923	7	169	19	1,092
9	沖縄市	3	267	1	76	5	766	0	0	9	1,109	15	500	24	1,609
10	豊見城市	7	848	1	181	1	45	0	0	9	1,074	9	208	18	1,282
11	南城市	6	410	0	0	0	0	0	0	6	410	1	26	7	436
12	国頭村	2	19	0	0	0	0	0	0	2	19	1	29	3	48
13	大宜味村	1	21	0	0	0	0	0	0	1	21	0	4	1	25
14	東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	今帰仁村	3	95	0	0	0	0	0	0	3	95	1	36	4	131
16	本部町	4	145	0	0	0	0	0	0	4	145	0	18	4	163
17	恩納村	2	66	0	0	0	0	0	0	2	66	2	16	4	82
18	宜野座村	1	27	0	0	0	0	0	0	1	27	1	52	2	79
19	金武町	3	114	0	0	0	0	0	0	3	114	1	35	4	149
20	伊江村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	21	1	21
21	読谷村	0	0	0	0	1	320	0	0	1	320	4	174	5	494
22	嘉手納町	0	0	1	127	1	25	0	0	2	152	6	279	8	431
23	北谷町	3	202	1	174	0	0	0	0	4	376	2	91	6	467
24	北中城村	1	68	2	195	1	51	0	0	4	314	0	65	4	379
25	中城村	2	190	1	149	1	75	1	22	5	436	2	82	7	518
26	西原町	3	363	0	0	0	0	1	22	4	385	3	59	7	444
27	八重瀬町	4	469	2	328	1	85	0	0	7	882	2	194	9	1,076
28	与那原町	3	223	0	0	0	0	0	0	3	223	1	27	4	250
29	南風原町	2	299	2	9	1	60	0	0	5	368	2	44	7	412
30	久米島町	4	61	0	0	0	0	0	0	4	61	0	17	4	78
31	渡嘉敷村	2	16	0	0	0	0	0	0	2	16	1	5	3	21
32	座間味村	1	5	0	0	0	0	0	0	1	5	0	3	1	8
33	粟国村	1	10	0	0	0	0	0	0	1	10	0	5	1	15
34	渡名喜村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	南大東村	1	9	0	0	0	0	0	0	1	9	0	3	1	12
36	北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	伊是名村	1	13	0	0	0	0	0	0	1	13	0	3	1	16
39	多良間村	1	15	0	0	0	0	0	0	1	15	0	4	1	19
40	竹富町	3	35	0	0	0	0	0	0	3	35	1	16	4	51
41	与那国町	3	24	0	0	0	0	0	0	3	24	0	9	3	33
合計		164	11,194	33	3,583	25	2,829	3	51	225	17,657	140	5,046	365	22,703

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

## 5 都道府県別団体入館者数

都道府県名		小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校総数	人数	その他の団体		総計	
		学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1	北海道	0	0	1	19	14	1,578	0	0	15	1,597	8	336	23	1,933
2	青森県	0	0	1	64	1	111	0	0	2	175	3	150	5	325
3	岩手県	0	0	0	0	5	340	0	0	5	340	0	23	5	363
4	宮城県	0	0	0	0	6	457	0	0	6	457	2	79	8	536
5	秋田県	0	0	0	0	1	18	0	0	1	18	1	27	2	45
6	山形県	0	0	0	0	4	248	0	0	4	248	0	16	4	264
7	福島県	0	0	1	55	6	807	0	0	7	862	1	81	8	943
8	茨城県	0	0	1	105	27	3,953	0	0	28	4,058	6	418	34	4,476
9	栃木県	0	0	0	0	19	3,194	0	0	19	3,194	1	258	20	3,452
10	群馬県	0	0	0	0	12	1,415	0	0	12	1,415	2	176	14	1,591
11	埼玉県	0	0	2	251	87	17,030	0	0	89	17,281	9	1,392	98	18,673
12	千葉県	0	0	0	0	44	8,866	0	0	44	8,866	17	766	61	9,632
13	東京都	2	126	16	2,245	143	25,718	8	233	169	28,322	112	3,866	281	32,188
14	神奈川県	0	0	11	1,726	71	16,533	0	0	82	18,259	25	1,100	107	19,359
15	新潟県	0	0	3	203	5	913	1	29	9	1,145	1	84	10	1,229
16	富山県	0	0	1	157	2	153	0	0	3	310	2	86	5	396
17	石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	福井県	0	0	0	0	7	1,144	0	0	7	1,144	1	84	8	1,228
19	山梨県	0	0	0	0	16	2,507	0	0	16	2,507	7	214	23	2,721
20	長野県	0	0	0	0	12	1,430	0	0	12	1,430	7	240	19	1,670
21	岐阜県	0	0	0	0	41	6,124	0	0	41	6,124	0	355	41	6,479
22	静岡県	0	0	3	243	37	5,570	0	0	40	5,813	5	447	45	6,260
23	愛知県	0	0	9	1,518	55	9,429	1	20	65	10,967	32	1,095	97	12,062
24	三重県	0	0	1	95	6	687	0	0	7	782	4	119	11	901
25	滋賀県	0	0	23	3,471	4	1,074	0	0	27	4,545	34	424	61	4,969
26	京都府	1	26	29	3,811	13	1,591	2	53	45	5,481	34	567	79	6,048
27	大阪府	1	48	90	12,250	17	2,517	0	0	108	14,815	114	1,755	222	16,570
28	兵庫県	1	53	51	5,898	26	4,656	0	0	78	10,607	40	962	118	11,569
29	奈良県	0	0	29	3,380	1	58	0	0	30	3,438	24	411	54	3,849
30	和歌山県	0	0	4	347	2	201	0	0	6	548	0	49	6	597
31	鳥取県	0	0	3	170	0	0	0	0	3	170	1	44	4	214
32	島根県	0	0	0	0	2	155	0	0	2	155	2	47	4	202
33	岡山県	0	0	45	4,633	9	641	0	0	54	5,274	11	482	65	5,756
34	広島県	0	0	11	1,049	16	1,678	0	0	27	2,727	4	471	31	3,198
35	山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	86	2	86
36	徳島県	1	28	5	446	0	0	0	0	6	474	2	51	8	525
37	香川県	0	0	10	1,421	1	49	0	0	11	1,470	2	161	13	1,631
38	愛媛県	0	0	0	0	4	309	0	0	4	309	1	55	5	364
39	高知県	0	0	5	413	0	0	0	0	5	413	0	37	5	450
40	福岡県	0	0	7	750	13	1,406	1	115	21	2,271	18	537	39	2,808
41	佐賀県	0	0	0	0	1	153	0	0	1	153	0	7	1	160
42	長崎県	0	0	1	17	0	0	0	0	1	17	2	47	3	64
43	熊本県	1	28	8	637	0	0	0	0	9	665	2	157	11	822
44	大分県	0	0	0	0	3	74	0	0	3	74	1	44	4	118
45	宮崎県	0	0	3	311	1	55	0	0	4	366	2	77	6	443
46	鹿児島県	3	99	3	241	0	0	0	0	6	340	1	67	7	407
合計		10	408	377	45,926	734	122,842	13	450	1,134	169,626	543	17,950	1,677	187,576
47	沖縄県	164	11,194	33	3,583	25	2,829	3	51	225	17,657	140	5,046	365	22,703

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

## 6 県内小・中・高校の地区別入館状況

### 県内小・中・高校の入館校数

小学校**164**校 中学校**33**校 高等学校**25**校

(県内学校総数 小学校268校 中学校149校 高校63校 特支22校)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	140校	163校	164校
中学校	25校	29校	33校
高等学校	20校	14校	25校

### 平和講話実施総数(回数)

小学校 80校(80回) 中学校 8校(8回)  
 高等学校 8校(13回) 特別支援学校 4校(4回)

※特別支援学校は小・中・高の各分類に分けられています。

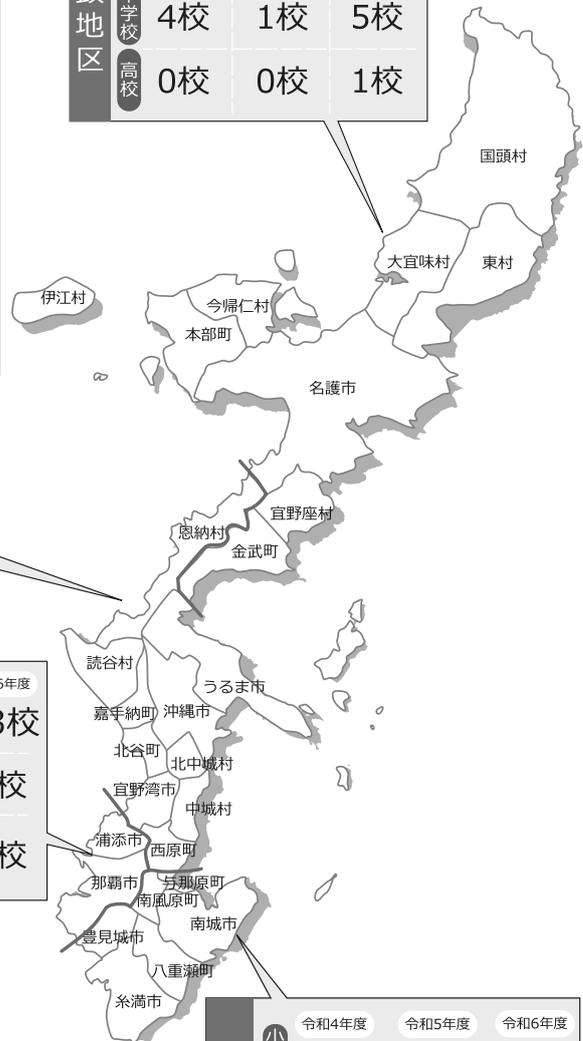
中頭地区	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	小学校	33校	33校	29校
	中学校	8校	13校	11校
	高校	11校	8校	12校

那覇地区	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	小学校	34校	30校	43校
	中学校	7校	7校	8校
	高校	5校	4校	7校

宮古地区	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	小学校	14校	16校	13校
	中学校	0校	1校	1校
	高校	0校	0校	0校

八重山地区	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	小学校	9校	19校	20校
	中学校	0校	0校	0校
	高校	0校	0校	0校

国頭地区	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	小学校	20校	30校	26校
	中学校	4校	1校	5校
	高校	0校	0校	1校



島尻地区	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	小学校	30校	35校	33校
	中学校	6校	7校	8校
	高校	4校	2校	5校

●対象は、県立・国立・私立の小中学校とする。  
 (学童クラブ・適応指導教室での入館は含まない)

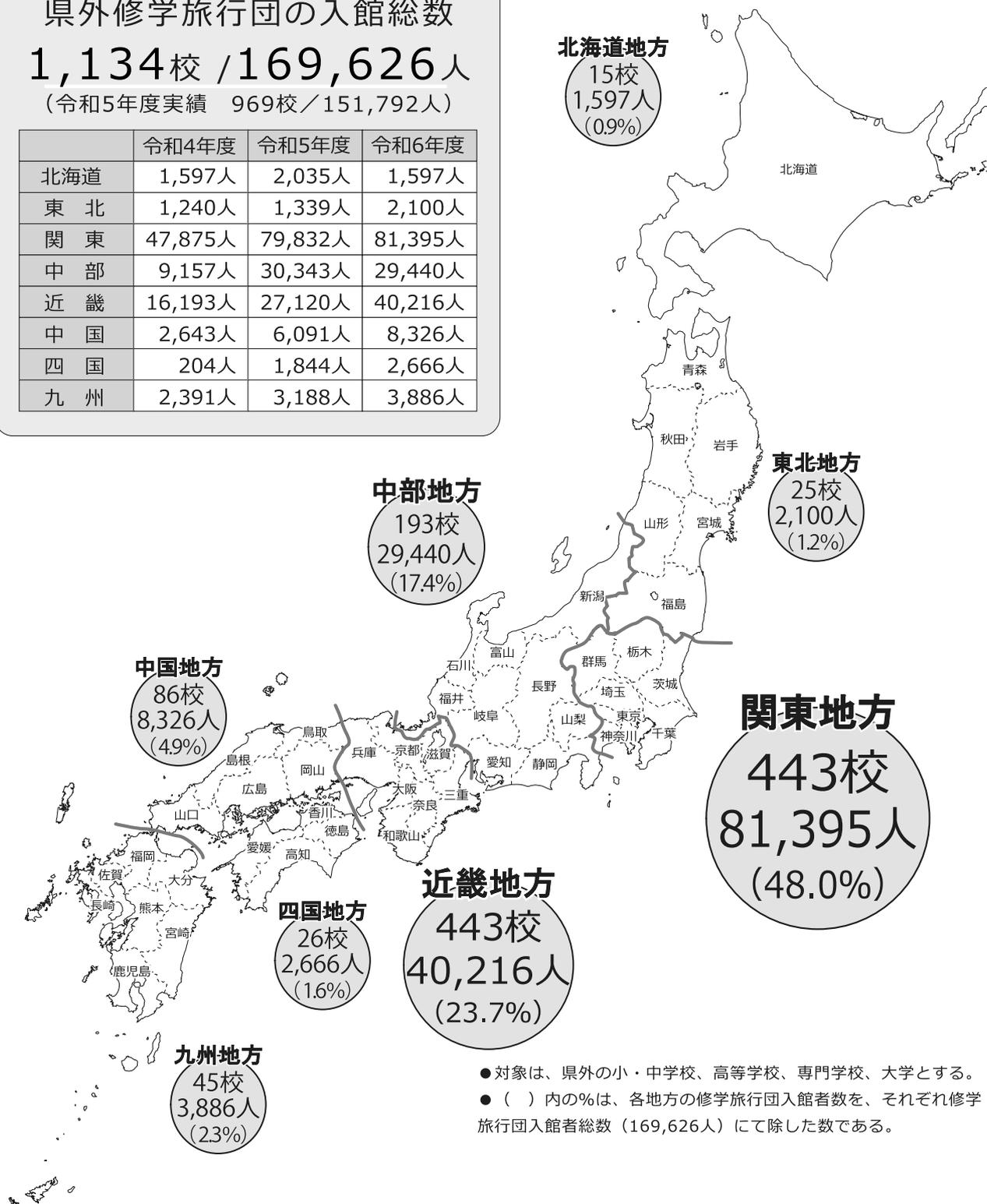
## 7 県外修学旅行団の地方別入館状況

県外修学旅行団の入館総数

**1,134校 / 169,626人**

(令和5年度実績 969校 / 151,792人)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北海道	1,597人	2,035人	1,597人
東北	1,240人	1,339人	2,100人
関東	47,875人	79,832人	81,395人
中部	9,157人	30,343人	29,440人
近畿	16,193人	27,120人	40,216人
中国	2,643人	6,091人	8,326人
四国	204人	1,844人	2,666人
九州	2,391人	3,188人	3,886人



- 対象は、県外の小・中学校、高等学校、専門学校、大学とする。
- ( )内の%は、各地方の修学旅行団入館者数を、それぞれ修学旅行団入館者総数(169,626人)にて除した数である。

## 8 入館者数

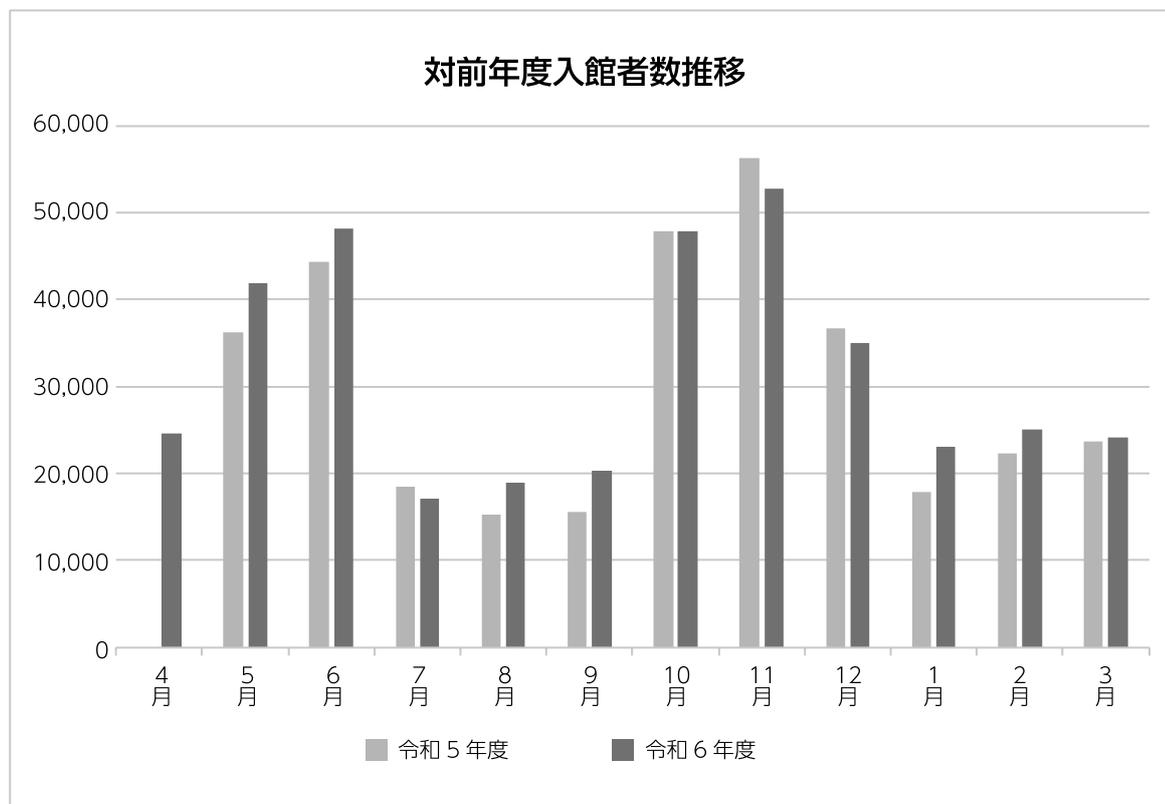
### 令和5年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	0	0
5月	31,384	36,190
6月	34,080	44,437
7月	12,169	18,511
8月	9,897	15,316
9月	10,751	15,603
10月	45,069	47,857
11月	53,627	56,315
12月	34,210	36,673
1月	13,547	17,845
2月	17,807	22,369
3月	16,657	23,714
合計	279,198	334,830

### 令和6年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	18,841	24,628
5月	37,474	41,885
6月	37,298	48,183
7月	11,192	17,177
8月	13,609	18,972
9月	14,574	20,391
10月	43,519	47,941
11月	48,658	52,770
12月	31,772	34,956
1月	18,691	23,129
2月	20,225	25,089
3月	17,498	24,151
合計	313,351	379,272

※平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数



## 9 案内対応一覧

令和6年度

No.	来館日	来館者（代表者のみ、敬称略）	役職名
1	5月29日	イアン・ジェラード・マッケイ	駐日カナダ共和国特命全権大使
2	6月23日	木原 稔	防衛大臣
3	6月23日	キム・ジョンミン	済州4・3平和財団理事長
4	7月16日	ウォン・スンソク	光州5・18記念財団理事長
5	8月23日	イム・ビョンジン	北東アジア地域自治体連合（NEAR）事務総長
6	9月5日	井上 裕之	内閣府事務次官
7	9月18日	ギラッド・コーヘン	駐日イスラエル特命全権大使
8	10月29日	桜井 信明	船橋市議会総務委員会委員長
9	11月1日	テヴィタ・スカ・マンガシ	駐日トンガ王国特命全権大使
		ジョン・フリッツ	駐日ミクロネシア連邦特命全権大使
		アレクサンダー・カーター・ビング	駐日マーシャル諸島共和国全権特命大使
		ヘレン・ロイ・タヌヴァサ・チョウリー	駐日サモア独立国臨時代理大使
		マグダレン・シャーリー・モイヘ	駐日パプアニューギニア大使館公使
		カラライニ・ベロ・サニア	駐日フィジー共和国二等書記官
10	11月12日	加藤 明	愛知県福祉局長
11	11月15日	オ・ヨンフン	済州特別自治道知事
12	11月21日	今井 絵理子	大臣政務官



アカナちゃん

## X 八重山平和祈念館

### 1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成を目指す。

#### (1) 設立経過

1989年 (平成元)	5月28日	戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授(当時)を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
	10月16日	沖縄県議会(9月定例会)において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。
1995年 (平成7)	4月25日	与党戦後50年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰藉事業の実施で合意。
	12月25日	平成8年度国庫予算において、マラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。 慰藉事業の内訳 ① 慰霊碑建立 ② 八重山平和祈念館建設 ③ マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業 ④ マラリア死没者慰藉のための追悼事業
1997年 (平成9)	3月31日	建物竣工
1998年 (平成10)	1月27日	八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催(3月17日まで 計3回)
	5月	八重山平和祈念館基本計画策定
	11月20日	八重山平和祈念館監修委員会開催(翌年2月22日まで 計3回) 八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注(平成11年3月まで)
1999年 (平成11)	3月	「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
	5月28日	八重山平和祈念館開館式典
	5月29日	八重山平和祈念館一般公開

#### (2) 施設の概要

- ① 延べ床面積：520㎡
- ② 各室床面積
  - 第1展示室：130㎡
  - 第2展示室：120㎡
  - 保管室：20㎡
  - 図書室：30㎡
  - 会議室：45㎡
  - 事務室：30㎡



#### (3) 開館時間

午前9時～午後5時

#### (4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

#### (5) 観覧料

	通常料金	団体料金 （※団体は20名以上）
大人	100円	70円
小人（小学～大学生）	50円	35円

#### (6) 常設展の展示構成

- ① アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ② 沖縄戦と八重山
- ③ 戦争マラリアの悲劇
- ④ マラリア根絶に向かって
- ⑤ 戦争マラリア援護会の活動
- ⑥ 八重山地域における平和発信拠点を目標として

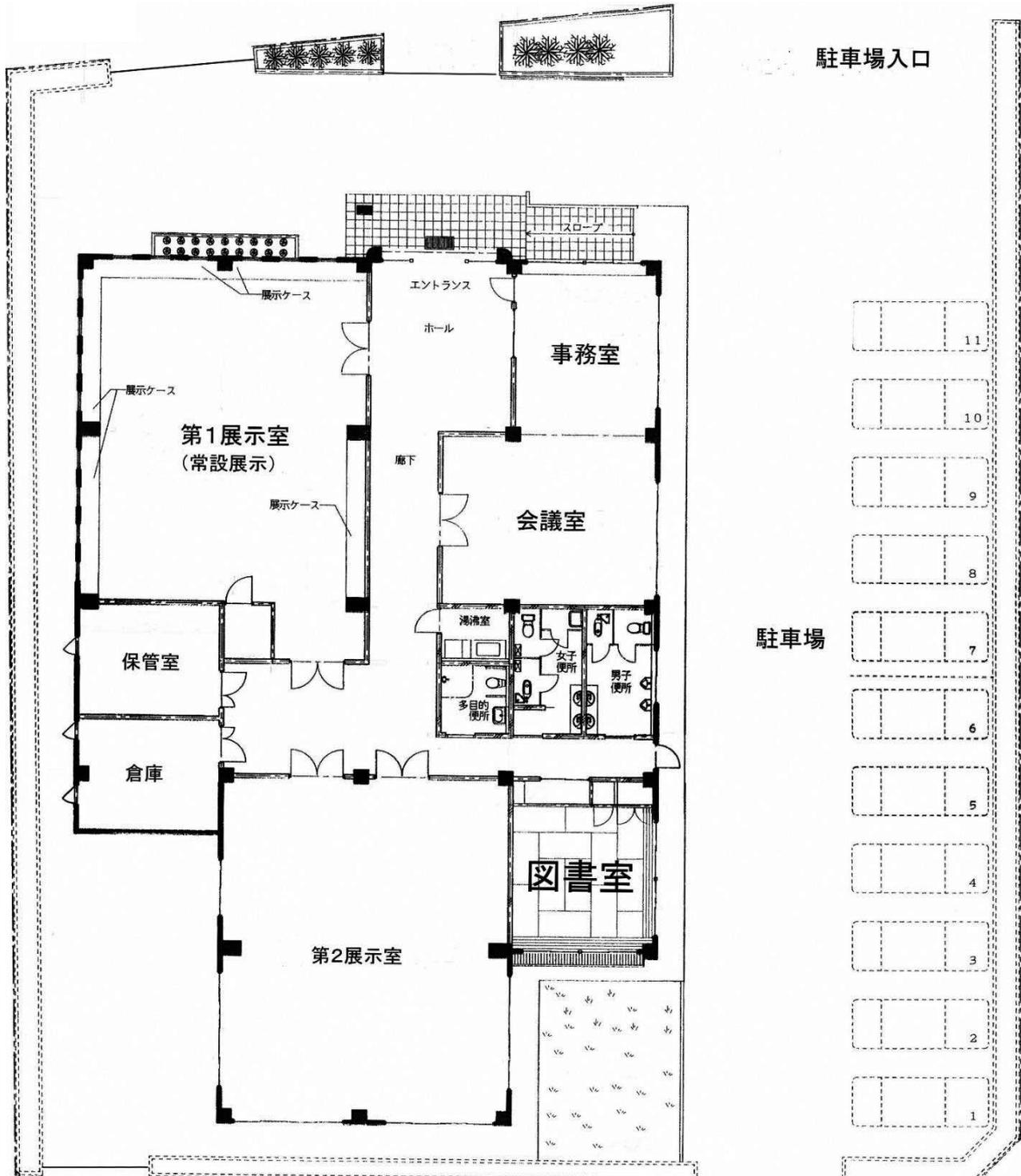
#### (7) 展示の内容

- ① 写真、地図、絵のパネル等
- ② 戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③ 遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④ 高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤ 児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）



うりずんの季節には、色とりどりの花が通る人の目を楽しませ、当館の来館者を出迎えてくれます。

## 2 施設 平面図





### 3 事業概要

#### (1) 展示活動

##### ① 6月企画展「戦世の沖縄～住民の戦争被害～」

「住民の戦争被害」に焦点を当て、戦時中の沖縄県民がどのような被害を受け、どのような苦しい生活を強いられていたのかを知る機会となるように本企画展を実施。

本企画展では、地域ごとの犠牲者数の違いから各地域の沖縄戦を考え、米軍からの攻撃、日本軍による住民犠牲、集団死や栄養失調などについてそれぞれを細かくみることができるよう展示を構成し、また当時の状況をより想像できるように、写真や絵、体験者の証言記録なども多く展示した。

6月は最も来館者の多い時期ということもあり、多くの人々にご観覧いただくことができた。

【期 日】 令和6年6月1日（土）～6月30日（日）

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】 1,116名（大人503名、小人613名）



観覧の様子

##### ② 夏休み（8月）企画展「沖縄の行ける・学べる戦争遺跡」

夏休み期間である8月に合わせ、子ども達や地域の方々が県内旅行や外出の際に平和学習の場として利用できる当館以外の平和関連施設や戦争遺跡等をご紹介する企画展を実施。

本企画展内では、八重山地域のみならず、沖縄本島にある場所も紹介した。

また、夏休み期間の子ども達の観覧を見込み、戦争に関するアニメ上映会を2回実施した。

【期 日】 令和6年8月1日（木）～9月1日（日）

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】 743名（大人508名、小人235名）



上映会の様子



### ③年度末企画展「八重山人（やいまびと）が語る戦」

本企画展では、これまで収集されてきた八重山の人々の証言を中心に展示。

体験者自らが執筆した体験記録や、聞き取り等をとおして蓄積されてきた証言記録は、沖縄戦当時を追体験できる貴重な資料であり、様々な世代に証言記録を読んでいただけるようにそれぞれの証言を短く切り取りテーマごとに分類した。

また、体験・証言とともに写真やモノ資料などの関連資料も併せて展示し、戦争体験者から受け継いできた戦争の悲惨な記憶や平和への思いをしっかりと学び・向き合うことができる内容の企画展とした。

【期 日】 令和6年2月22日（土）～3月23日（日）

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】 530名（大人453名、小人77名）



観覧の様子

## (2) 平和教育活動

### ① 学校教員対象見学説明会

平和学習の場として当館を活用いただくことを目的に、学校教諭を対象とした見学説明会を実施。八重山地域内小中学校平和教育担当教員や中学校初任者（初任者研修）等、合計13名の先生方にご参加いただき、当館の設立経緯、利用手続き、八重山の戦争、常設展示の解説を行った。

【期 日】 令和6年5月17日（金）、5月24日（金）、6月7日（金）、6月13日（木）

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

※ 4月中旬頃案内。申込があれば随時実施している。



見学説明会の様子



### ② 慰霊の日アニメビデオ上映会

6月23日慰霊の日に、戦争に関するアニメの上映会（上映作品『石の声』『対馬丸ーさようなら沖繩ー』）を実施。

当日は常設展示が入場無料ということもあり、児童・生徒から大人の方まで幅広く来館された。

【期 日】 令和6年6月23日（日）

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【観覧者】 約30名



上映会の様子

### ③ 第34回「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

八重山会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を実施した。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧されていた。

【期 日】 令和6年7月10日（水）～20日（土）

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】 115名（大人93名、小人22名）



会場の様子



観覧の様子

### (3) 調査研究活動

#### ①戦争体験者の証言収集

氏名(敬称略)	生まれ年	出身地	備考
金城 幸	昭和6年	石垣市登野城	戦時の体験や戦争マラリアについて
竹本 眞良	昭和12年	竹富町小浜	戦時中の生活や空襲体験について

### (4) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会 八重山平和祈念館部会

八重山平和祈念館の運営状況の報告を行うとともに、今後の運営活動について議論・意見交換を行うため、同部会を開催した。

また、各委員には同運営協議会部会後に実施された沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会八重山平和祈念館部会に同席いただき、今後の同館展示更新に係るご意見をいただいた。

【期 日】 令和7年2月18日(火)

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【出席者】 (運営員) 里井洋一部会長、田里一寿委員、平敷兼哉委員

(本館) 中山晋学芸班長、比嘉栄司主幹、仲程勝哉主任、川満彰学芸員、大城航学芸員

(分館) 比嘉丞分館長、上原峻斗主査、綿貫円学芸員



常設展示視察



協議会の様子

### (5) 共催事業：第18回平和コンサート

【主催】 八重山戦争マラリア遺族会

【期 日】 令和6年11月10日(日) 14:00～

【場 所】 八重山平和祈念館 第2展示室

【演 目】 「マラリア犠牲者 鎮魂歌」独唱、デュエット歌唱、リコーダー合奏、テノール独唱、ギター独奏、バリトン独唱、三重奏、ソプラノ独唱、トランペット・ギター合奏、唄・三線

【入場者】 約70名



会場の様子

## 4 八重山平和祈念館入館者数

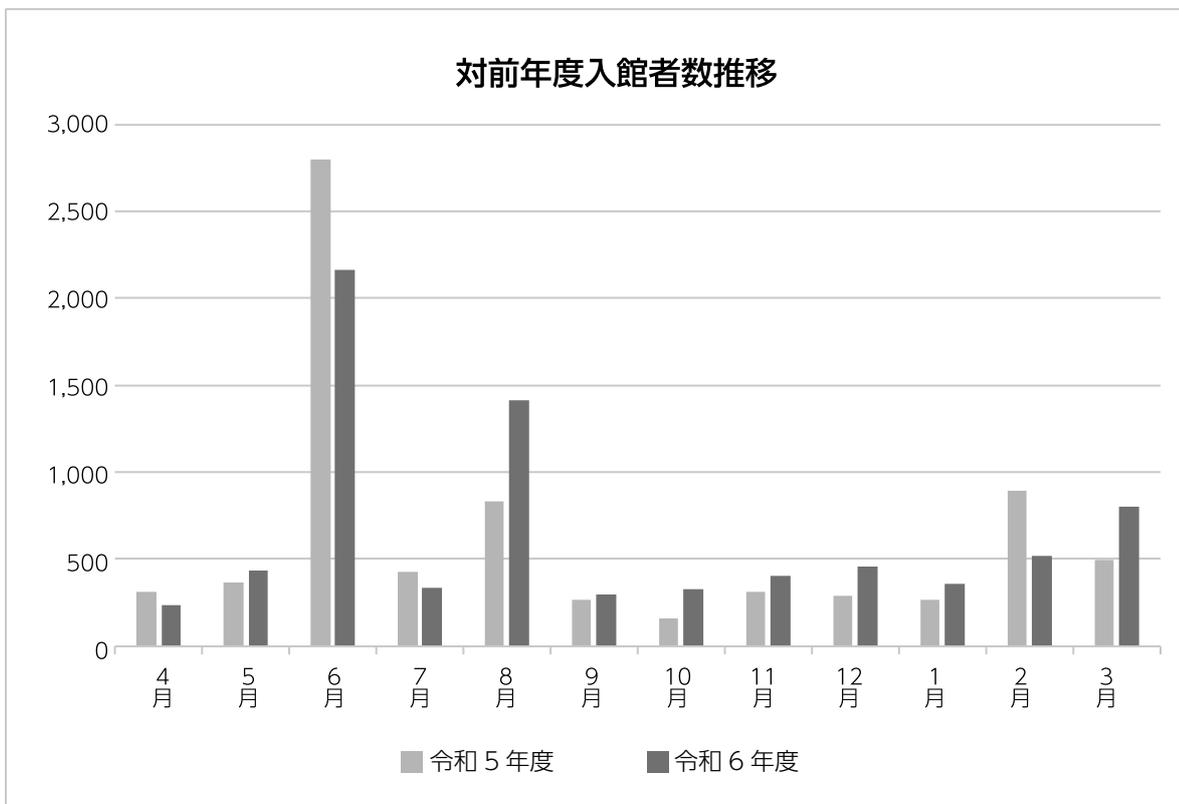
令和5年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	314	314
5月	363	363
6月	1,345	2,801
7月	283	430
8月	403	835
9月	246	270
10月	157	157
11月	314	314
12月	286	286
1月	263	263
2月	412	895
3月	386	495
合計	4,772	7,423

令和6年度

月	常設展示室 (有料区間)	総入館者数※
4月	235	235
5月	435	435
6月	1,045	2,161
7月	221	336
8月	692	1,413
9月	275	297
10月	328	328
11月	406	406
12月	457	457
1月	357	357
2月	364	522
3月	428	800
合計	5,243	7,747

※企画展等の来館者を含む人数



# XI 沖縄県平和祈念資料館友の会

## 1 活動紹介

沖縄県平和祈念資料館友の会（以下、「友の会」という）は、沖縄県平和祈念資料館設立理念をふまえ、学校及び地域における平和学習支援活動を通して、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次の世代に伝えるとともに学習会等（平和講話、戦跡フィールドワーク、講演会、オンライン平和講話、研修会）の活動を行っている。

### 【活動内容】

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他



友の会集合写真 令和6年8月  
ひめゆり会館裏の壕前にて

## 2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行工程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

【事務局】 沖縄県平和祈念資料館友の会

【所在地】 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の1

【TEL】 098 - 997 - 3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

【FAX】 098 - 997 - 3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

\* 学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

\* 決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

\* 電話での申込及び変更には応じられませんので、ご了承ください。

## 3 申込条件

- (1) 申込締切は、原則として2ヶ月前です。
- (2) 平和学習の団体について、事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

内 容	協 力 金
県内学校及び地域における平和学習支援	1回につき 5,000円
平和講話	1回につき 15,000円
ポイントガイド	1回につき 7,000円～（時間により変動）
バス乗車	1回につき 10,000円
その他	要相談

※協力金は、終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして、沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

## 4 講話・ガイド活動状況

団 体	実施件数	(前年度比)	実施人数	(前年度比)	派遣講師	(前年度比)
高等学校	40	(-7)	7581	(-1486)	62	(-2)
中学校	20	(-5)	3719	(505)	26	(-10)
小学校	22	(9)	6135	(1138)	22	(9)
その他	19	(-6)	344	(-180)	19	(-6)
合 計	101	(-9)	17779	(-23)	129	(-9)

## 5 活動内容

### (1) 第19回友の会定期総会・平和講話会

期 日：令和6年8月31日(土) 13:00～16:30

場 所：平和祈念資料館 1階祈念ホール

①総 会 13:00～13:30

②学習会講話 14:00～15:20

講話：「学校現場における歴史教育について」 講師：大城 航（資料館学芸員）

学習会講話 15:30～16:30

講話：「沖縄県の戦争遺跡調査について」 講師：仲程 勝哉（資料館学芸員）

### (2) 平和学習フィールドワーク

#### ① 「安里から首里への道」

期 日：令和6年5月18日(土) 10:00～14:30

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：那覇市安里のシュガーローフから首里の一中健児之塔まで歩き、途中で戦争体験者の翁長安子さんの講話を聴き、戦争遺跡について学習する。

参加者：85名

#### ② 「首里城周辺の埋没した戦跡壕を巡る」

期 日：令和6年5月26日(日) 10:00～13:30

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：首里城周辺にかつてあった第32軍司令部壕、第五砲兵司令部壕、第62師団司令部壕、劉魂壕を巡り埋没した戦跡壕の背景について学ぶ。

参加者：100名



③ 「沖縄戦終焉の地 摩文仁丘陵の深部に行く」

期 日：令和6年6月29日(土) 10:00～14:00

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：沖縄戦終焉の地「摩文仁」の海岸は太平洋を望む海食崖で、海拔60mの急峻な断崖の下には岩溝や岩穴が多く散在します。米軍に追い詰められた日本兵、学徒兵、避難民が身を潜めましたが、米軍の掃討戦の前に多くの犠牲者が出ました。友の会では延べ2ヶ月、丘陵深部を探查しフィールドワークルートを設定しました。激しい砲撃にさらされ、崩れた岩塊に潜む戦跡を辿りながら沖縄戦の実相を探ります。

参加者：60名



④ 「戦争関連遺跡及び施設のフィールドワーク（南部編）」

期 日：令和6年10月19日(土) 14:00～17:00

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：沖縄戦の語り継ぎ手養成事業受講者へ向けて平和学習フィールドワークを行った。

参加者：30名



⑤ 「沖縄戦終焉の地 摩文仁の丘陵深部と大潮干潮時の海岸に行く」

期 日：令和7年3月30日(日) 10:00～15:00

主 催：沖縄県平和祈念資料館友の会

概 要：沖縄戦の終焉の地「摩文仁」の海岸は、海拔60mの急峻な断崖が連なり、岩溝や岩穴が多く散在する。米軍の追いつめられた日本兵、学徒兵、避難民が身を潜めた子の丘陵の戦跡を探る。

コース：総合案内所→ 平和の礎→ 摩文仁が丘→ 89高知(摩文仁岳頂上)

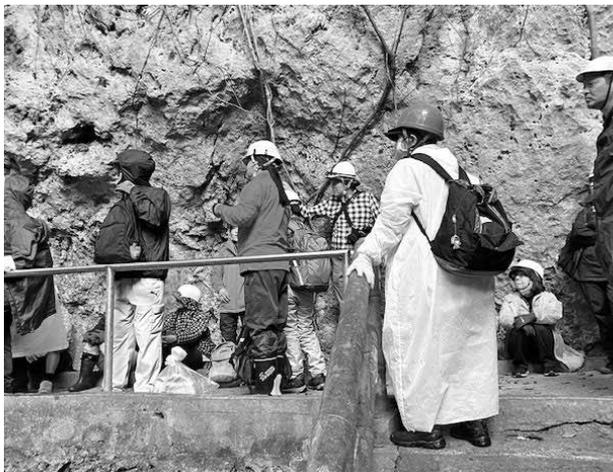
→ 第32軍摩文仁司令部壕口→ 沖縄県師範健児之塔と壕

→ 南冥の塔下側より丘陵へ→ 学徒兵戦死の地→ 自然の洞窟(避難壕)

→ 一中学徒通信隊が居た壕の確認→ 一中学徒通信隊最期之地で慰霊祭

→ 海岸散策→ 干潮リーフより砲弾片の確認→ チンガーなどを巡りながら、戦跡壕について学ぶ。

参加者：70名



## XII 関係条例・規則・要綱

### 1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例(平成12年条例第11号)

[設置]

**第1条** 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館(以下「平和祈念資料館」という。)及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

[位置]

**第2条** 平和祈念資料館(分館を除く。)及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

[事業]

**第3条** 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

[平和祈念資料館の利用の禁止又は制限]

**第4条** 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

[観覧料]

**第5条** 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

- 2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。
- 3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

[使用の許可]

**第6条** 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備(以下「施設等」という。)を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者(以下「使用者」という。)が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- 2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。
- 3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。
  - (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
  - (2) 公益を害するおそれがあるとき。
  - (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
  - (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

[使用料]

**第7条** 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

[観覧料又は使用料の減免]

**第8条** 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

[観覧料及び使用料の不還付]

**第9条** 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

[使用権の譲渡等の禁止]

**第10条** 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

[許可の取消し等]

**第11条** 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

[原状回復義務]

**第12条** 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

[平和の礎の管理]

**第13条** 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

[指定管理者の業務]

**第14条** 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第19条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

[指定管理者の指定の申請]

**第15条** 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

[指定管理者の指定等]

**第16条** 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

2 知事は、前項の規定による選定をしようとするときは、あらかじめ、平和の礎指定管理者制度運用委員会の意見を聴かなければならない。

3 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消そうとする場合に準用する。

[平和の礎指定管理者制度運用委員会]

**第17条** この条例の規定に基づく諮問に応じて調査審議を行わせるため、平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）を置く。

2 運用委員会は、この条例に定めるもののほか、平和の礎に係る指定管理者の選定及び指定管理者が行う平和の礎の管理に関する重要事項について、知事の諮問に応じて答申し、又は建議することができる。

3 運用委員会は、委員4人以内で組織する。

4 委員は、学識経験のある者その他知事が適当と認める者のうちから、知事が任命する。

5 委員の任期は、3年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

6 委員は、再任されることができる。

7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

8 前各項に定めるもののほか、運用委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

[指定管理者の指定等の告示]

**第18条** 知事は、第16条第1項の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

[平和の礎の利用の禁止又は制限]

**第19条** 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

(1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者

(2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者

(3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者

(4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

[損害の賠償等]

**第20条** 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

[事業報告書の提出]

**第21条** 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

[運営協議会]

**第22条** 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

[規則への委任]

**第23条** この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成31年3月29日一部改正（令和元年10月1日施行）、令和5年3月31日一部改正（令和5年4月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観覧料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く。)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第6条、第7条関係）

1 施設使用料

区 分		単 位	使用料
和祈念資料館 (分館を除く。)	ホール	1時間につき	1,570円
	展示室	1日につき	4,540円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使用料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
その他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

## 2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

(平成 12 年規則第 87 号)

[趣旨]

**第 1 条** この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成 12 年沖縄県条例第 11 号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

[開館時間]

**第 2 条** 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後 4 時 30 分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

[休館日]

**第 3 条** 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、第 1 号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

- (1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和 49 年沖縄県条例第 42 号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第 2 条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）
- (2) 年始休館日 1 月 1 日から同月 3 日まで
- (3) 年末休館日 12 月 29 日から同月 31 日まで
- (4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第 4 号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

[観覧券の交付]

**第 4 条** 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第 1 に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第 1 号様式）を交付するものとする。

[観覧料の免除]

**第 5 条** 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第 8 条の規定により、観覧料を免除する。

- (1) 慰霊の日を定める条例第 2 条に規定する慰霊の日に観覧する場合
- (2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合
- (3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合
- (4) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合
- (5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 19 第 1 項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合
- (6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合
- (7) 前 6 号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第 2 号、第 3 号及び第 7 号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第 2 号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第 1 項第 4 号、第 5 号及び第 6 号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

[使用許可の申請]

**第6条** 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

**第7条** 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式。以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

**第8条** 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出しなければならない。

〔附属設備等の使用料〕

**第9条** 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

**第10条** 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。

3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

(1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。

(2) 国又は地方公共団体が使用するとき。

(3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

**第11条** 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

(1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。 当該使用料の全額

(2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割

(3) 使用者がホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割

2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

**第12条** 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

(1) 沖縄県が使用するとき。 免除

(2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除

(3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割

(4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合

2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。

3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

[使用方法等の事前打合わせ]

**第13条** 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

[使用者の遵守事項]

**第14条** 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

(1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。

(2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。

(3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。

(3) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

[行為の制限]

**第15条** 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

(1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為

(2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為

(3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為

(4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布

(5) 許可された場所以外の場所への立入り

(6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙

(7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為

(8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

[損傷等の届出]

**第16条** 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

[使用後の点検]

**第17条** 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

[寄贈及び寄託]

**第18条** 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。

3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

[受領証の交付]

**第19条** 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

[寄託資料の保管]

**第 20 条** 第 18 条第 1 項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

[寄託資料の返還]

**第 21 条** 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

[資料の貸出]

**第 22 条** 知事は必要と認めるときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第 14 号様式）を知事に提出しなければならない。

[許可証の交付]

**第 23 条** 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第 15 号様式）を交付するものとする。

[貸出資料の保管]

**第 24 条** 第 22 条第 1 項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

[貸出資料の返還]

**第 25 条** 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前 2 項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

[指定管理者の指定申請書等]

**第 26 条** 条例第 15 条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書（第 16 号様式）によるものとする。

2 条例第 15 条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

(1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書

(2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）

(3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類

(4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）

(5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類

(6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

[平和の礎指定管理者制度運用委員会の組織等]

**第 27 条** 平和の礎指定管理者制度運用委員会（以下「運用委員会」という。）に会長を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、運用委員会を代表する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

4 運用委員会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

5 運用委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

6 運用委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 7 特定の事件につき特別の利害関係を有する委員は、運用委員会の決議があったときは、当該事件に係る議決に参加することはできない。
- 8 運用委員会は、必要があると認めるときは、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 9 運用委員会の行う指定管理者の選定に係る調査審議の手続は、公開しない。
- 10 運用委員会の庶務は、子ども生活福祉部女性力・平和推進課において処理する。
- 11 その他運用委員会の運営に関し必要な事項は、会長が運用委員会に諮って定める。

[事業報告書]

**第28条** 条例第21条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

[運営協議会の組織等]

**第29条** 条例第22条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。
- 5 会長は、会務を総理し、運営協議会を代表する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。
- 8 運営協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 9 運営協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 10 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 11 運営協議会は協議のため必要があると認めるときは、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 12 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 13 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 14 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

[補則]

**第30条** この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）、令和元年9月13日一部改正（令和元年10月1日施行）、令和5年3月31日一部改正（令和5年4月1日施行）、令和5年4月7日一部改正（令和5年5月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種 別	品 目	単 位	使用料	
ホー ル	舞 台 器 具	演台	1台	300円
		司会者卓	1台	150円
		花台	1台	100円
		金びょうぶ	1双	700円
	音 響 器 具	ダイナミックマイク	1本	230円
		ワイヤレスマイク	1本	450円
		セットテープレコーダー	1台	300円
		CDプレーヤー	1台	500円
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円
		ブルーレイディスク・DVDレコー	1台	500円
	照 明 器 具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円
		アッパーホリゾントライト（150W×60灯）	1列	360円
		ローアホリゾントライト（150W×60灯）	1列	300円
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円
	その他	ビデオプロジェクター	1台	1,260円
	音 響 器 具	ダイナミックマイク	1本	230円
ワイヤレスマイク		1本	450円	
カセットテープレコーダー		1台	300円	
CDプレーヤー		1台	400円	
ブルーレイディスクプレーヤー		1台	400円	
その他		ビデオプロジェクター	1台	1,260円
展 示 室	その 他	展示ケース（大）	1台	1,000円
		展示ケース（小）	1台	500円

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区 分	単 位	使用料	
和祈念資料館 （分館を除く。）	ホール	1時間につき	2,120円
	展示室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展示室	1時間につき	100円

第1号様式 (第4条関係)  
表

年 月 日 観 覧 券 大 人 (個 人) 当日限り有効 300円 沖縄県平和祈念資料館

裏

← 5.75センチメートル →

ご 注 意

- 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。
- 本券の払い戻しはいたしません。
- 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。
- 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
- 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。

11.5センチメートル

表

年 月 日 観 覧 券 大 人 (団 体) 当日限り有効 240円 沖縄県平和祈念資料館

裏

← 5.75センチメートル →

ご 注 意

- 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。
- 本券の払い戻しはいたしません。
- 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。
- 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
- 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。

11.5センチメートル

表

年	月	日
観	覧	券
小	人	(個人)
当日限り有効		150円
沖縄県平和祈念資料館		

裏

← 5.75センチメートル →	
ご 注 意	
○ 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。	○ 本券の払い戻しはいたしません。
○ 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。	○ 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
○ 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。	
↑ 11.5センチメートル ↓	

表

年	月	日
観	覧	券
小	人	(団体)
当日限り有効		100円
沖縄県平和祈念資料館		

裏

← 5.75センチメートル →	
ご 注 意	
○ 本券は発行日に限り1枚につき1名様のみ有効です。	○ 本券の払い戻しはいたしません。
○ 他のお客様の迷惑にならぬよう、静かにご観覧下さい。	○ 常設展示室での写真撮影・模写はご遠慮下さい。
○ 常設展示室への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。	
↑ 11.5センチメートル ↓	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日  観 覧 券 100円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 100円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日  観 覧 券 70円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 70円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日  観 覧 券 50円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 50円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

18センチメートル		6センチメートル
年 月 日  観 覧 券 35円 八重山平和祈念館	年 月 日 観 覧 券 35円 八重山平和祈念館 この券は当日に限り有効です。	

※ この観覧券の表には、それぞれ観覧する平和祈念資料館の背景写真が写されます。

観覧料免除申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電話番号

次のとおり 沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。） の観覧料の免除を申請します。  
八 重 山 平 和 祈 念 館

観覧の目的	
観覧者数	人
観覧の日時	年 月 日（ ） 時 分から 時 分まで
引率者氏名 又は 観覧者氏名	
備 考	

第3号様式（第6条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住所

団体名

代表者氏名

電話番号

次のとおり使用したいので申請します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
展 示 室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
大会議室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
中会議室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
小会議室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
八重山平和 祈念館展示 室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
使用 附属設備					
入 場 料	無 料 有 料 ( 円)	指定席 整理券	自由席 会員券	入場予定人員 名	
使用責任者 氏 名			使用責任者 の電話番号		
	施設使用料	附属設備 使用料	冷房使用料	使 用 料 減 免 額	計
使 用 料	円	円	円	円	円

(注) 太線の枠内は、記入しないでください。

第4号様式（第7条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用許可書

第 号  
年 月 日

殿

沖縄県知事 印

年 月 日付けで申請のあった沖縄県平和祈念資料館の使用については、次のとおり許可します。

催物の名称					
使用目的					
催物の内容					
使用施設	使 用 日 時				人 員
ホ ー ル	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
展 示 室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
大会議室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
中会議室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
小会議室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
八重山平和 祈念館展示 室	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分	～	
	年 月 日 ( )	午後・午前	時 分		
使 用 附 属 設 備					
入 場 料	無 料 料 ( 円)	指定席	自由席	入場予定人員	名
		整理券	会員券		
使用責任者 氏 名			使用責任者		
			の電話番号		
使 用 料	円				
許可の条件	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則を遵守すること。				

沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話 番 号

次のとおり変更使用したいので申請します。

催物の名称				
許可年月日 及び許可番号		年 月 日 第 号		
変更の理由				
変更事項		変更前		
		変更後		
※	使用料	納 付 済 額 円	追 加 徴 収 額 円	変 更 後 の 額 円
	備 考			

- (注) 1 使用許可書を添付すること。  
2 太線の枠内は、記入しないでください。

第6号様式（第8条関係）

沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで申請のあった沖縄県平和祈念資料館の使用変更については、次のとおり許可します。

催物の名称			
許可年月日 及び許可番号	年	月	日 第 号
変更事項	変更前		
	変更後		
使用料	円		
備考			

沖縄県平和祈念資料館使用取消届

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話 番 号

次のとおり使用の取消しをしたいので届け出ます。

催物の名称					
使用目的					
許可年月日 及び許可番号	年	月	日	第	号
許可を受けた 使用期間	年	月	日 ( )	時	分から
	年	月	日 ( )	時	分まで
使用取消 の理由					
※ 使用料	既納使用料	返還割合	返還額	備 考	
	円	円	円		

- (注) 1 使用許可書を添付すること。  
2 太線の枠内は、記入しないでください。

沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話 番 号

次のとおり使用料の返還を申請します。

催物の名称					
許可年月日 及び許可番号	年	月	日	第	号
使用期間	年	月	日 ( )	時	分から
	年	月	日 ( )	時	分まで
返還申請 の理由					
既納使用料	円	返還申請額		円	
備考					

(注) 使用料領収書を添付すること。

沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者  
住 所  
団 体 名  
代表者氏名  
電 話 番 号

次のとおり使用料の減額・免除を申請します。

催物の名称	
使用目的	
催物の内容	
使用期間	年 月 日 ( ) 時 分から 年 月 日 ( ) 時 分まで
減額・免除を申請する理由	
備 考	

(注) この申請書は、使用許可申請書と同時に提出すること。

沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

次のとおり使用料を減額・免除します。

催物の名称						
使用目的						
催物の内容						
使用期間	年 月 日 ( )		時 分		分から分まで	
	年	月	日 ( )	時	分	
減額・免除	減免前の 使用料	円	減額・ 免除額	円	減免後の 使用料	円
備考						

資 料 寄 贈 申 込 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 込 者  
住 所  
氏 名  
電 話 番 号

次の資料を八重山平和祈念資料館（分館を除く。）に寄贈いたします。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	

寄 贈 受 諾 証

申込みのあった資料の寄贈を受諾します。

ただし、寄贈を受けた資料は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第18条第3項の規定により返還されません。

年 月 日

沖縄県知事 印

第12号様式（第18条関係）

資 料 寄 託 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

氏 名

電 話 番 号

次の資料を八重山平和祈念資料館（分館を除く。）に寄託いたします。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
寄 託 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

第13号様式（第19条関係）

寄 託 物 受 領 証

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで寄託申請のあった資料を受領しました。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	年 月 日から 年 月 日まで

資 料 貸 出 申 請 書

年 月 日

沖縄県知事 殿

申 請 者

住 所

氏 名

電 話 番 号

保 証 人

住 所

氏 名

電 話 番 号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く。）の資料について、貸出しを申請します。  
八 重 山 平 和 祈 念 館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸出申請理由	

資 料 貸 出 許 可 証

年 月 日

殿

沖縄県知事

印

年 月 日付けで資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
貸 出 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
貸 出 条 件	<p>1 貸出申請者は、県内に居住又は住所を有するもので県内に身元          確実な保証人がいなければならない。</p> <p>2 貸出申請者は、この許可証を紛失したときは、速やかに届け出          なければならない。</p> <p>3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはなら          ない。</p> <p>4 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合          は、遅延理由書を提出しなければならない。</p> <p>5 貸出申請者は、貸出資料の原形に変更を加えてはならない。</p> <p>6 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しく          はき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって          損害を賠償しなければならない。</p>

沖縄県知事 殿

申請者 所 在 地  
団体の名称  
代表者の氏名

指 定 管 理 者 指 定 申 請 書

平和の礎の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例第15条の規定により申請します。

添付書類

- 1 事業計画書
- 2 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- 3 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る。）
- 4 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- 5 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- 6 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- 7 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4判とする。

### 3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

**第1条** 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

**第2条** 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

**第3条** 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

**第4条** 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

**第5条** 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

**第6条** 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補則〕

**第7条** この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

## 4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項

(目的)

**第1条** この要項は、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の所蔵する資料（以下「貸出資料」という。）の館外貸出しを許可するにあたって必要な事項を定めるものとする。

(定義)

**第2条** この要項において、貸出資料とは沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオをいう。各資料の内容については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料とは、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（以下「規則」という。）第22条で定める資料であり、実物資料20種類をいう（別紙1）。
- (2) 沖縄戦写真パネルとは、写真の複製パネルをいう（別紙2）。
- (3) 沖縄戦の絵パネルとは、日本放送協会から寄贈された沖縄戦体験者が描いた絵の複製パネルをいう（別紙3）。
- (4) 児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネルとは、資料館が毎年主催している児童・生徒の平和メッセージ展の作文、詩及び図画部門において最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をいう。
- (5) 世界人権宣言絵画パネルとは、当館が制作した世界人権宣言に関する絵画パネルをいう（別紙4）。
- (6) 平和のウムイ地域版セットとは、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により制作したDVD及びパネル、証言集をいう（別紙5）。
- (7) 平和学習キットとは、学校等で活用される平和学習の教材としての貸し出しキットの複製資料及びパネル、絵本、紙芝居をいう（別紙6）。
- (8) 戦争体験証言ビデオとは、沖縄戦体験者の証言を収録し複製したビデオ及びDVD、集団疎開及び捕虜収容所での様子を収録し複製したビデオ及びDVD、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により証言を収録し複製したDVDをいう。

(貸出許可の申請)

**第3条** 資料の館外貸出しの許可を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、資料貸出申請書により、沖縄県平和祈念資料館長（以下「資料館長」という。）に申請しなければならない。申請書の様式については、次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第22条に定める資料貸出申請書（第14号様式）
- (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル 沖縄県平和祈念資料館資料貸出申請書（第1号様式）
- (3) 平和のウムイ資料 平和のウムイ資料貸出申請書（第2号様式）
- (4) 平和学習キット 平和学習キット貸出申請書（第3号様式）
- (5) 戦争体験証言ビデオ 戦争体験証言ビデオ貸出申請書（第4号様式）

2 申請者は、貸出日の2週間前までに資料貸出申請書をFAX等で提出しなければならない。

3 申請者は、申請の際に身元確実な保証人がいなければならない。ただし、申請者が地方公共団体等の代表者である場合にはその限りではない。

(貸出の許可)

**第4条** 資料の貸出は、資料館が適切と認める公共団体及び任意団体が、沖縄戦の実相又は教訓を伝え、平和の発信に資する学習又は展示活動等で使用することに対して許可する。

2 戦争体験証言ビデオについては、個人が沖縄戦に関する学習を目的に申請する場合には、許可することができる。

(許可証の交付)

**第5条** 資料館長は、申請を受けて資料の貸出を許可したときには、申請者に対し、貸出許可証を交付する。許可証については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第23条の資料貸出許可証（第15号様式）

(2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ 沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証（第5号様式）

2 前項の許可証には条件を付することができる。

（貸出期間）

**第6条** 館外への貸出期間は、平和のウムイ地域版セット及び平和学習キット、戦争体験証言ビデオについては最長で2週間、それ以外については最長で1ヶ月とする。ただし、資料館館長が必要であると判断した場合にはその限りではない。

（貸出数量）

**第7条** 一度の申請において、貸出可能な数量は次の各号に定める。

- (1) 沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネルについては、20点以内とする。
- (2) 平和のウムイ地域版セット及び平和学習キットについては、2点以内とする。
- (3) 戦争体験証言ビデオについては、5本以内とする。

（費用負担）

**第8条** 資料の貸出及び返却に要する費用は、全て申請者がこれを負担する。

（貸出資料の保管及び禁止事項等）

**第9条** 第4条第2項の規定により貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)は、貸出を受けた者(以下「利用者」という。)が、責任をもって保管しなければならない。

- 2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。
- 3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡または貸与してはならない。
- 4 利用者は、貸出資料の複製または原型に変形を加えてはならない。
- 5 利用者は、貸出資料を紛失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

（貸出資料の返還）

**第10条** 利用者は、貸出資料を貸出期限内に確実に返還しなければならない。

- 2 利用者は、平和祈念資料館の都合により貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。
- 3 利用者が貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。
- 4 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとすること。

（報告書の提出について）

**第11条** 利用者は、貸出資料の利用状況について、貸出資料利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。ただし、戦争体験証言ビデオについてはその限りではない。

（許可の取り消し）

**第12条** 資料館館長は、利用者がこの要項に違反したとき、または許可証に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取消により生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

附則

- ・この要項は平成29年4月1日から施行する。
- ・令和2年8月3日一部改正する。
- ・令和5年9月21日一部改正する。第3条4項を削除

第1号様式

平和祈念資料館資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者： )

保 証 人

住 所：〒

氏 名：

電話番号：

沖縄県平和祈念資料館の資料について、貸出しを申請します。

種 別	沖縄戦の写真パネル 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品	・ ・	沖縄戦の絵複製パネル 世界人権宣言パネル
資料名			
数 量	点 (20点以内)		
期 間	令和 年 月 日 ( ) から令和 年 月 日 ( ) まで		
申請理由			

<別紙>

貸出申請資料明細

NO	種 別	資 料 名	数	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

第2号様式

平和のウムイ地域版セット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者： )

保 証 人

住 所：〒

氏 名：

電話番号：

子や孫につなぐ平和のウムイ地域版セットについて、貸出しを申請します。

資料名	<p>希望する地域版セットに○をつけて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) ( )</li> <li>・中部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) ( )</li> <li>・那覇 (南部) 地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) ( )</li> <li>・久米島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) ( )</li> <li>・宮古島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) ( )</li> <li>・石垣島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 2 点、証言集 1 2 点) ( )</li> </ul>
数 量	<p style="text-align: center;">セット (2セット以内)</p>
期 間	<p style="text-align: center;">令和 年 月 日 ( ) から 令和 年 月 日 ( ) まで</p> <p style="text-align: center;">*期間：2週間以内を原則とする (借用及び返却の日を含む)</p>
申請理由	

第3号様式

平和学習キット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者： )

保 証 人

住 所：〒

氏 名：

電話番号：

平和学習キットについて、貸出しを申請します。

資料名	<p>希望するキットに○をつけて下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和学習キットA「戦争とくらし」19点 ( )</li> <li>・平和学習キットB「沖縄戦の記憶」20点 ( )</li> <li>・平和学習キットC「沖縄戦の記録写真」30点 ( )</li> <li>・平和学習キットD「みんななかよく」絵本1点・紙芝居2点 ( )</li> </ul>
数 量	<p style="text-align: center;">セット (2セット以内)</p>
期 間	<p>令和 年 月 日 ( ) から令和 年 月 日 ( ) まで</p> <p style="text-align: center;">*期間：2週間以内を原則とする（借用、返却の日を含む）</p>
申請理由	

第4号様式

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名：

電話番号：

(担当者： )

戦争体験証言ビデオについて、貸出しを申請します。

種 別	<p>希望するビデオの番号を記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄戦体験証言ビデオ ( )</li> <li>・ 平和のウムイDVD ( )</li> <li>・ 日系二世がみた戦中・戦後DVD ( )</li> <li>・ 戦争体験者証言多言語吹き替え映像「DVD1名収録」 1枚で貸出 ( )</li> <li>・ 住民の見た 沖縄戦証言「多言語ブルーレイディスク70名収録」 2枚1組(セット)で貸出 ( )</li> </ul>
本 数	<p>本 (5本以内を原則とする)</p>
期 間	<p>令和 年 月 日 ( ) から令和 年 月 日 ( ) まで</p> <p style="text-align: center;">*期間：2週間以内を原則とする</p>
申請理由	

第5号様式

沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館  
館長

印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
資 料 名	別紙の通り
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日 ( ) から 令和 年 月 日 ( ) まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 貸出資料は、貸出申請者が責任をもって保管しなければならない。</li> <li>2 貸出申請者は、貸出資料を申請理由以外の目的で使用しないこと。</li> <li>3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。</li> <li>4 貸出申請者は、貸出資料を複製又は原型に変更を加えてはならない。</li> <li>5 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原型に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。</li> <li>6 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。</li> <li>7 貸出申請者は、平和祈念資料館の都合により貸出資料を返還する場合資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。</li> <li>8 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。</li> <li>9 貸出申請者は、貸出資料を返還する際には、専門的技量を有する輸送業者にて輸送しなければならない。</li> <li>10 貸出申請者は、貸出資料の利用状況について、沖縄県平和祈念資料館利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。</li> </ol>

<別紙>

### 貸出許可資料明細

NO	資料種別	資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		
			点	

第 6 号様式

貸出資料利用状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 令和 年 月 日

団体名

代表者

住 所

電 話

担当者

次のとおり、沖縄県平和祈念資料館貸出資料の利用状況を報告します。

利用目的 (行事名等)			
借用期間	令和 年 月 日 ( ) ~ 令和 年 月 日 ( )		
利用場所		利用者数 (参観者数)	
借用資料	1 沖縄戦実物資料	(	点)
	2 沖縄戦写真パネル	(	点)
	3 沖縄戦の絵パネル	(	点)
	4 児童・生徒の平和メッセージ作品	(	点)
	5 世界人権宣言パネル	(	点)
	6 平和のウムイ地域版セット	(	セット)
	7 平和学習キット	(	セット)
利用状況 および感想			

\*利用状況写真、参考資料などがあれば添付し、資料返却時または返却後 1 週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL : 098-997-3844 FAX : 098-997-3947

第14号様式（第22条）

資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住所  
氏名  
電話番号

保証人  
住所  
氏名  
電話番号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く）

の資料について、貸出しを申請します。

八重山平和祈念館

種 別	
数 量	
規 格	
用 途	
保 管 期 間	令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
貸出申請理由	





<別紙①>

### 貸出許可資料明細

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
校長 〇〇 〇〇 殿

沖縄県知事 玉城 康裕  
(沖縄県平和祈念資料館)

NO	資料名	実物資料名	数	備考
1	沖縄戦実物資料			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		

## 5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項

(趣旨)

**第1条** この要項は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則第22条に基づき、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用（以下「利用等」という。）の許可に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

**第2条** この要項における用語の意義は次の各号に定めるところによる。

- (1) 資料 資料館が保管する原資料等および写真資料をいう。  
また資料館の建物自体の内外観もこれに含むものとする。
- (2) 撮影 資料を被写体として撮影した静止画（スチル写真）や動画（映画、テレビ、ビデオ等）を記録することをいう。
- (3) 複製 資料を被写体として、複写、印刷物、レプリカ等を作成することをいう。
- (4) 掲載 資料の複製を紙媒体に掲載することをいう。
- (5) 放映 資料の複製を電子媒体で放映することをいう。
- (6) 利用 講演会、朗読会、コンサートなどにおいて資料を利用することをいう。

2 第1項の第1号及び第3号については、資料館が保管する電子データを提供することを含むものとする。

(許可の基準)

**第3条** 資料館長（以下「館長」という。）は、沖縄戦の実相を伝え、平和の構築に資する使用であると認めた場合において資料の利用等を許可する。

2 次の各号に掲げる事項にあたる場合は許可しない。

- (1) 資料の保存上、悪影響の生ずる可能性がある場合。
- (2) 営利目的等、対価を得て、一部もしくは限られた範囲のみの使用が認められる場合。
- (3) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (4) 過去に許可条件に違反した事実があると認められる場合。
- (5) その他、資料館の設立理念と合致しないなど許可することが適当でないと認められる場合。

(許可申請)

**第4条** 資料の利用等の許可を希望する者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書（第1号様式）に事業の趣旨や主体者、事業内容を記載した企画書等を添付して館長に利用開始14日間前までに、申請しなければならない。ただし申請期日については館長が特に認める場合において、この限りではない。

(審査および決定)

**第5条** 前条の規定による申請があった場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨および内容
- (2) 事業の主体者
- (3) その他必要な事項

(許可書の交付)

**第6条** 館長は、資料の利用等を許可する決定を行ったときは、申請者に対し沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書(第2号様式)を交付するものとする。

2 館長は、必要と認められる場合は、許可書に条件を付することができる。

(報告書の提出)

**第7条** 申請者は資料の利用等の完了後、速やかに使用状況報告書(第3号様式)に成果品を添えて、資料館に提出しなければならない。

(費用の負担)

**第8条** 資料の利用等に要する費用は、申請者が全てこれを負担する。

(禁止事項)

**第9条** 資料の利用等の許可を受けた者は次の各号に掲げる事項をしてはならない。

- (1) 申請書に記載した目的以外に使用すること。
- (2) 利用等の許可を得た資料を転貸すること。
- (3) 資料等の使用により利益を得ること。

(許可の取り消し)

**第10条** 館長は、資料の利用等の許可を受けた者がこの要項に違反したとき、または許可書に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

附則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：  
団体名：  
(担当者名： )  
住 所：  
TEL：  
FAX：  
Email：

下記により保管資料の（ 撮影 ・ 複製 ・ 掲載 ・ 放映 ・ 利用 ）を許可くださるようお願いいたします。

申請にあたっては、沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項の規定を遵守し、著作権等貴館の権利を侵害するような行為を行わないことを誓約いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 4 利益発生の有無 有 ・ 無
- 5 添付書類（企画書等、事業の内容がわかるもの）
- 6 提供成果品

〈注意事項〉

\*申請の際には返信用封筒（切手貼付）を添えて、利用開始14日間前までに申請すること。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書

沖平第 号  
令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館  
館長 印

令和 年 月 日付けで申請のあった保管資料の（ 撮影 ・ 複製 ・ 掲載 ・ 放映 ・ 利用 ）について、下記のとおり許可します。

記

1 資料名

2 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）

3 提供成果品

\*許可条件

- ①上記の目的以外に使用しないこと。
- ②資料を利用する際「沖縄県平和祈念資料館提供」と明記すること。
- ③児童・生徒平和メッセージは、作品オリジナルのスタイルを変更しないこと。
- ④写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ⑤使用目的完了後はすみやかに成果品および「使用状況報告書」を提出すること。
- ⑥資料に記載されている情報のうち個人情報の保護に十分に配慮し、違法または人権を侵害すると判断される場合には文書内容をそのまま公にしないこと。
- ⑦資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- ⑧前項に違反した行為があったときは、許可を取り消すことがある。この場合、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

## 使用状況報告書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：  
団体名：  
(担当者名： )  
住 所：  
TEL：  
FAX：  
Email：

令和 年 月 日付け沖平第 号で許可された保管資料の使用状況について、  
下記のとおり報告いたします。

### 記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 (撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載)
- 4 使用完了日
- 5 提供成果品

### 〈備考〉

- ①利用の際を記録した写真や新聞記事、参考資料等があれば添付すること。
- ②写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ③資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

## 6 沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会設置要綱

(設置)

**第1条** 沖縄県平和祈念資料館（八重山平和祈念館を含む。以下「資料館」という。）の展示更新を推進するため、沖縄県平和祈念資料館展示更新監修委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌)

**第2条** 委員会は、次の各号に掲げる事項について、検討を行う。

- (1) 展示更新基本構想・基本計画策定に関すること。
- (2) 展示更新に係る監修に関すること。
- (3) その他資料館に関すること。

(構成)

**第3条** 委員会の委員は、有識者等から知事が依頼する。

(任期)

**第4条** 委員会の委員の任期は、令和7年3月31日までとする。ただし、再任を妨げない。

(会長等)

**第5条** 委員会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員のうちから互選する。

3 会長は、会務を総括し、委員会を代表する。

4 会長は、展示更新に係る事項について総括し、沖縄県及び関係者と必要に応じ調整する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

**第6条** 委員会の会議は、会長が招集する。

2 会長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

3 会議の公開又は非公開の決定は委員会で審議し決定する。

4 会議の議事概要は、自由闊達な議論を妨げない範囲内において、公表する。

(部会)

**第7条** 委員会の任務を円滑に推進するために、別表の部会を設置する。

2 部会に、部会長を置く。

3 部会長は、会長があらかじめ指名する。

4 部会長は、部会を招集し、部会の検討の状況及び結果をとりまとめ、委員会に報告するものとする。

(秘密の保持)

**第9条** 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

**第10条** 委員会の庶務は、沖縄県知事公室平和祈念資料館において処理する。

(その他)

**第11条** この要綱に定めるもののほか、委員会に関する必要な事項は、会長が定める。

附則

この要綱は、令和6年6月10日から施行する。

別表（第7条関係）

部会名
①戦前・戦中時代部会
②戦後時代部会
③平和の発信・学習部会
④八重山平和祈念館部会
⑤展示検討専門部会

# XIII 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

年度別	有料観覧										無料観覧者	観覧者数	館開日数	一 平 均 観 覧 者 数	備 考		
	観覧料種別		出身別		計												
	大人個人(%)	大人団体(%)	小人個人(%)	小人団体(%)	県内	県外	外国										
昭和50年度	13,784(75)	2,025(11)	1,759(9)	900(5)								18,468	248	74			
51年度	9,520(53)	4,200(23)	963(5)	3,408(19)								18,091	306	59			
52年度	10,480(54)	4,264(22)	818(4)	3,932(20)								22,047	307	72			
53年度	14,022(40)	4,855(14)	1,877(5)	14,097(41)								34,851	220	158			
54年度	22,288(41)	6,307(12)	3,600(7)	21,513(40)								53,708	305	176			
55年度	20,727(39)	5,830(11)	3,109(6)	23,762(44)			3,506	22,746	176			53,428	307	174			
56年度	20,215(34)	5,985(10)	3,367(6)	29,211(50)			33,671	24,797	310			60,564	304	199			
57年度	26,357(36)	7,077(10)	4,243(6)	34,584(48)			33,709	38,030	522			73,646	307	240			
58年度	26,359(35)	8,051(11)	4,827(6)	36,272(48)			34,795	40,029	685			77,490	307	252			
59年度	27,265(34)	9,203(11)	3,932(5)	39,791(50)			32,646	46,335	1,210			83,067	255	326			
60年度	29,888(31)	13,263(14)	4,701(5)	49,073(50)			34,993	60,371	1,561			99,623	306	326			
61年度	27,529(27)	13,364(13)	4,629(5)	54,622(55)			34,783	63,581	1,780			102,573	306	335			
62年度	40,566(34)	14,395(12)	5,441(5)	57,976(49)			33,298	83,019	2,061			123,253	306	403			
63年度	45,058(34)	16,719(13)	5,557(4)	63,910(49)			32,819	95,473	2,952			134,586	306	440			
平成元年度	35,325(31)	14,477(12)	7,016(6)	59,363(51)			27,941	84,600	3,640			121,844	307	397			
2年度	29,514(29)	12,281(12)	5,950(6)	52,511(52)			22,855	74,010	3,391			118,618	306	388			
3年度	26,687(30)	11,246(13)	5,279(6)	45,409(51)			20,182	64,938	3,501			97,514	305	320			
4年度	26,500(32)	9,778(12)	5,661(7)	40,021(49)			17,197	61,011	3,752			92,890	307	303			
5年度	22,667(28)	11,191(14)	5,683(7)	41,461(51)			15,272	62,130	3,600			85,047	310	274			
6年度	18,056(23)	9,161(12)	4,563(6)	48,084(60)			13,551	62,528	3,785			82,834	310	267			
7年度	70,319(45)	16,676(11)	13,837(9)	53,282(35)			45,214	104,854	4,046			161,761	308	525			
8年度	59,643(39)	16,393(11)	11,056(7)	64,840(43)			26,540	121,886	3,506			157,525	311	507			
9年度	62,485(35)	13,247(8)	10,137(6)	91,099(55)			20,128	153,889	2,951			183,908	310	593			
10年度	58,196(35)	10,647(6)	10,426(6)	89,965(53)			15,211	151,195	2,828			174,179	312	558			
11年度	59,654(34)	8,367(4)	9,952(6)	97,464(56)			12,128	160,724	2,585			180,247	295	611			
												2,307,039				2,411,762	

沖縄戦の実相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残酷で、これほど活版にまみれたものはないと  
思いがてす

この（なまなま）の体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さなぬ力の方ができるのも  
私たち 人間 ではないでしょうか

戦後このかた 私たちは

あつゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば と思いがてす

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た  
ゆするこのでまな

私たちの信条なのです

(沖縄県平和祈念資料館 展示むすびのこぼ)

## 沖縄県平和祈念資料館年報 第25号

2025(令和7)年8月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp/>

E-mail [webmaster@peace-museum.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.okinawa.jp)



日本平和博物館会議

ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

八重山平和祈念館(分館)

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の 3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail [yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp](mailto:yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp)

印刷：有限会社 サン・エス

住所：〒901-1113 沖縄県南風原町字喜屋武380-1

TEL 098-889-7421 FAX 098-888-4383

# 平和祈念公園案内図

## Peace Memorial Park Guide Map



沖縄工業健児之塔  
Memorial for Students  
of Okinawa Technical School

大型休憩舎  
Large-scale Resting Facility

沖縄県平和祈念資料館  
Peace Memorial Museum

韓国人慰霊塔  
War Memorial  
for Koreans

沖縄平和祈念堂  
The Okinawa Peace Hall

公園管理事務所  
Park Superintendent's Office

子供の広場  
Children's Playground

第2駐車場  
Parking Lot

中央口  
Central Gate

第1駐車場  
Parking Lot

平和の火  
Flame of Peace

平和の礎  
The Cornerstone of Peace

エントランス広場  
Entrance Plaza

花壇  
Garden Beds

式典広場  
Ceremony Grounds

沖縄県平和祈念財団  
Okinawa Peace Memorial Foundation

平和の丘  
Peace Hill

島守之塔  
Shimamori Monument

霊域園路  
Memorial Path

国立沖縄戦没者墓苑  
National War Dead  
Peace Mausoleum

摩文仁の丘  
Mabuni Hill

多目的広場  
Multi-Purpose Ground

南幹線園路  
South Main Path

散策路  
Walkways

樺太の碑  
Karafuto Monument

台湾の塔  
Taiwan Monument

黎明之塔  
Reimei Monument

木道  
Board walkways

沖縄師範健児之塔  
Memorial for Students  
of Okinawa Education College

北口  
North Gate



**沖縄県平和祈念資料館**  
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM  
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614-1 電話 098-997-3844 FAX 098-997-3947

**公益財団法人 沖縄県平和祈念財団**  
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL FOUNDATION  
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 電話 098-997-2765 FAX 098-997-2767

**公益財団法人 沖縄協会 沖縄平和祈念堂**  
THE OKINAWA FOUNDATION THE OKINAWA PEACE HALL  
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 448-2 電話 098-997-3011 FAX 098-997-2678

南口  
South Gate